

# 西条市 地域公共交通網構築事業 支援業務

---

## 報告書



 平成 29 年 3 月  
株式会社バイタルリード



# 西条市地域公共交通網構築事業支援業務報告書 目次

## 1. 業務概要

1-1 業務名.....	1
1-2 履行期間.....	1
1-3 発注者.....	1
1-4 受注者.....	1
1-5 業務の対象地域 .....	1
1-6 業務の目的.....	1
1-7 業務の内容.....	1
1-7-1 山間部の公共交通体系の検討.....	1
1-7-2 市街地の公共交通体系の検討.....	2
1-7-3 交通体系の評価・検証 .....	2
1-7-4 公共交通の利用促進に向けた取組.....	2

## 2. 山間部の公共交通体系の検討

2-1 西之川線沿線.....	5
2-1-1 公共交通空白地の状況 .....	5
2-1-2 アンケート調査より .....	6
2-1-3 今後の対応.....	12
2-2 保井野線沿線.....	13
2-2-1 公共交通空白地の状況 .....	13
2-2-2 アンケート調査結果より .....	14
2-2-3 今後の対応.....	21
2-3 大郷地区.....	22
2-3-1 公共交通空白地の状況 .....	22
2-3-2 アンケート調査結果より .....	22
2-3-3 今後の対応.....	28
2-4 高齢者タクシー利用助成制度 .....	29
2-4-1 アンケート調査結果より .....	29
2-4-2 高齢者タクシー利用助成制度改善の方向性 .....	33

## 3. 市街地の公共交通体系の検討

3-1 市街地公共交通空白地域.....	34
3-1-1 市街地の交通空白地域の状況.....	34
3-1-2 アンケート調査より .....	35
3-1-3 今後の対応.....	49

3-2 工業団地への対応 .....	50
3-2-1 企業ニーズ.....	50
3-2-2 今後の対応.....	56

#### 4. 交通体系の評価・検証

4-1 市街地循環バスの評価・検証 .....	57
4-1-1 利用状況.....	57
4-1-2 利用者ニーズ.....	65
4-1-3 市街地循環線の評価 .....	71
4-2 「よりそいタクシー」の評価・検証.....	72
4-2-1 よりそいタクシーの概要 .....	72
4-2-2 住民ニーズ.....	75
4-2-3 今後の対応.....	82

#### 5. 公共交通の利用促進に向けた取組

5-1 バスの乗り方教室 .....	84
5-1-1 バスの乗り方教室概要 .....	84
5-1-2 配布物.....	85
5-2 おでかけマップの作成.....	90
5-2-1 おでかけマップ概要 .....	90
5-2-2 西条市中心市街地編 .....	91
5-2-3 東予・周桑編.....	93

#### 6. 協議会開催支援

6-1 西条地域公共交通活性化協議会の開催 .....	95
-----------------------------	----

## 1. 業務概要

### 1-1 業務名

西条市地域公共交通網構築事業支援業務

### 1-2 履行期間

契約締結日～平成 29 年 3 月 31 日

### 1-3 発注者

西条市地域公共交通活性化協議会

### 1-4 受注者

株式会社バイタルリード

### 1-5 業務の対象地域

山間部（加茂地区、楠窪地区、桜樹地区、大郷地区、西之川線沿線）及び市街地（西条、東予、丹原、小松）全域

### 1-6 業務の目的

平成 26 年度に策定した『西条市地域公共交通網形成計画』に係る実施事業に基づき、市民生活を支えるため持続可能な公共交通体系の具体的な導入に向けた検討を支援することを目的とする。

具体的には、公共交通の利用が不便な山間部の公共交通のあり方の検討及び地域住民との意見交換結果を踏まえた乗合タクシー運行の詳細な運行計画を検討するとともに、市街地内にある交通空白地域への対応、企業が数多く立地する工業団地の公共交通ニーズ等についても調査を行う。

また、本年度から実証運行を行っている市街地循環線、加茂地区、楠窪地区の乗合タクシーの評価のほか、利用促進に向けた取り組みの検討、バスマップの作成等を行う。

### 1-7 業務の内容

#### 1-7-1 山間部の公共交通体系の検討

- 乗合タクシー運行支援（2地区程度）
- 山間部地域住民意見交換会の開催
- 山間部の公共交通体系の検討

### 1-7-2 市街地の公共交通体系の検討

- 市街地交通空白地域ニーズ調査
- 企業等の公共交通ニーズ調査
- 市街地の交通空白地域解消に向けた公共交通体系の検討

### 1-7-3 交通体系の評価・検証

- 市街地循環バスの評価検証
- 山間部モデル地区に導入後の公共交通の評価検証

### 1-7-4 公共交通の利用促進に向けた取組

- モビリティ・マネジメントの検討
- バスマップの作成

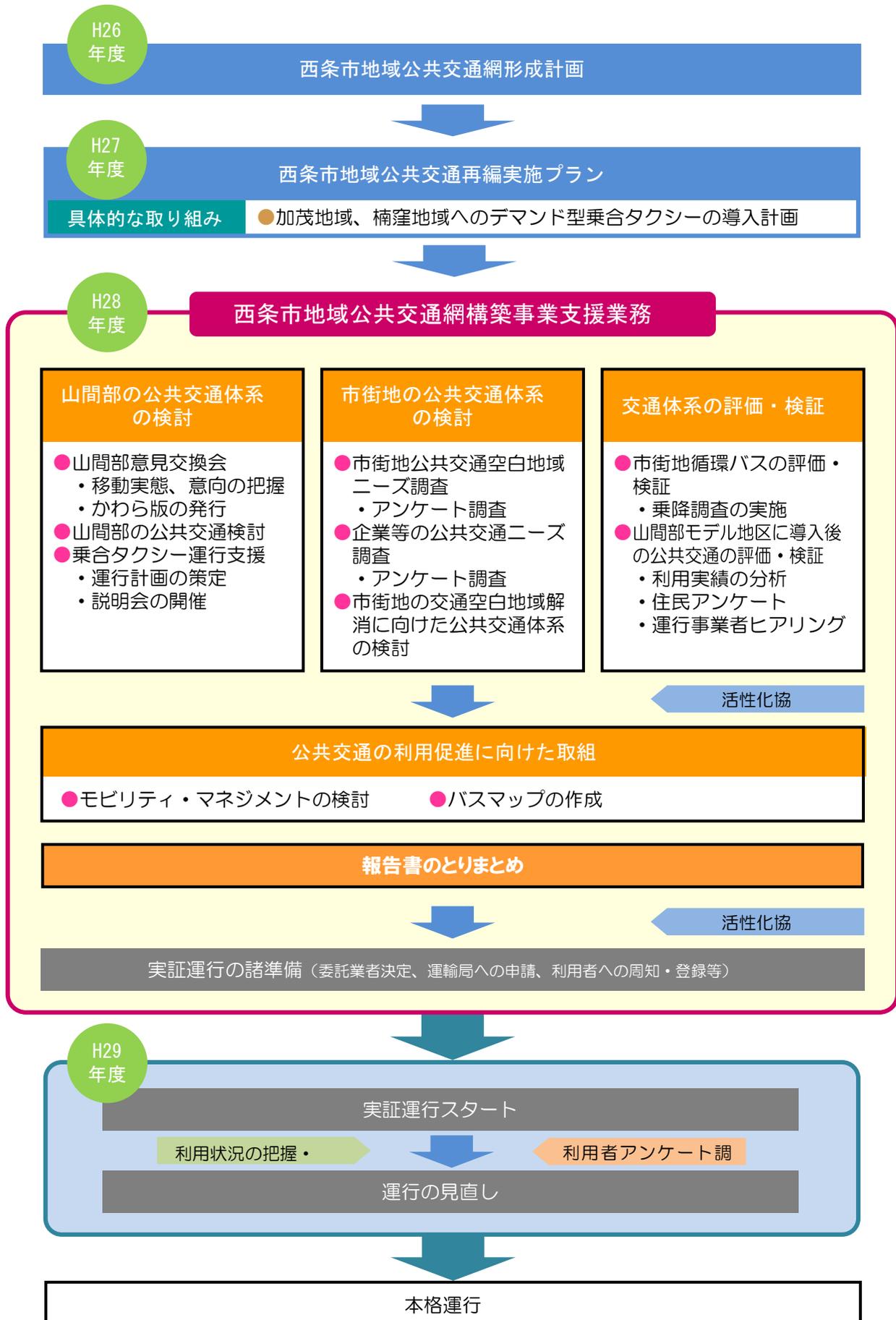
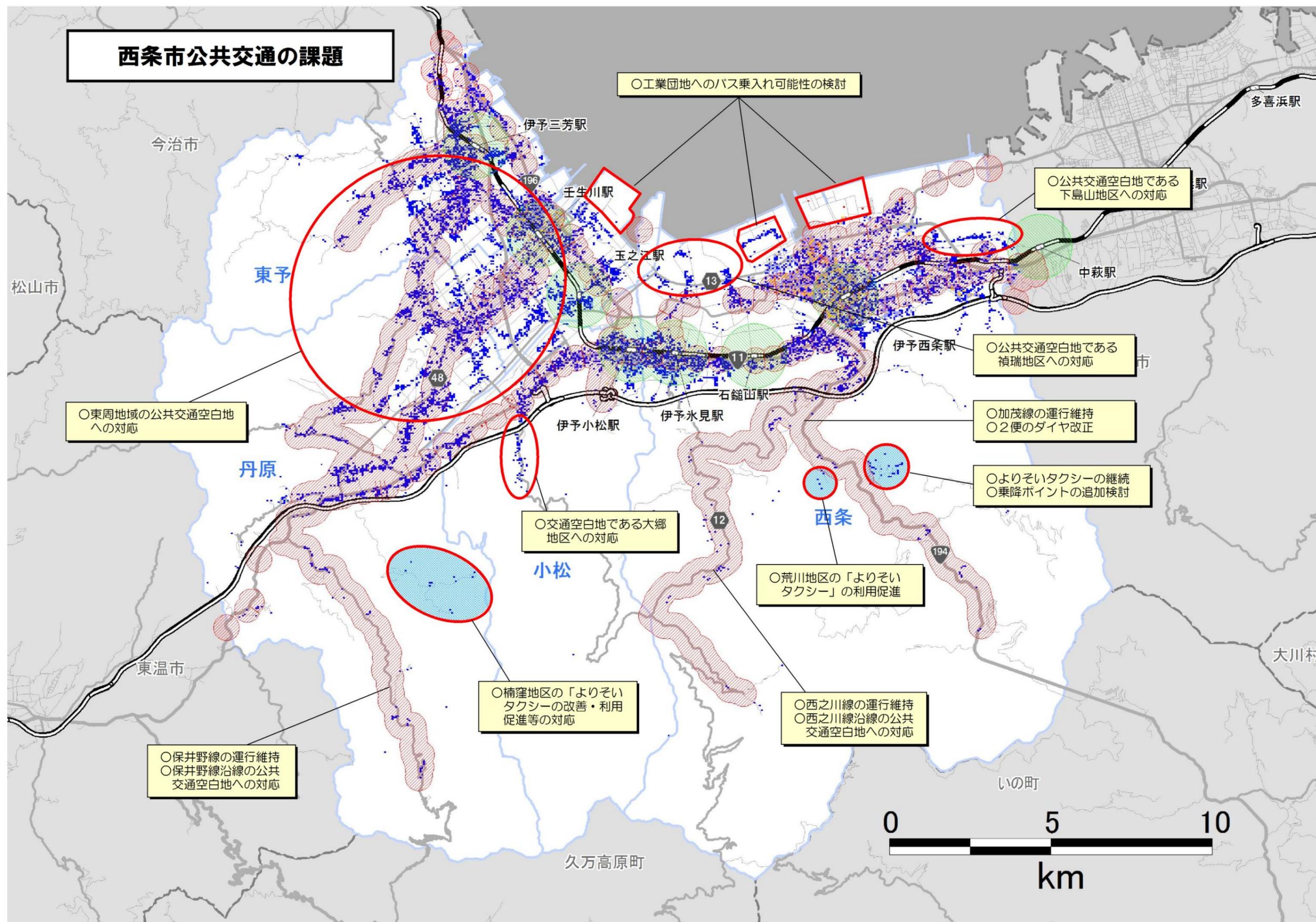


図1 業務フロー



## 2. 山間部の公共交通体系の検討

### 2-1 西之川線沿線

#### 2-1-1 公共交通空白地の状況

○西之川線沿線の公共交通空白地域としては、「市之川」「兔之山」「大保木」がある。

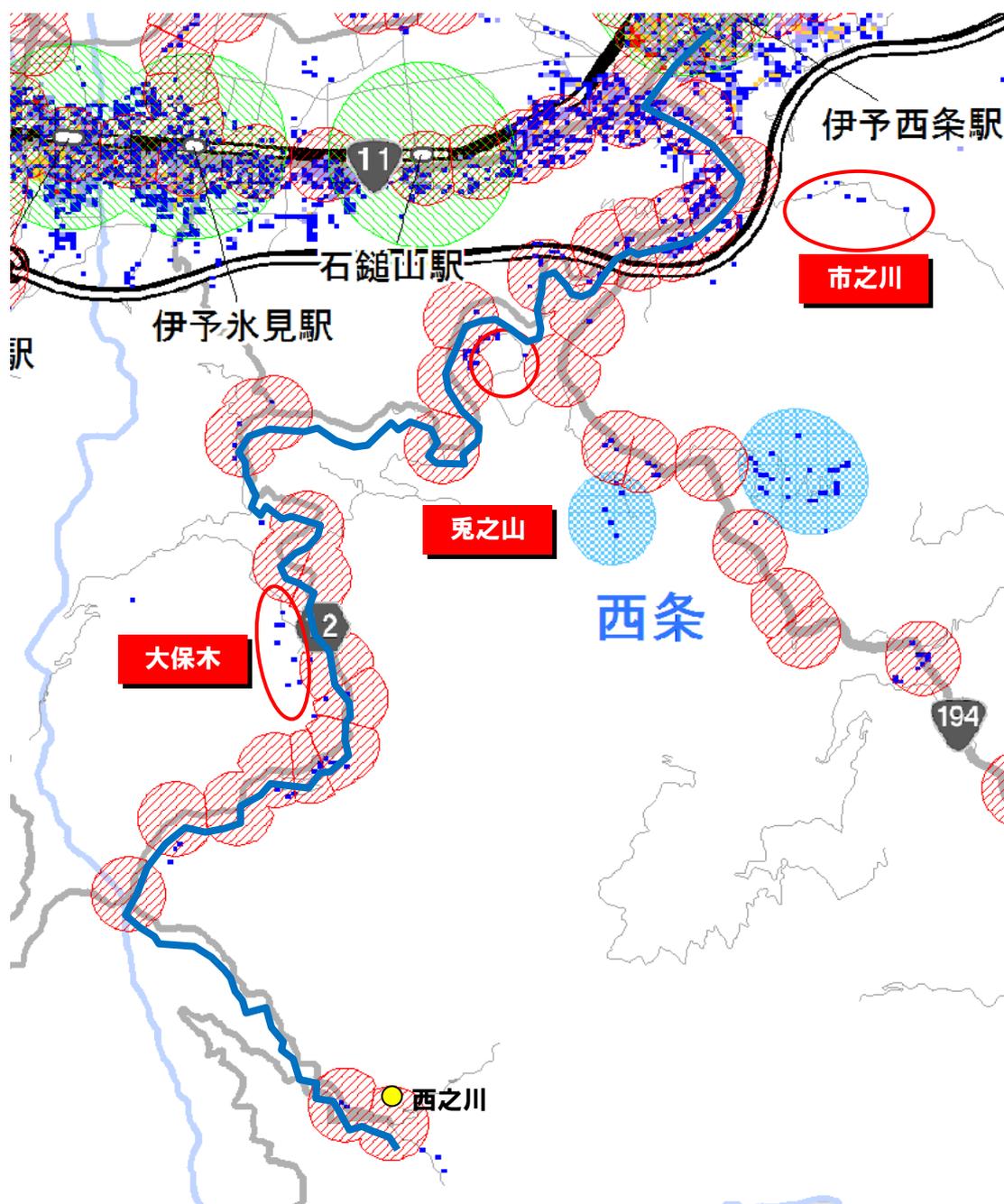


図2 西之川線沿線の公共交通空白地域

### 2-1-2 アンケート調査より

○これらの山間地域における公共交通空白地域の住民ニーズを把握するために、アンケート調査を行った。その結果を整理すると、以下のようになる。

#### (1) 調査概要

##### ①調査目的

○西条市の山間地域に居住する住民の、日常生活における移動実態・ニーズ、公共交通の利用状況、バスサービスの満足度と改善点等を把握する目的で実施する。

##### ②調査対象

○せとうちバス西之川線沿線及びせとうち周桑バス保井野線沿線のうち、バス路線から左右400m圏域外に居住する住民

##### ③調査時期

○平成 28 年 8 月 15 日～8月 26 日

##### ④調査方法

○対象となる地域の全世帯に対し、調査票を郵送配布し、郵送回収を行った。

##### ⑤回収率

○西之川線沿線：アンケート用紙を 108 件発送、31 件回収し、回収率は 28.7%であった。

○保井野線沿線：アンケート用紙を 171 件発送、57 件回収し、回収率は 33.3%であった。

#### (2) 自宅から最寄りバス停までの距離

○自宅から最寄りバス停までの所要時間が 10 分以上と回答した割合が全体の7割に及び。

○一方で、バスを利用してよいと思う自宅からバス停までの距離として、「200m 以内（5 分以内）」との回答割合が最も高く、「自宅や目的地前まで送迎」の割合が次いで高かった。

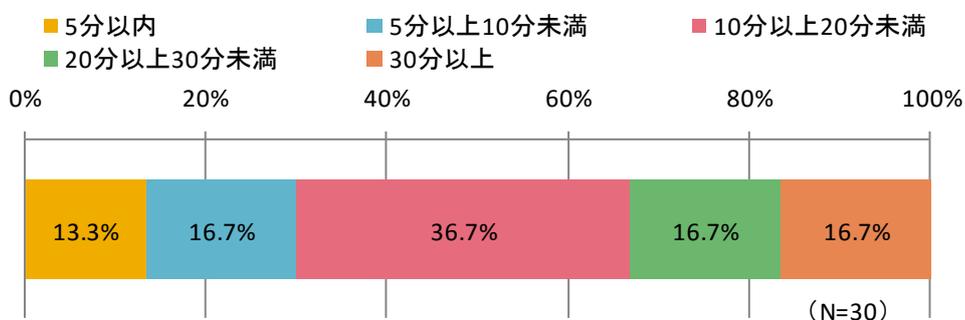


図3 自宅から最寄りバス停までの所要時間

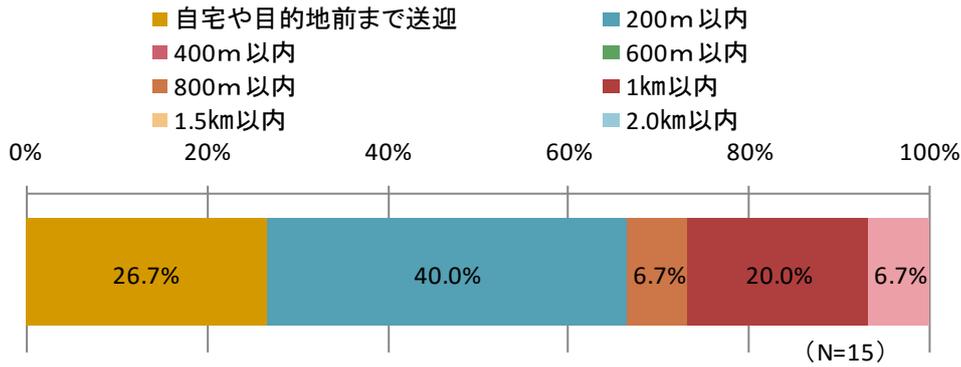


図4 バスを利用してもよいと思う自宅からバス停までの距離

### (3) 路線バスの利用状況

○路線バスを利用するとの回答は約 45%で、そのうちの4割は月2回以上利用すると回答している。

○路線バスの利用は、往復利用と片道利用が半々で、片道利用の場合のもう一方の交通手段は「家族の車」「自家用車」「友人の車」「タクシー」等となっている。

○利用目的は「通院」「買物」を挙げる割合が高く、バスを利用しない理由としては「自家用車で移動するため」が最も高いが、「自宅からバス停までが遠い」「身体や体力的にバスが利用できない」「乗りたい時間帯にバスが運行していない」等を上げる割合も比較的高い。

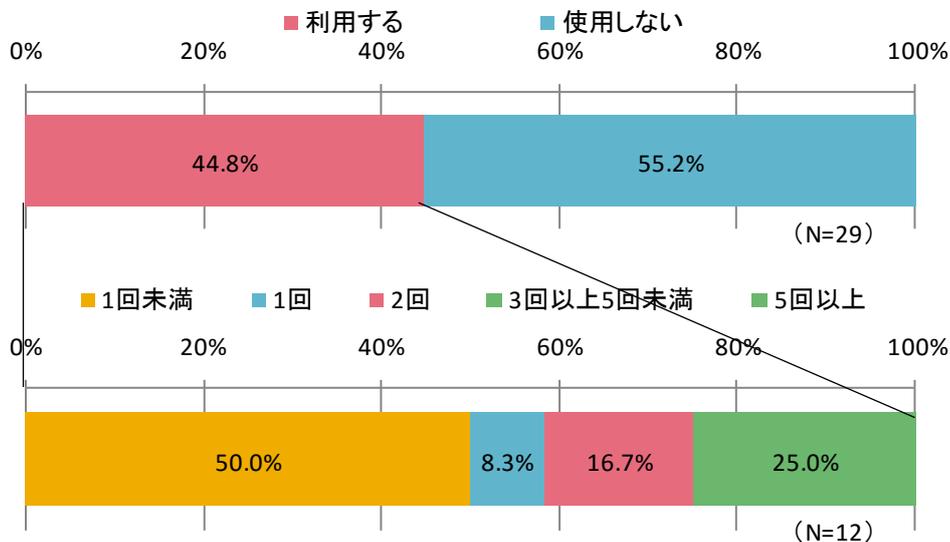


図5 バス利用の有無と1か月の利用頻度

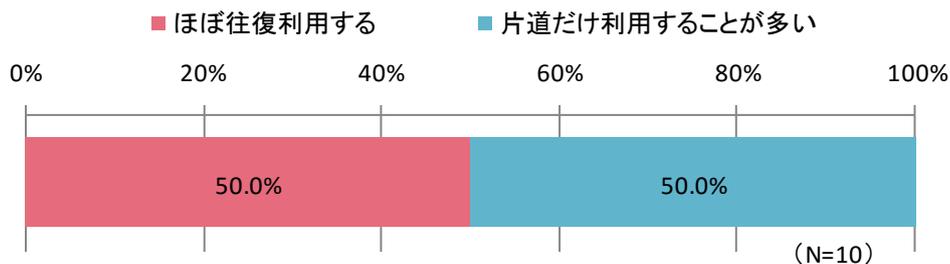


図6 バスの往復・片道利用の状況

## 2. 山間部の公共交通体系の検討

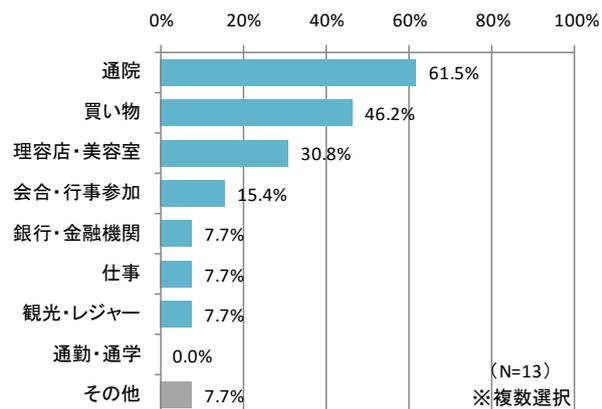


図7 バスの利用目的

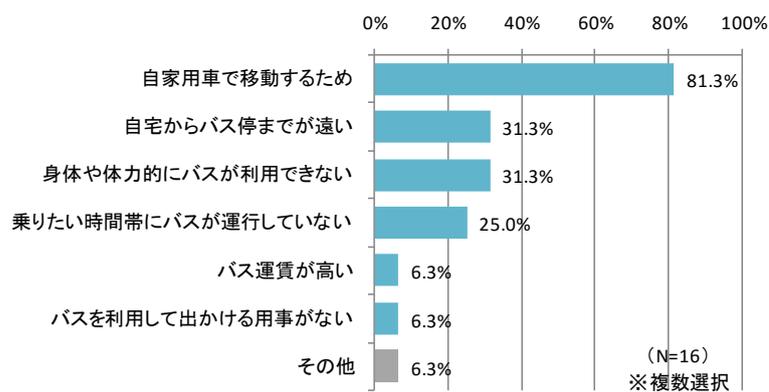


図8 バスを利用しない理由

(4) 路線バスの評価

○せとうちバスについての評価で「不満」「やや不満」の合計割合が高かった項目として、「自宅からバス停までの距離」「バス停の待合環境」「運行本数」「バス停周辺の駐輪場や駐車場」「運行の時間帯」等があげられる。

○回答者が望む運行頻度としては、「1時間に1本」「2時間に1本」の割合が高いが、西之川線のダイヤは2.5時間～3時間に1本の間隔で1日4.5往復の運行となっており、住民ニーズに対応していない。

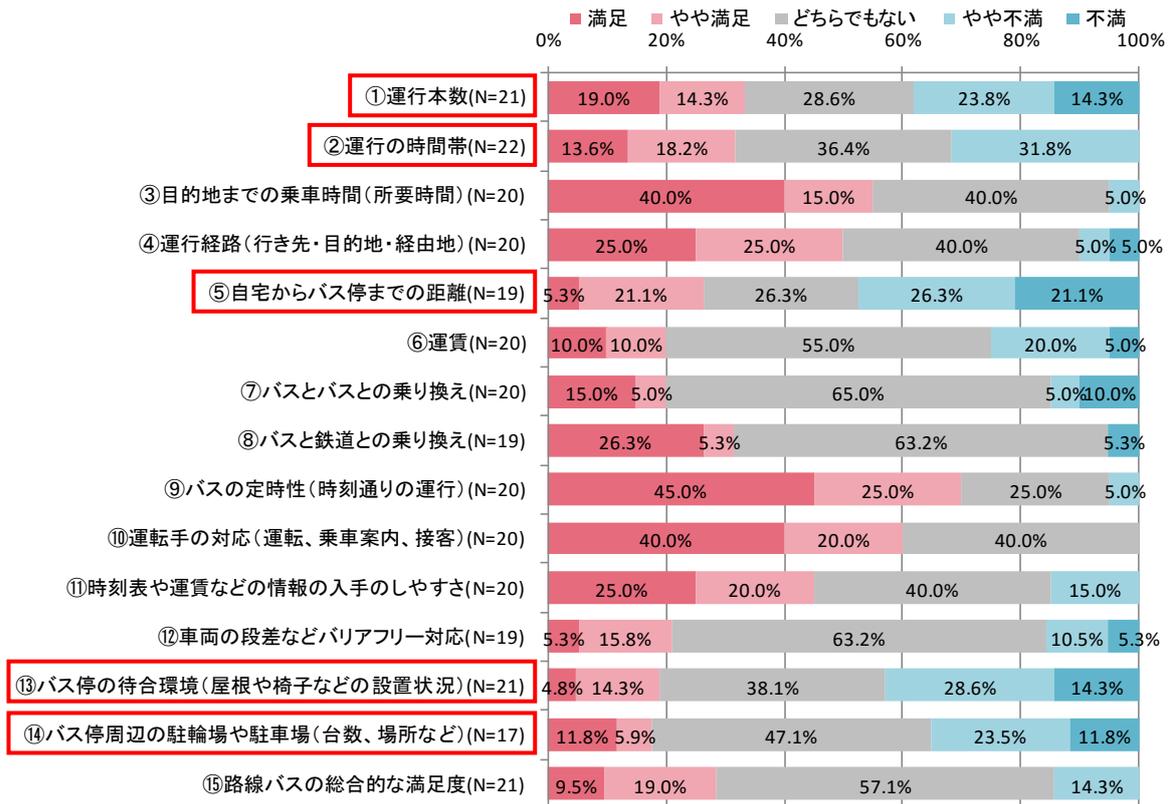


図9 せとうちバスの満足度

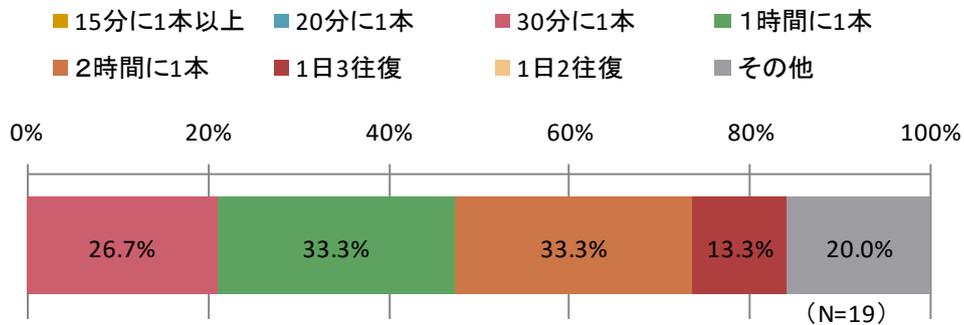


図10 希望するバスの運行頻度

(5) タクシーの利用

○タクシーについては通院時に約4割が利用すると回答しており、利用頻度は月1～2回程度となっているが、買物時には利用しない傾向にある。

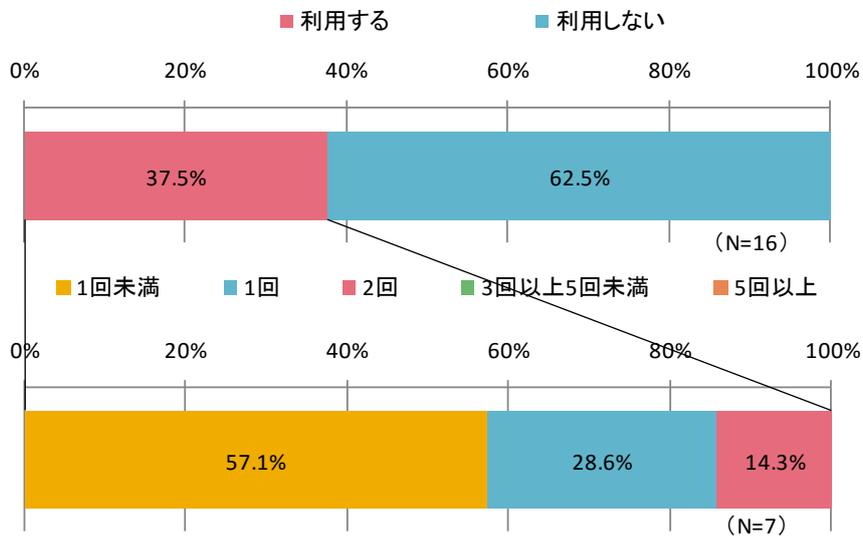


図 11 買物時のタクシー利用の有無と頻度

(6) 各種助成制度について

○いきいきバス制度については「知っており、現在利用している」との回答は24%、「知っているが利用していない」との回答は48%、「知らなかった」が20%となっている。

○いきいきバス制度によりバスの運賃が1/3の負担で利用できることで「今後バスの利用回数が増える」「今後バスを利用してみたい」との回答が2割あった。

○いきいきバス制度を知っているが利用しない理由としては、「75歳未満のため助成対象外」「身体・体力的な理由で手続きに行けない」「知っているが詳しい内容がわからない」等の理由が挙げられている。(その他は「自分で外出が困難」「車を運転するから」等)

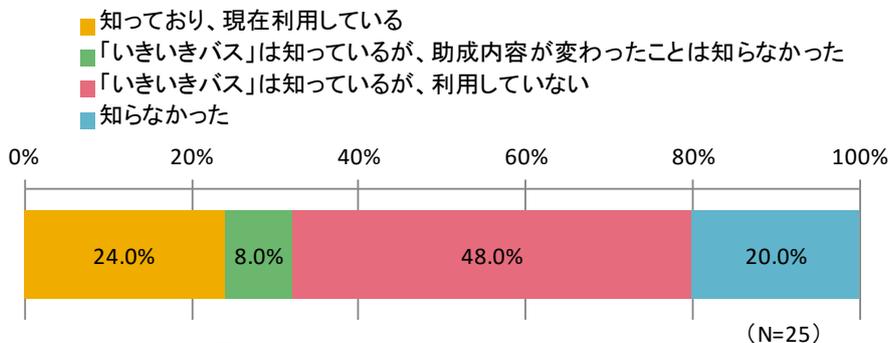


図 12 いきいきバス制度の周知度合い

## 2. 山間部の公共交通体系の検討

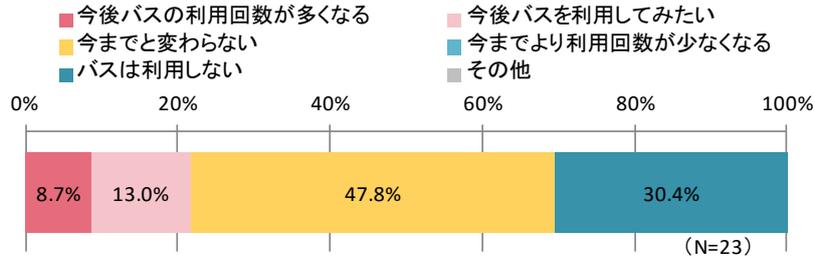


図 13 いきいきバス制度がバス利用頻度に与える影響

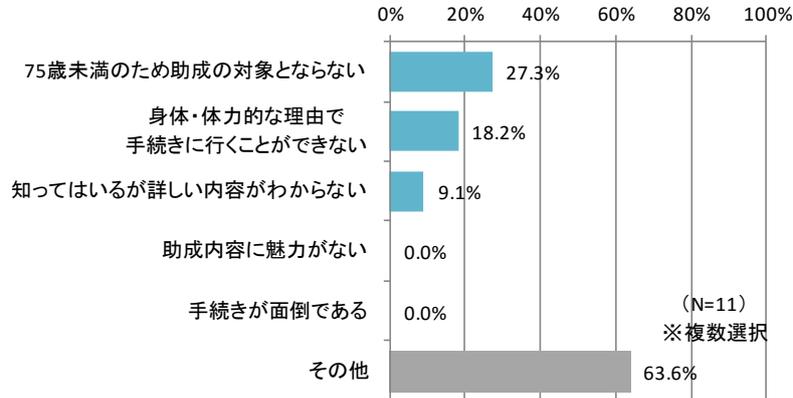


図 14 いきいきバス制度を利用しない理由

○高齢者タクシー利用助成制度については「知っているが利用していない」との回答割合が最も高く、「知らない」との回答も3割以上あった。

○利用しない理由としては、「身体・体力的な理由で手続きに行くことができない」「条件が合わず助成の対象とはならない」等が挙げられている。(その他は「自分で外出が困難」「車を運転するから」等)

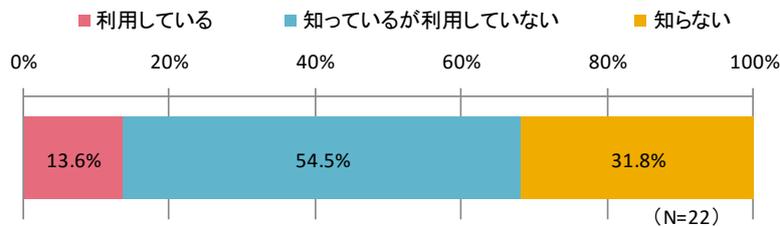


図 15 高齢者タクシー利用助成事業の周知度合い

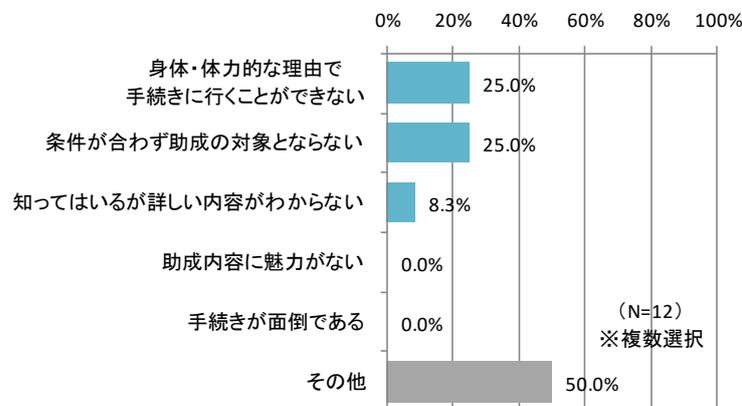


図 16 高齢者タクシー利用助成制度を利用しない理由

(7) 今後のバスサービスの要望

○「タクシー助成の更なる拡充」を希望する割合が高く、「乗合タクシー」の需要はあまり高くない。

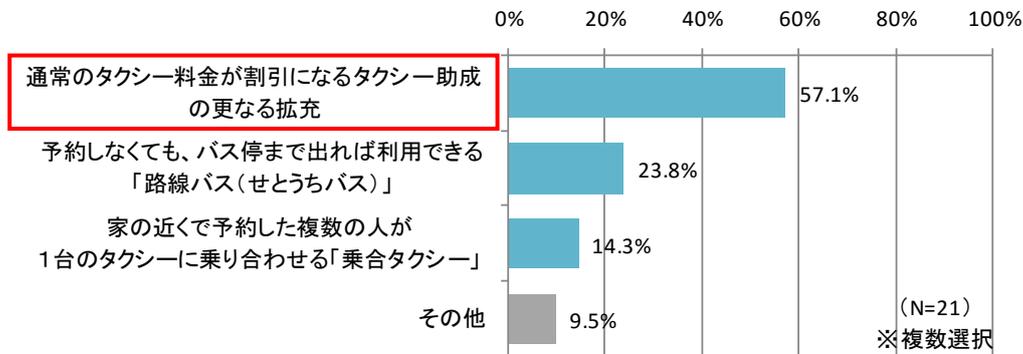


図 17 今後のバスサービスの要望

2-1-3今後の対応

(1) 路線バスの運行維持といきいきバス制度の充実

○県道12号線を運行する西之川線はほぼ沿道に集落が展開していることから、せとうちバスは引き続き重要な公共交通として運行を維持していく必要がある。

○併せて、いきいきバス制度の年齢制限の緩和等による拡充や周知を図り、バス利用の促進を図っていく必要がある。

(2) タクシー利用助成制度の拡充

○西之川線沿線の公共交通空白地域にバス路線を延伸することは、地形的に考えても現実的ではない。路線バス以外のこれらの地域への対応としては、乗合タクシーが考えられるが、アンケート結果からは「タクシー助成の更なる充実」を求める声が高い。

○これらの点から、タクシー利用助成の要件緩和等の拡充により、公共交通空白地域の外出を支援することが現実的と考えられる。

## 2-2 保井野線沿線

### 2-2-1 公共交通空白地の状況

○桜樹地区の公共交通空白地域としては、以下のような地域がある。

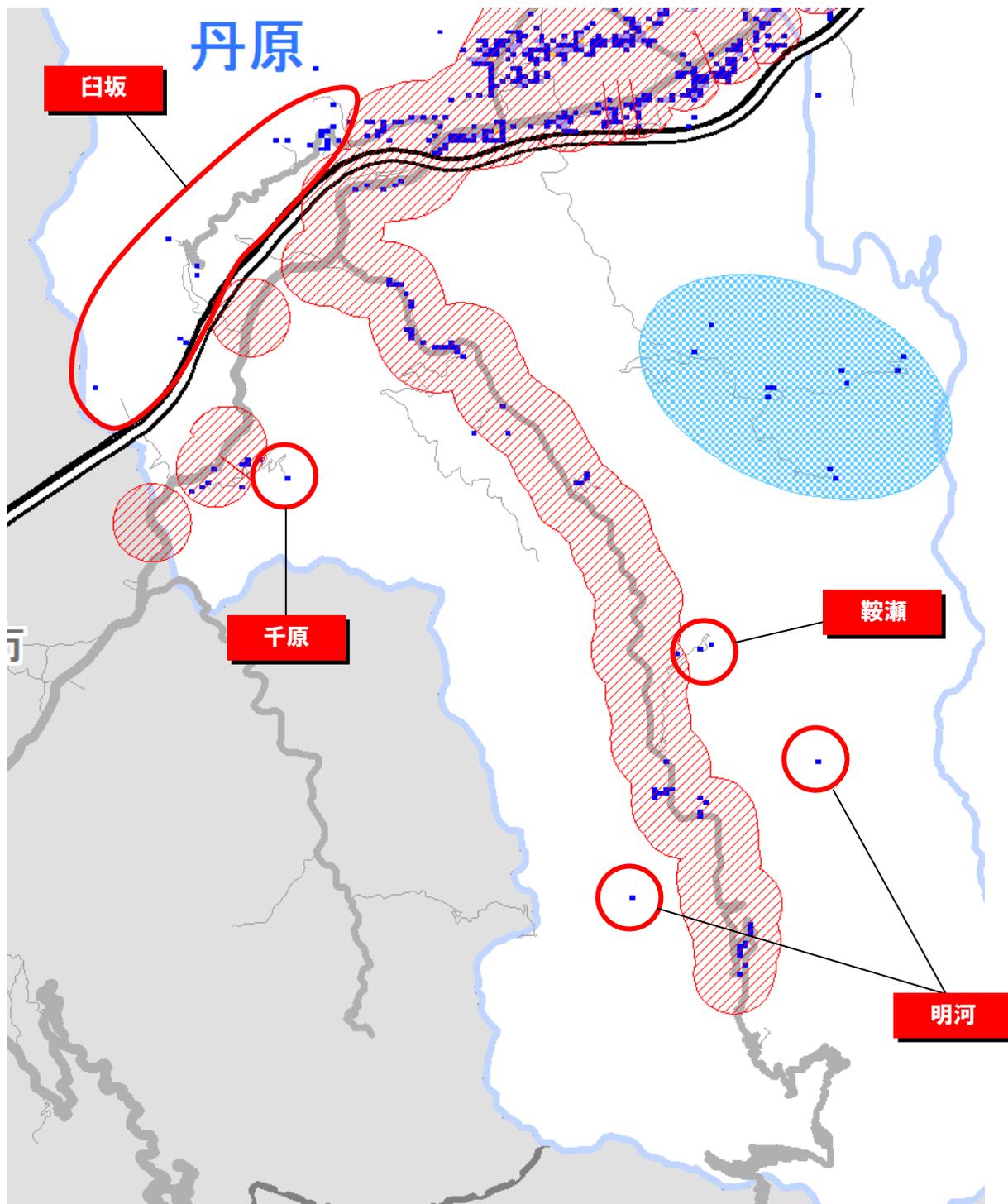


図 18 保井野線沿線の公共交通空白地域

## 2-2-2 アンケート調査結果より

○これらの山間地域における公共交通空白地域の住民ニーズを把握するために、アンケート調査を行った。その結果を整理すると、以下ようになる。

○調査概要は 2-1-2 に記載。

## (1) 自宅から最寄りバス停までの距離

○自宅から最寄りバス停までの所要時間が 10 分以上と回答した割合は全体の 2 割弱であり、西之川沿線よりは不便な地域の割合は小さいと考えられる。

○バスを利用してもよいと思う自宅からバス停までの距離として最も割合が高かったのは「自宅や目的地前まで送迎」で、次いで「200m 以内」「1 km 以内」の順とバラツキがある。

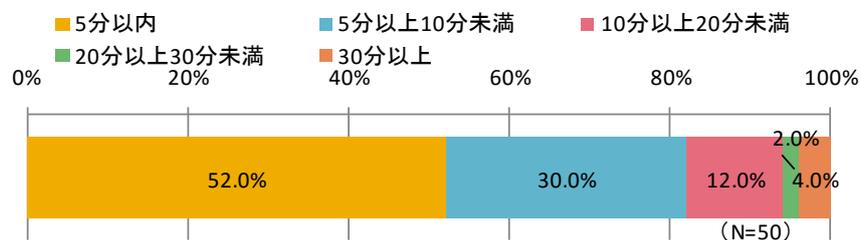


図 19 自宅から最寄りバス停までの所要時間

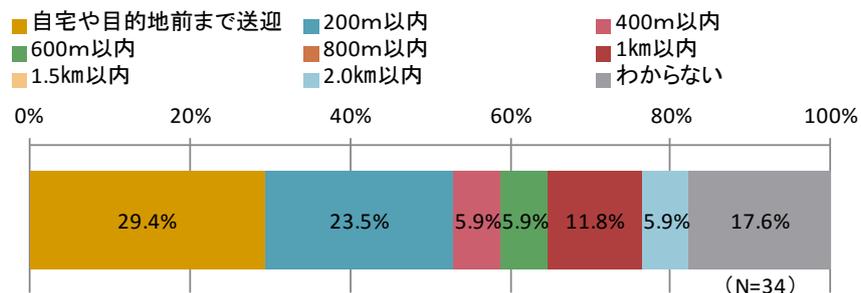


図 20 バスを利用してもよいと思う自宅からバス停までの距離

## (2) 路線バスの利用状況

○路線バスを利用するとの回答は 35.8%で、この割合も西之川線沿線でのアンケート結果を下回っている。バスを利用すると回答した人の利用頻度としては「月 3 回以上 5 回未満」の割合が 47.1%と最も高く、実際にバスを利用する人の約半数は週 1 日程度利用している。

○バスを往復で利用する人は回答者の 3 分の 2 を占めている。片道利用の場合、もう一方の交通手段は「家族の迎え」「自家用車」「タクシー」等となっている。

○バスの利用目的としては「通院」が最も多く、次いで「買物」「理容店・美容室」等の順となっている。

○バスを利用しない理由としては「自家用車で移動するため」が 7 割あるほか、「自宅からバス停までが遠い」「身体や体力的にバスが利用できない」「バスを利用して出かける用事がない」等が挙げられている。



## 2. 山間部の公共交通体系の検討

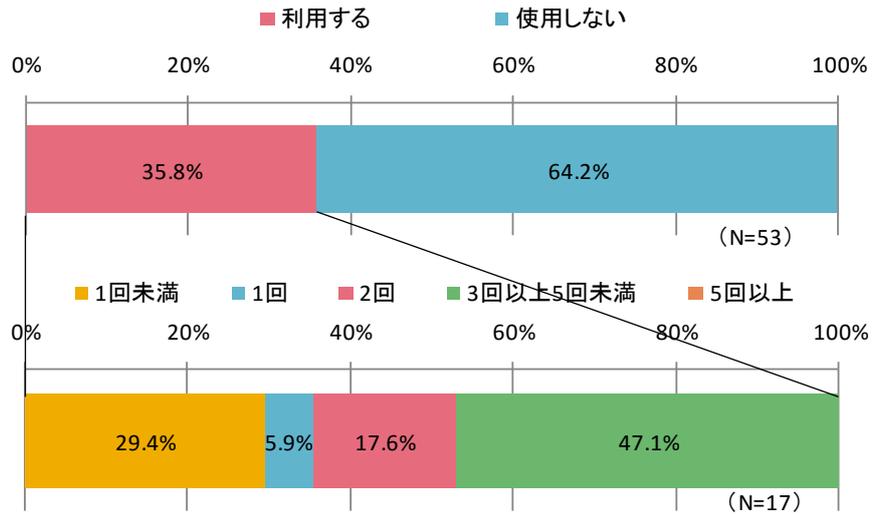


図 21 バス利用の有無と1か月の利用頻度

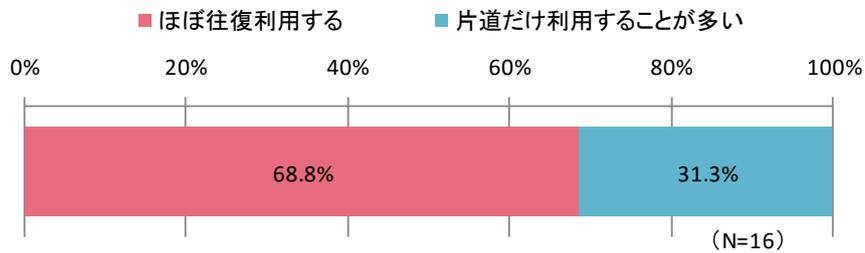


図 22 バスの往復・片道利用の状況

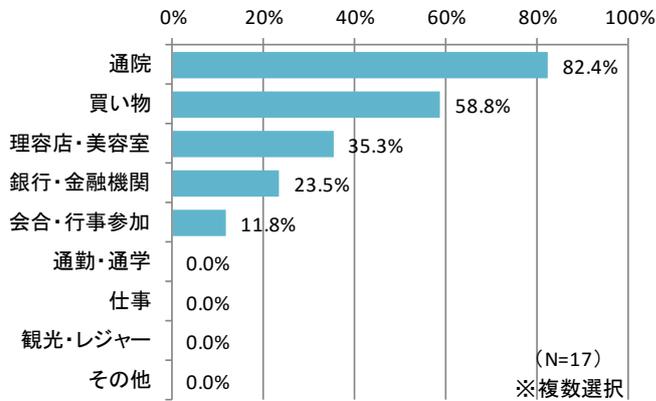


図 23 バスの利用目的

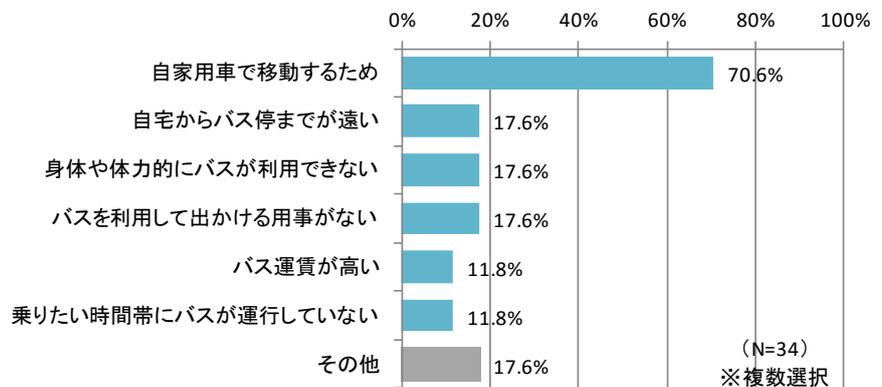


図 24 バスを利用しない理由

(3) 路線バスの評価

○せとうち周桑バス」についての評価で「不満」「やや不満」の合計割合が高かった項目は「バス停の待合環境」で、そのほか「運賃」「バス停周辺の駐輪場や駐車場」「バスとバスの乗り換え」「バスと鉄道の乗り換え」等が挙げられている。

○回答者が望むバスの運行頻度としては「1時間に1本」の割合が最も高く、次いで2時間に1本」「1日3往復」等と続く。保井野線の現在のダイヤは1日4.5往復で、2～3時間に1本運行されているが、周桑営業所 13:30 発の後は 17:05 発まで便がない。

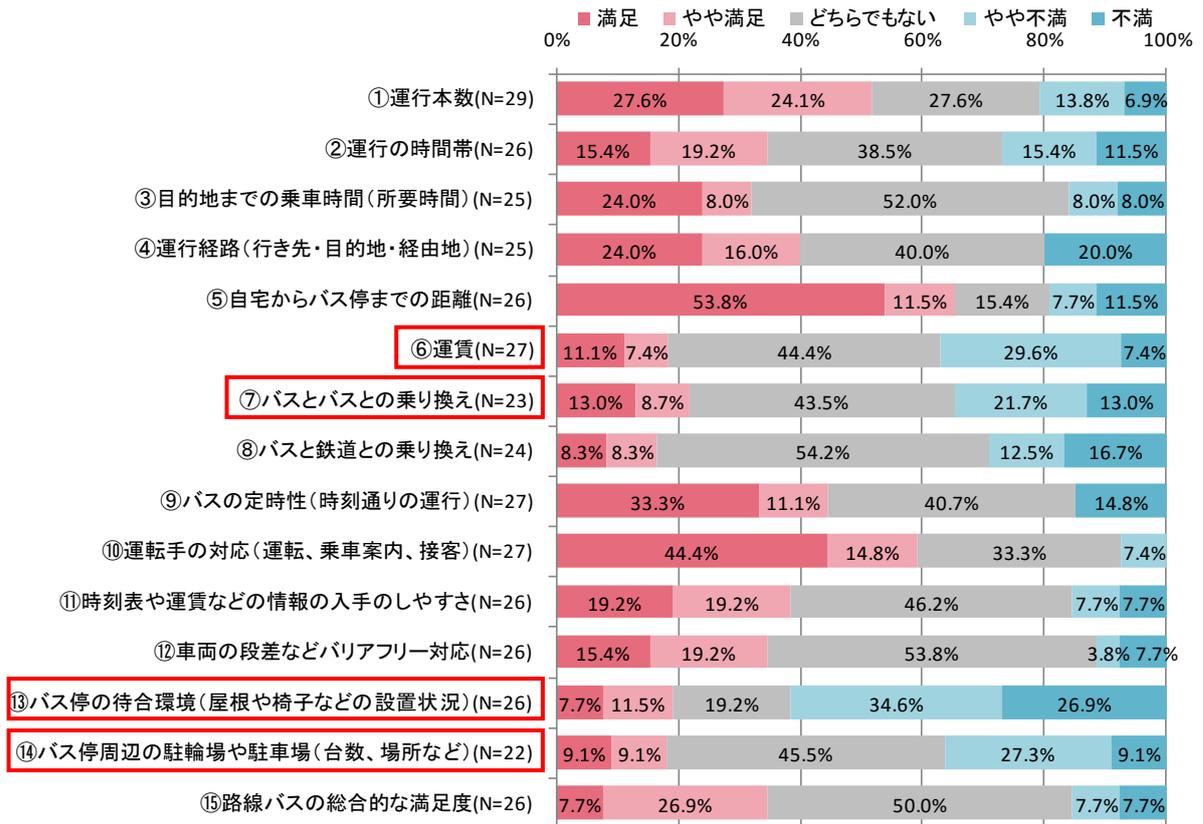


図 25 せとうち周桑バスの満足度

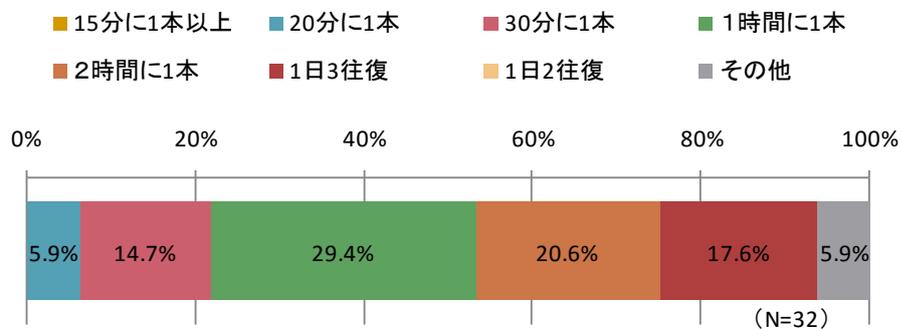


図 26 希望するバスの運行頻度

(4) タクシーの利用

○タクシーの利用については、通院時に 34.9%、買物時に 9.7%の回答者が利用している。

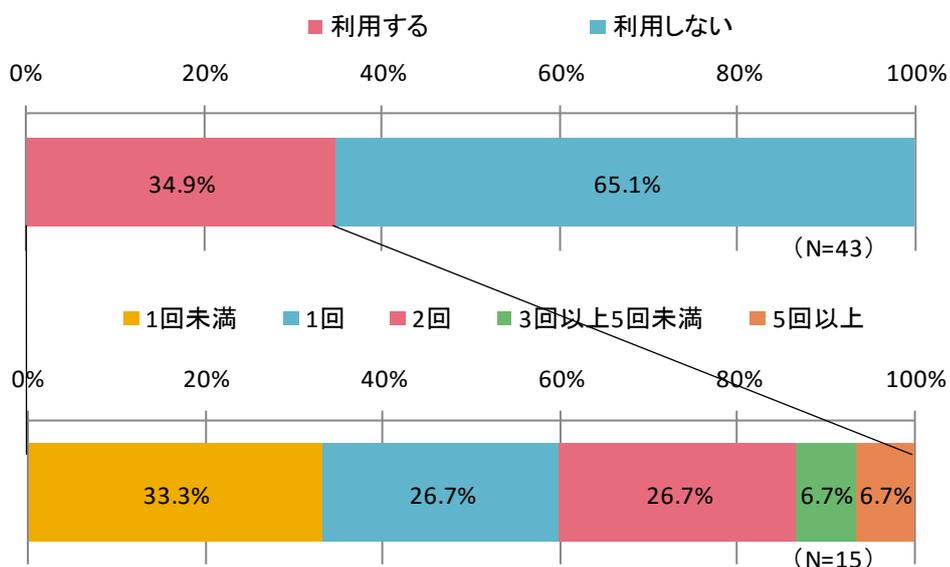


図 27 通院時のタクシー利用の有無と頻度

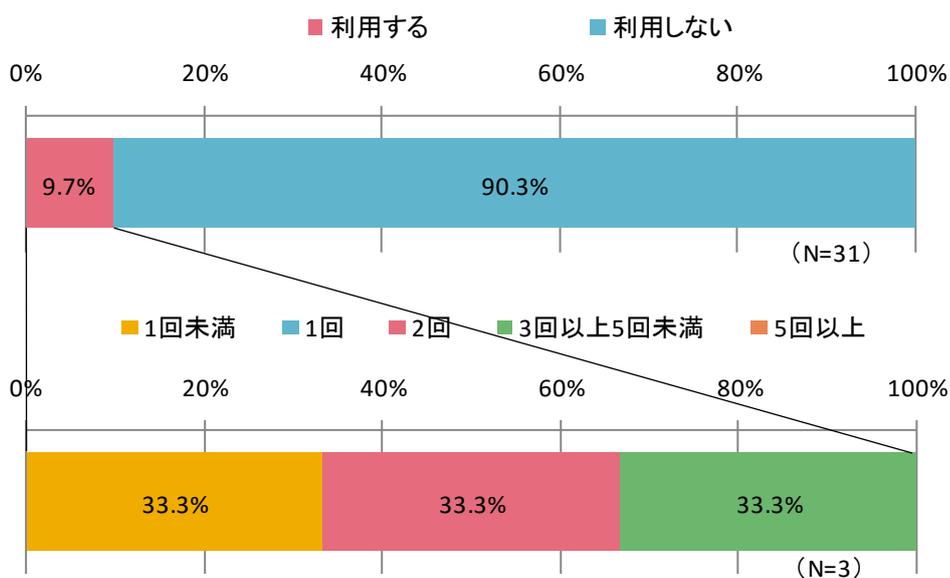


図 28 買物時のタクシー利用の有無と頻度

(5) 各種助成制度について

〇いきいきバス制度については「知っており、現在利用している」との回答は20.8%、「知っているが利用していない」が28.3%、「知らない」が50.9%で、「知らない」との回答割合が西之川線沿線に比べて高く、周知が十分図れていない状況がうかがえる。

〇いきいきバス制度により1/3の運賃負担で利用できることで「今後バス利用の回数が増える」「今後バスを利用してみたい」との回答が合わせて3割あった。

〇いきいきバス制度を知っているが利用しない理由としては、「75歳未満のため対象外」を挙げる割合が最も高く、次いで「身体的・体力的な理由で手続きに行けない」「手続きが面倒」「助成内容に魅力がない」が同数で挙がっている。

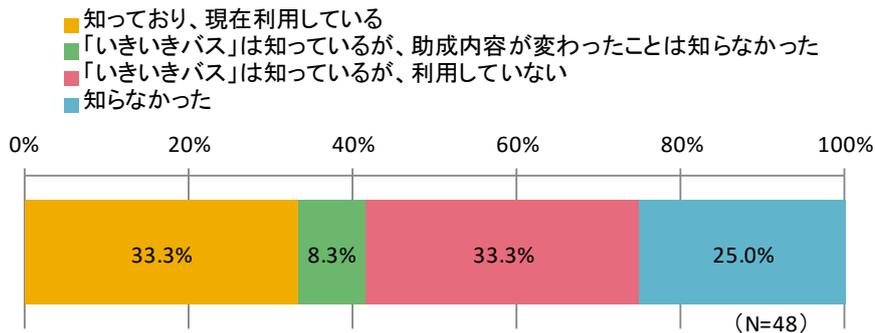


図 29 いきいきバス制度の周知度合い

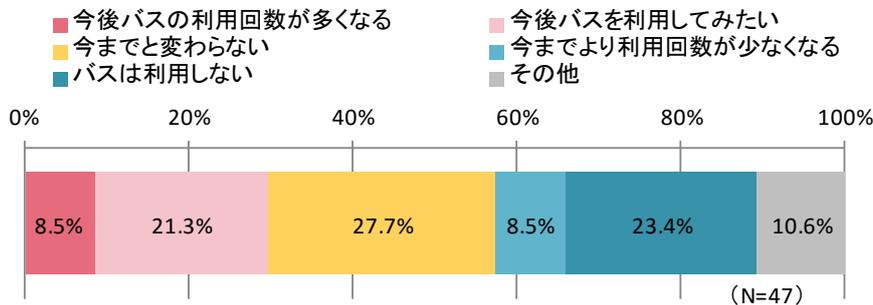


図 30 いきいきバス制度がバス利用頻度に与える影響

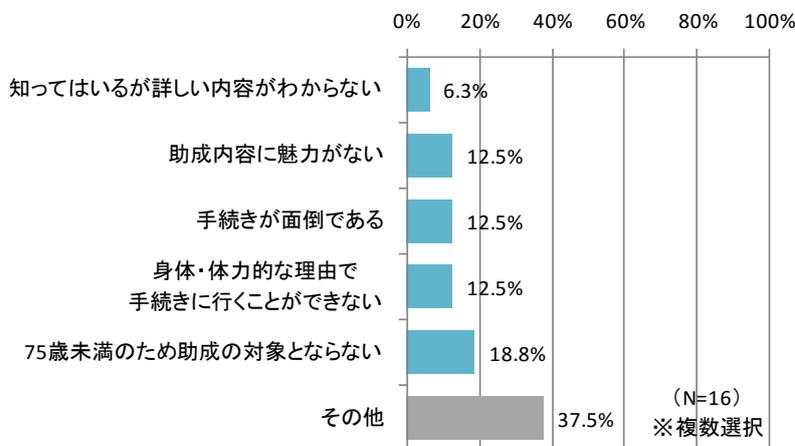


図 31 いきいきバス制度を利用しない理由

## 2. 山間部の公共交通体系の検討

○高齢者タクシー利用助成制度については「利用している」が2割、「知っているが利用していない」が約3割、「知らない」が約5割で、こちらも十分な周知が図れていない状況がうかがえる。

○利用しない理由としては、「条件が合わず助成対象外」を挙げる割合が最も高い。

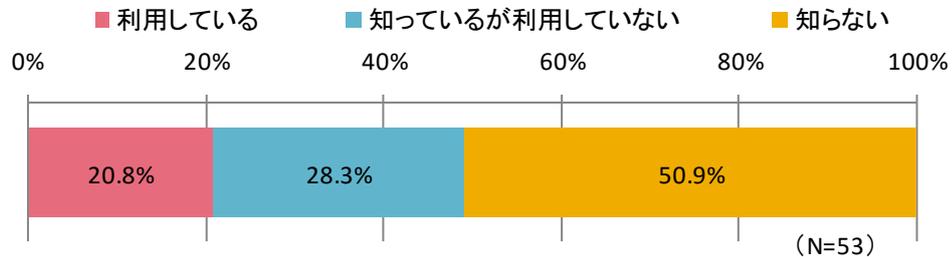


図 32 高齢者タクシー利用助成制度の周知度合い

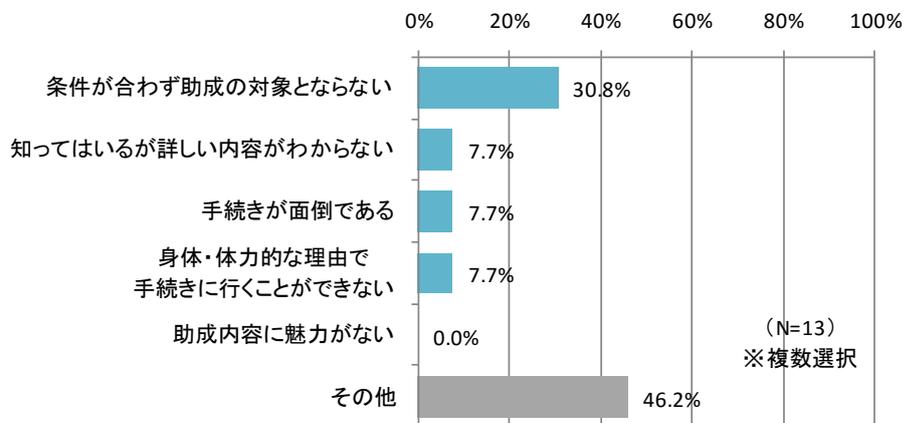


図 33 高齢者タクシー利用助成制度を利用しない理由

### (6) 今後のバスサービスの要望

○今後のバスサービスとしては、「路線バス（せとうち周桑バス）」を望む割合が6割と最も高く、次いで「タクシー助成の更なる拡充」となっており、「乗合タクシー」の要望は少ない。

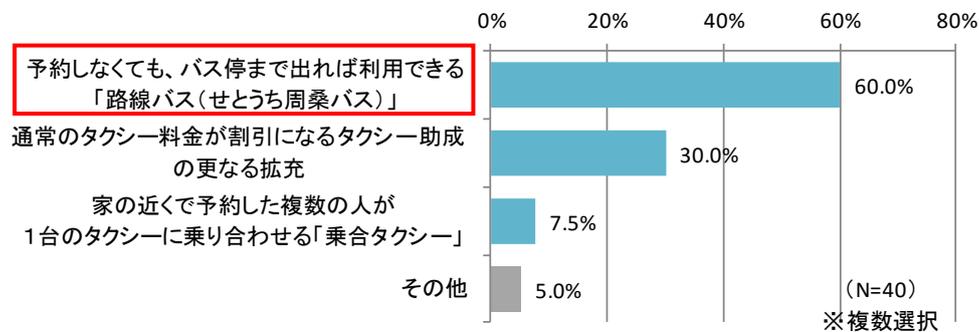


図 34 今後のバスサービスの要望

### 2-2-3 今後の対応

#### (1) 保井野線の運行維持

- アンケート調査結果では、今後のサービスとして「路線バス（せとうち周桑バス）」を挙げる割合が高いことから、保井野線の運行維持に努める必要がある。
- せとうち周桑バスの満足度について、アンケートでは待合環境やバス停周辺環境に対する不満が強く表れていた。また、運賃に対する不満、乗り換えに関する不満も高かった。
- これらのことから、バス停環境の調査を行い、必要に応じて整備を図る必要がある。
- 運賃に関してはいきいきバス制度の拡充を図るとともに、アンケートでは周知が十分されていないという現状を踏まえ、制度の周知を図っていくことで対応する。
- 接続に関しては、現状のバスダイヤの改善に努める必要がある。

#### (2) タクシー利用助成の拡充と周知

- 保井野線周辺の公共交通空白地域は、まとまった集落ではなく広い範囲に点在していることから、バスの延伸や乗合タクシーでは対応しにくい状況にあるため、タクシー利用助成の拡充を図ることにより外出支援を行うことが現実的と考えられる。
- その際、現状の制度も周知が十分なされていないことから、広報活動を充実させることが望まれる。

## 2-3 大郷地区

### 2-3-1 公共交通空白地の状況

○大郷地区は国道 11 号から南に入り込んだ場所に位置し、路線バスが利用しにくい。

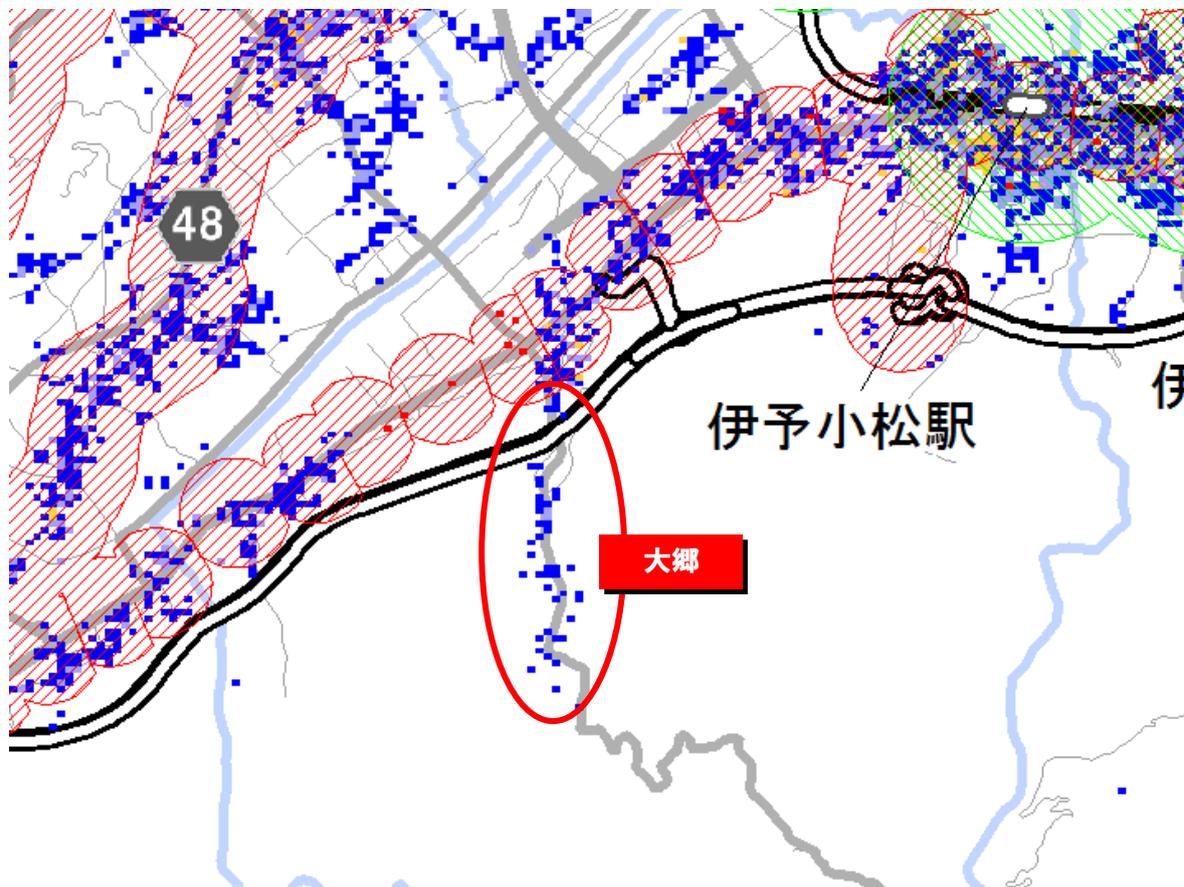


図 35 大郷地区の状況

### 2-3-2 アンケート調査結果より

○公共交通空白地域である大郷地区については、交通空白地域アンケート調査の結果から大郷地区だけを抽出して整理すると、以下のようになる。

○調査概要は、3-1-2 に記載。

#### (1) 自宅からバス停までの距離

○自宅からバス停までの距離は 1 km 以上となっている。

○バスを利用してもよいと思う自宅からバス停までの距離は「200m 以内」の割合が最も高く、次いで「自宅や目的地前まで送迎」と「400m 以内」が同数となっている。

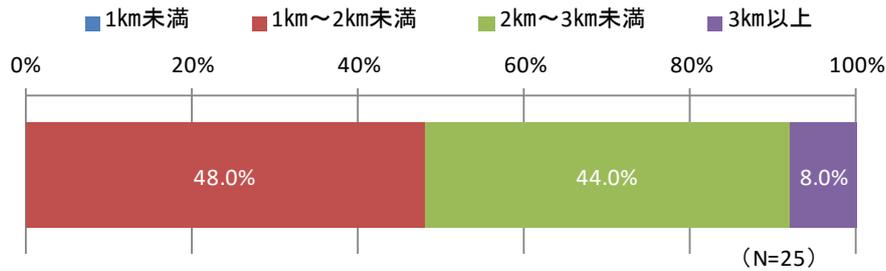


図 36 自宅からバス停までの距離

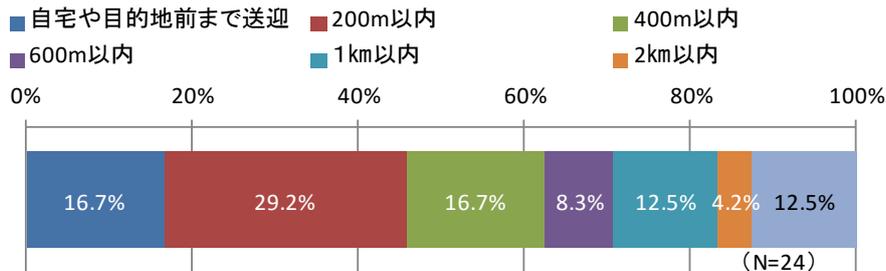


図 37 バスを利用してもよいと思う自宅からバス停までの距離

## (2) 路線バスの利用状況

- 路線バスを利用するとの回答は1割と低くなっている。
- バスの利用目的としては「通院」「買物」の割合が高い。
- バスを利用しない理由としては「自家用車で移動」と「自宅からバス停までが遠い」が同数で最も高くなっている。

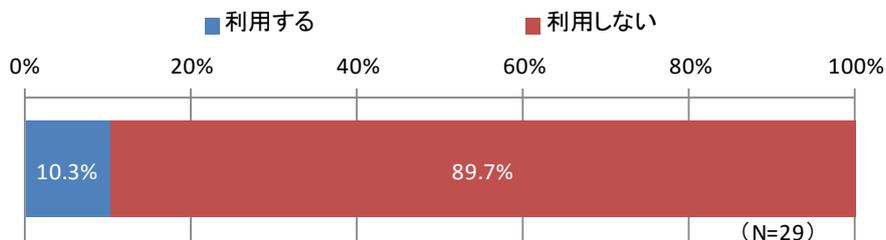


図 38 バス利用の有無

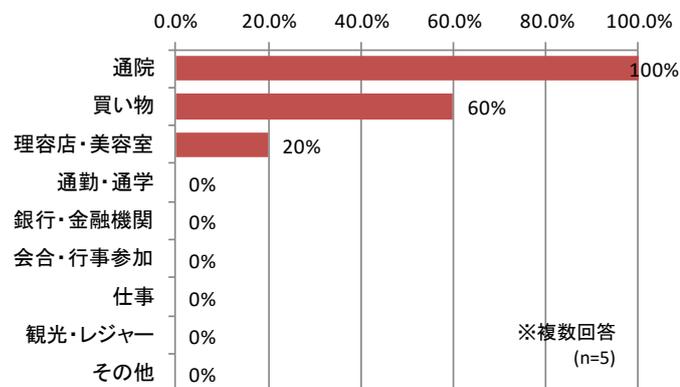


図 39 バスの利用目的

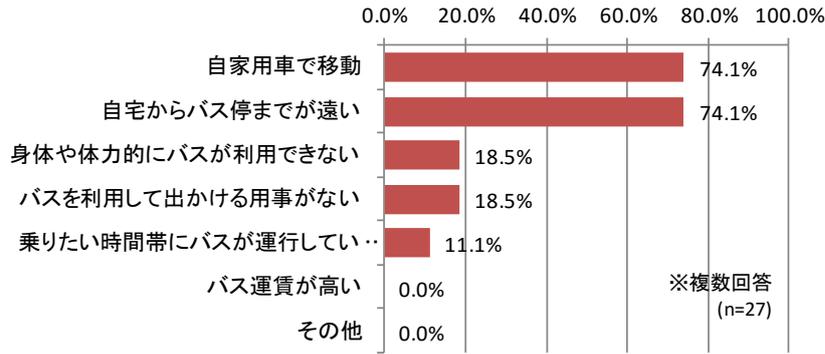


図 40 バスを利用しない理由

(3) 路線バスの評価

○路線バスについての評価は全体的に低く、特に「自宅からバス停までの距離」は「やや不満」と「不満」で占められている。そのほか、「バス停の待合環境」「駐輪場・駐車場」「情報の入手のしやすさ」「運行経路」等で不満の割合が高い。

○希望するバスの運行頻度としては「1時間に1本」と「30分に1本」が全体の8割となっている。

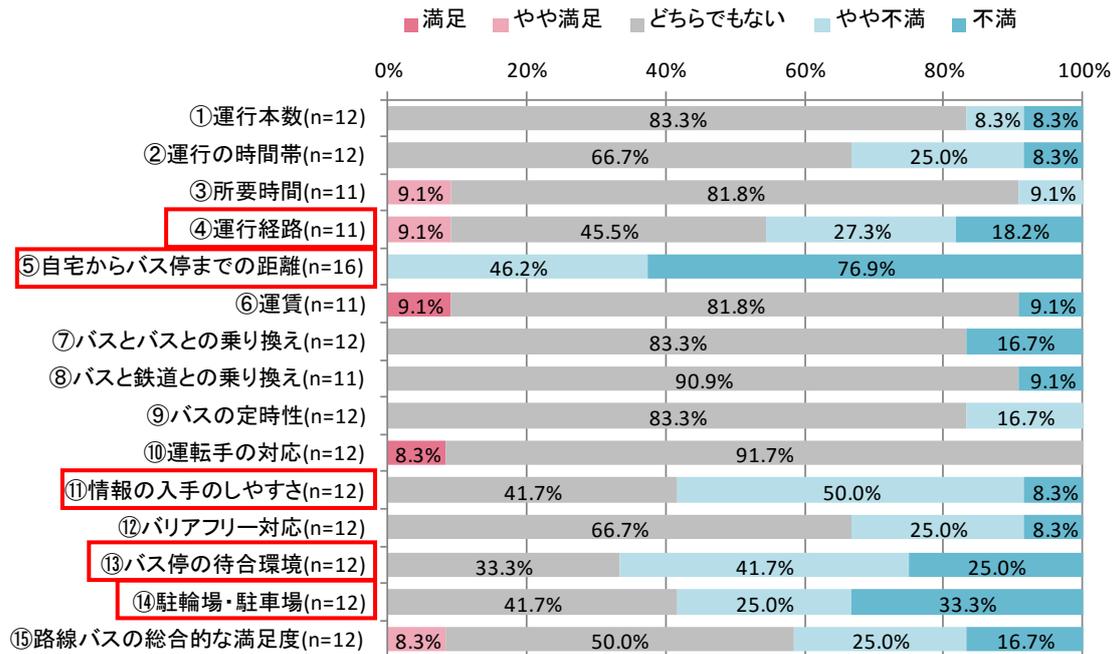


図 41 路線バスの満足度

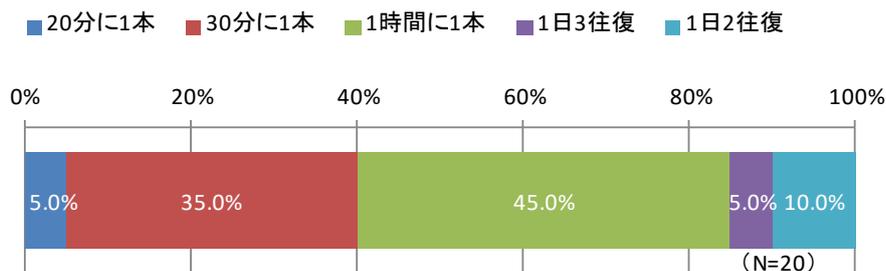


図 42 希望するバスの運行頻度

(4) タクシーの利用

○タクシーについては、買物時に利用するとの回答が24%あり、頻度としては月2回の割合が最も高かった。

○買物時にタクシーを利用するとの回答は9.5%で、頻度は「2回」と「5回以上」が同数となっている。

○その他のタクシー利用は3割あるが、利用頻度はほとんどが月1回以下の利用となっている。

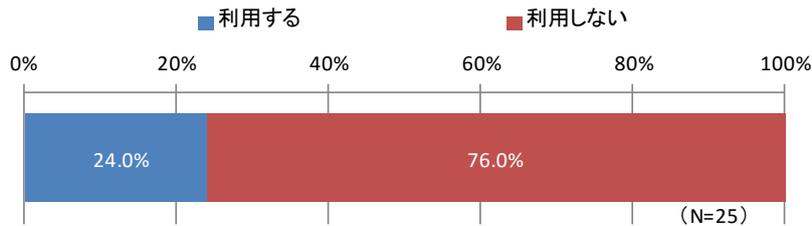


図 43 通院時のタクシー利用の有無

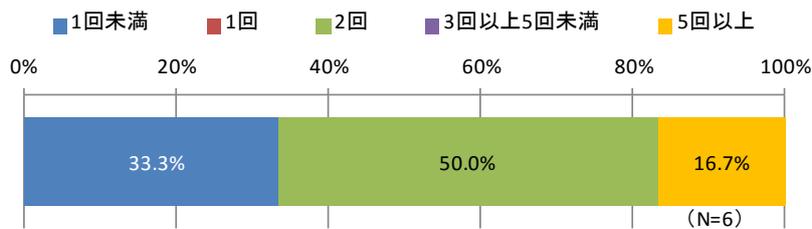


図 44 通院時のタクシー利用頻度

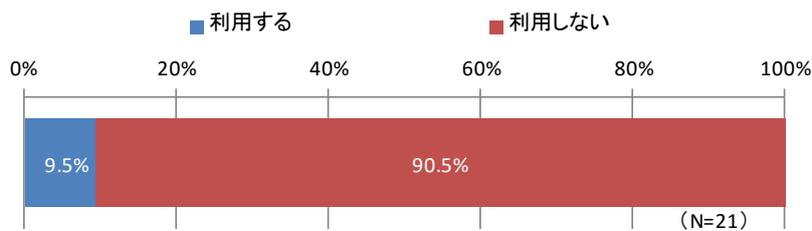


図 45 買物時のタクシー利用の有無

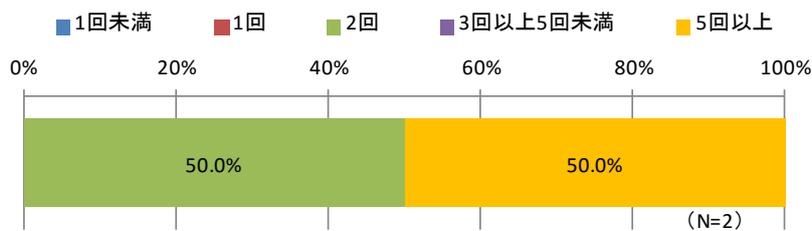


図 46 買物時のタクシー利用頻度

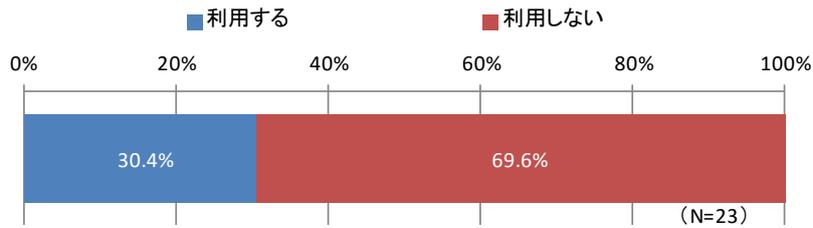


図 47 その他のタクシー利用の有無

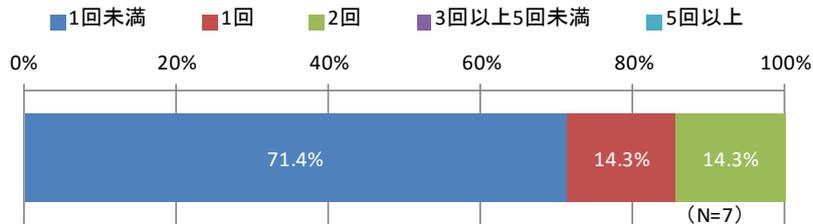


図 48 その他のタクシー利用の頻度

(5) 各種制度について

○いきいきバス制度を現在利用しているとの回答はなく、「いきいきバス」は知っているが利用していないとの回答が6割以上となっている。「知らなかった」とする回答も3割弱ある。

○いきいきバス制度により 1/3 の運賃負担でバスが利用できることによる影響では、6割近くが「バスは利用しない」としており、「今までと変わらない」と合わせて8割となるが、「今後バスの利用回数が増える」と「今後バスを利用してみたい」の合計も2割ある。

○利用しない理由としては「助成対象とならない」が最も高いが、その他の意見として「バス停が遠い」等がみられる。

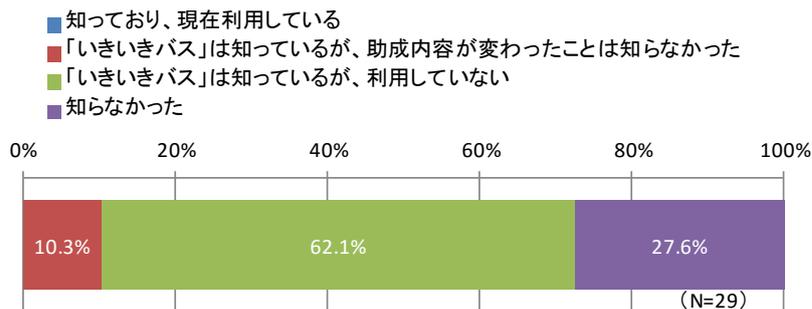


図 49 いきいきバス制度の周知度合い

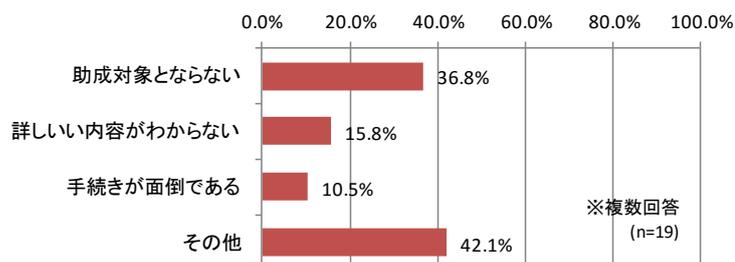


図 50 いきいきバス制度を利用しない理由

- 高齢者タクシー利用助成制度については、「知らない」との回答が44.4%と最も割合が高く、「知っているが利用していない」「利用している」の順となっている。
- 利用しない理由としては「条件が合わず助成の対象とならない」を挙げる割合が最も高く、「知っているが詳しい内容がわからない」との回答もみられる。

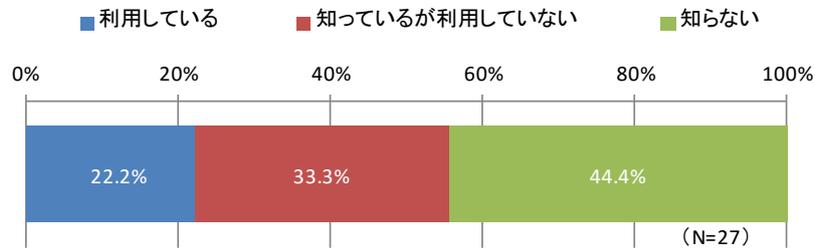


図 51 高齢者タクシー利用助成制度の周知度合い

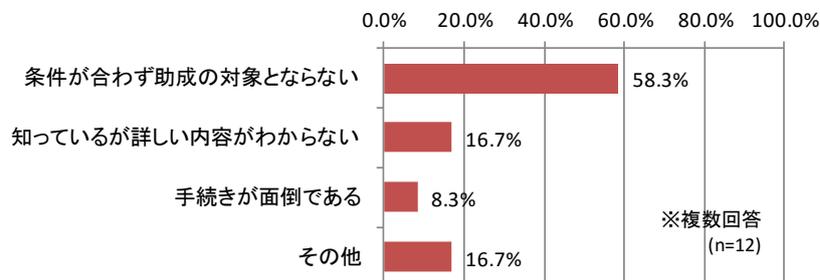


図 52 高齢者タクシー利用助成制度を利用しない理由

### 2-3-3 今後の対応

#### (1) デマンド型乗合タクシー導入の検討

○大郷地区は集落がまとまっており、市街地にも比較的近い位置にある。路線バスの延伸も考えられるが、デマンド型乗合タクシー導入の可能性も検討の余地がある。実際の需要等を調査し、必要に応じて導入を検討する。

#### (2) 高齢者タクシー利用助成制度の拡充

○乗合タクシーの導入ではなく、タクシー助成による外出支援も考えられる。その際、必要要件の緩和等の拡充を図るとともに、十分な周知活動が必要となる。

## 2-4 高齢者タクシー利用助成制度

### 2-4-1 アンケート調査結果より

#### (1) 調査概要

##### ①調査目的

○山間地の交通空白地域の移動実態や日常的なタクシーの利用状況、高齢者タクシー利用助成事業の活用の有無等を調査し、より有効なタクシー利用助成事業のあり方を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

##### ②調査対象

○振興山村地域に指定されている山間部の地域に居住する世帯のうち、バス停半径 400m 圏域外にあって 75 歳以上の高齢者がいる世帯

##### ③調査時期

○平成 28 年 12 月 8 日（木）～12 月 20 日（火）

##### ④調査方法

○対象世帯へアンケート用紙を郵送配布し、同封の封筒での郵送回収を行った。

※年齢が該当する者の有無に関わらず、それぞれのアンケート用紙を 2 部ずつ同封。

##### ⑤回収率

○回収率は以下のとおりである。

地区名	対象世帯数	74 歳以下		75 歳以上		合計		
		配布枚数	回収枚数	配布枚数	回収枚数	配布枚数	回収枚数	回収率
百合城	2	4	1	4	0	8	1	12.5%
下土居	2	4	2	4	2	8	4	50.0%
上土居	2	4	0	4	1	8	1	12.5%
松の木	3	6	3	6	1	12	4	33.3%
大 檜	2	4	3	4	2	8	5	62.5%
横 吹	1	2	0	2	0	4	0	0.0%
平 野	2	4	1	4	0	8	1	12.5%
千 原	17	34	5	34	1	68	6	8.8%
楠 窪	15	30	3	30	2	60	5	8.3%
大 郷	77	154	42	154	28	308	70	22.7%
住所不明	-	-	1	-	1	-	2	-
合計	123	246	61	246	38	492	97	19.7%

(2) 75歳以上を対象としたアンケート調査結果

① タクシー利用時の片道平均運賃について

○ 「タクシーを利用していない」が47.1%と最も高くなっている。

○ 利用される方の平均運賃は「2,000円～3,000円未満」が20.6%と最も高く、次いで「2,000円未満」が11.8%となっている。

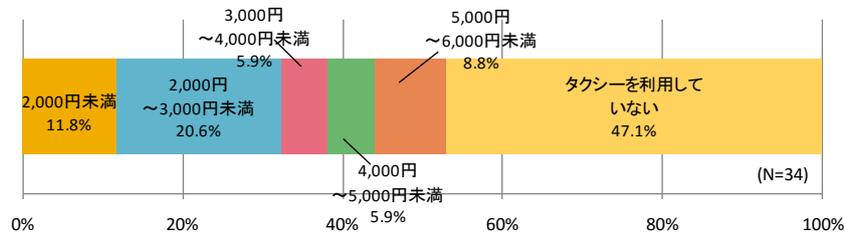


図 53 タクシー利用の有無と片道運賃

② 西条市高齢者タクシー利用助成事業の利用状況について

○ 「利用していない」が63.9% (23人)、「利用している」が25.0% (9人)となっている。

○ 「助成の対象外である」が5.6% (2人)、「助成自体を知らなかった」が5.6% (2人)あった。

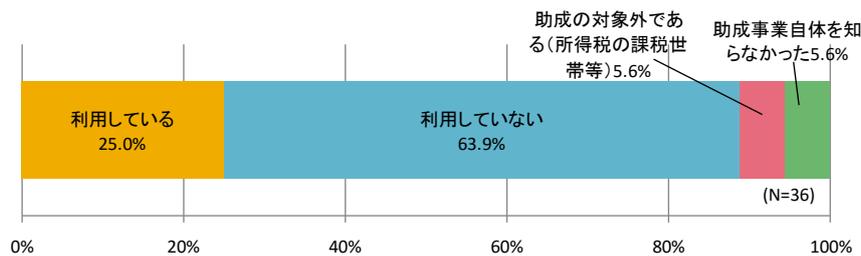


図 54 高齢者タクシー利用助成事業の利用の有無

③ 助成券交付の手続きに関する意見

○ 「現状のままでよい(代理も可)」が75.0% (6人)と最も高く、「郵便等で手続きができるようにしてほしい」は25.0% (2人)となっている。



図 55 助成券交付の手続きに関する意見

④助成券の交付枚数について

○「1人当りの交付枚数を増やしてほしい」が48.4%（15人）と最も高く、次いで「現状の1人12枚のままでよい」が32.3%（10人）となっている。

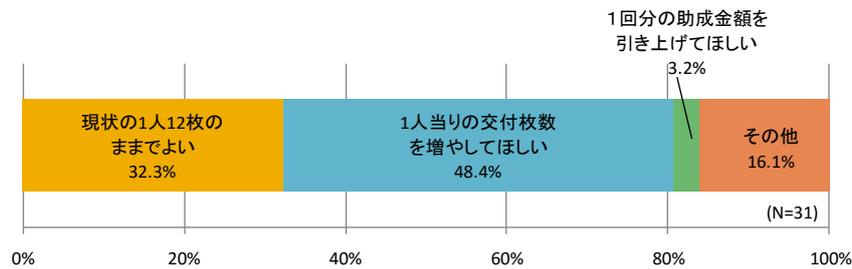


図 56 助成券の交付枚数

⑤助成対象について

○「現状の75歳以上のままでよい」が64.3%と最も高く、次いで「対象年齢を下げてほしい」が21.4%、「所得課税の条件をはずしてほしい」が14.3%となっている。

○対象年齢を下げる場合の具体的な年齢は、「70歳」という回答がみられた。

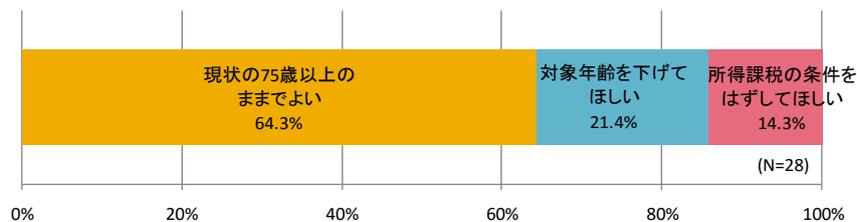


図 57 助成対象

⑥免許返納後にあるとよい助成内容について(免許保有者)

○「タクシーの助成券(定額)を毎年配布」は80.0%と最も高く、次いで「路線バスの乗車券(定額)を毎年配布」が13.3%、「不要」が6.7%となっている。

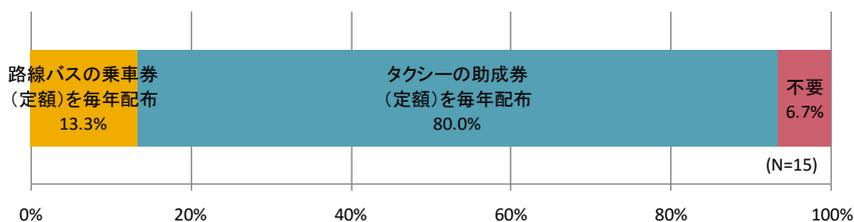


図 58 免許返納後にあるとよい助成内容

(3) 74歳以下を対象としたアンケート調査結果

①西条市高齢者タクシー利用助成事業の周知度合いについて

○「知っている」が60.3%、「知らない」が39.7%となっている。

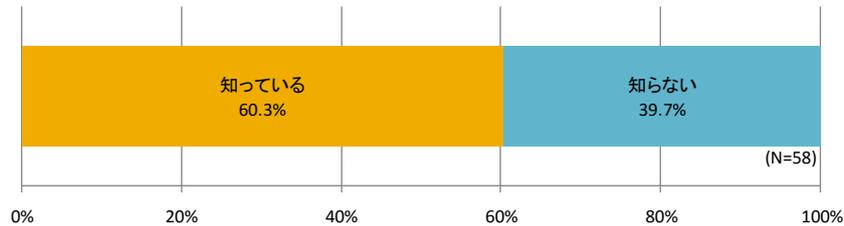


図 59 高齢者タクシー利用助成事業の周知度合い

②助成対象について

○「現状の75歳以上のままでよい」が60.6%と最も高く、次いで「対象年齢を下げるべき」「所得課税の条件をなくすべき」となっている。

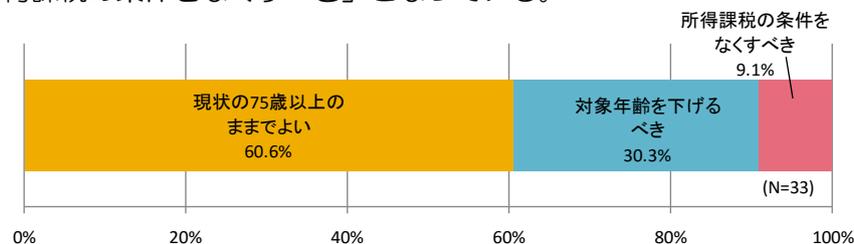


図 60 助成対象

③免許返納後にあるとよい助成内容について(免許保有者)

○「タクシーの助成券(定額)を毎年配布」が74.0%と最も高く、次いで「路線バスの乗車券(定額)を毎年配布」となっている。

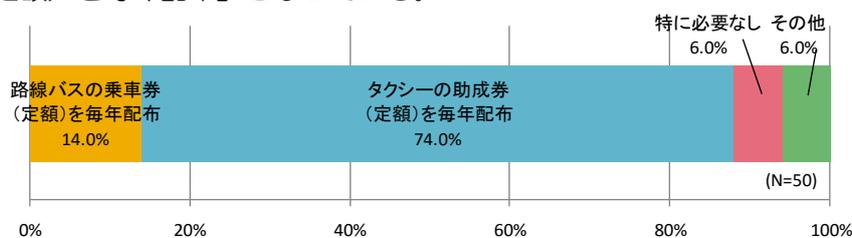


図 61 免許返納後にあるとよい助成内容

④利用できたら良いと思う助成制度について(免許非保有者)

○「タクシーの助成金(定額)」が57.1%、「路線バスの乗車券(定額)」が42.9%となっている。

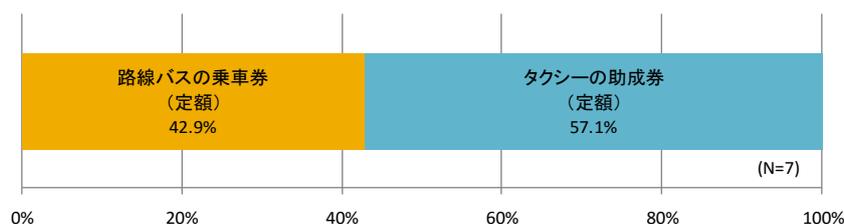


図 62 利用できたら良いと思う助成制度

### 2-4-2 高齢者タクシー利用助成制度改善の方向性

#### (1) 交通施策としての助成制度の新設

- 現行の「高齢者タクシー利用助成」は福祉施策として市内の75歳以上の高齢者を対象として行われているが、この制度に加え、「山間部の交通不便地域タクシー助成」を交通施策として新設する。
- 「高齢者タクシー利用助成」の助成内容は初乗運賃(550円)分を助成しており、目的地まで片道1,000円程度の負担でタクシーが利用できる市街地周辺に居住する高齢者にとっては、高いサービス水準となっている。しかし、山間部でしかも路線バスの利用が困難な交通不便地域に居住する高齢者は、家族や知人の自家用車送迎以外は移動の際タクシーに依存せざるを得なく、目的地まで3,000円程度タクシー料金を支払うことになる。これらの高齢者にとっては「高齢者タクシー利用助成」のサービス水準は高いとは言えない。
- これら山間部の交通不便地域に居住する高齢者に対しては、福祉施策の「高齢者タクシー利用助成」に加え、この新たな「山間部の交通不便地域タクシー利用助成」で対応することとする。

#### (2) 助成内容

##### ①助成対象

- 助成対象者は、制度の趣旨から以下のように設定する。また、交通施策として交通不便地域の移動手段を確保する目的で実施することから、「高齢者タクシー利用助成」で設けられている所得制限は適用しない。

##### 【助成対象】

- ・西条市に住民登録しているもの
- ・振興山村地域に指定されている山間部の地域に居住する75歳以上が同居する世帯
- ・バス停から半径400mまたはバス路線から左右400m(フリー乗降区間)圏域外に居住するもの

##### ②助成内容

- 1世帯につき、1,000円×12か月=12,000円分を助成
- 1回の利用上限額を3,000円とする。

##### 【助成内容の根拠】

- ・「いきいきバス制度」では額面3,000円の回数券を1,000円で販売しており、市が2/3を負担している。山間部から市街地までの片道タクシー料金は約3,000円であり、この負担割合を適用すると1回2,000円の助成となるが、路線バスと違いドア・トゥ・ドアのサービスであることを勘案し、1回につき1,000円の助成とする。



## 3-1-2 アンケート調査より

## (1) 調査概要

## ①調査目的

○市内平野部にあつて、バス停から距離があるためバスを利用しにくい地域の住民の日常の移動手段や移動目的地、現状のバスに対する評価等を把握し、今後のバス再編計画の基礎資料とする。

## ②調査対象

○西条市の平野部にあつて、バス停半径 400m 圏域外に居住する割合の高い行政区の住民

## ③調査時期

○平成 28 年 8 月 1 日～8 月 10 日

## ④調査方法

○対象となる地域の全世帯に対し、調査票を郵送配布し、郵送回収を行った。

## ⑤回収率

○アンケート回収率は以下のとおりである。

地域	配布数	回収数	回収率
西 条	900	292	32.4%
小 松	287	92	32.1%
東 予	2151	650	30.2%
丹 原	374	110	29.4%
合計	3,712	1,144	30.8%

(2) 自宅からバス停までの距離

○4つの地域を比較すると、丹原・小松地域でバス停までの距離が長い傾向にあり、特に小松地域では4割がバス停まで30分以上かかると回答している。

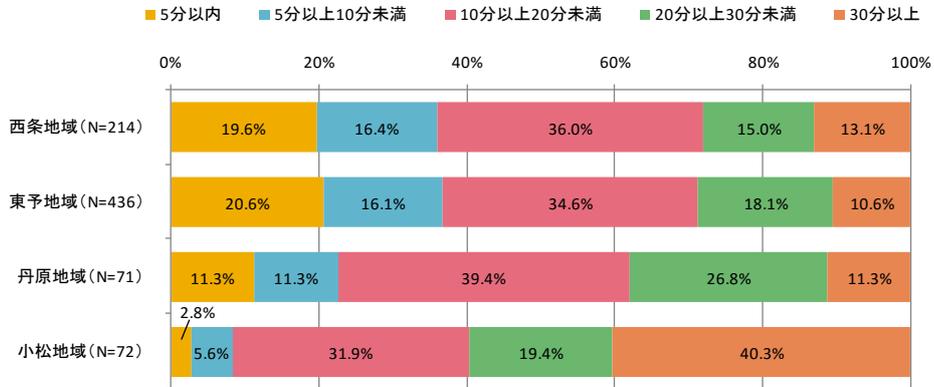


図 64 自宅からバス停までの距離

(3) バスの利用

○バスを利用するとした割合を比較すると、西条地域で最も低くなっている。  
○利用頻度は丹原、小松でやや高くなっている。

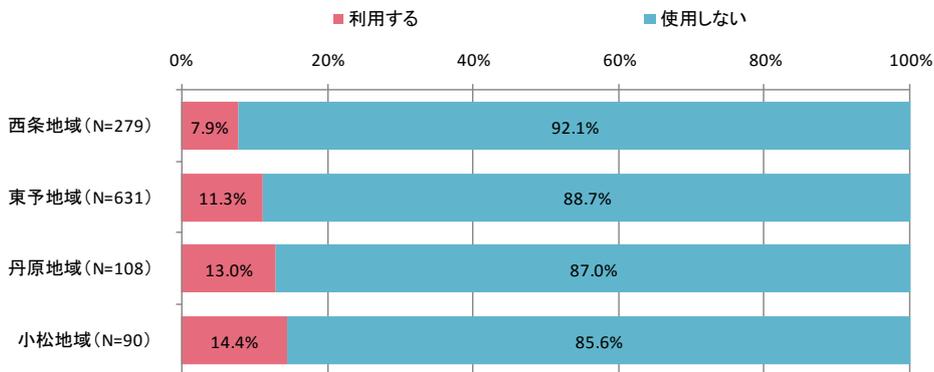


図 65 バス利用の有無

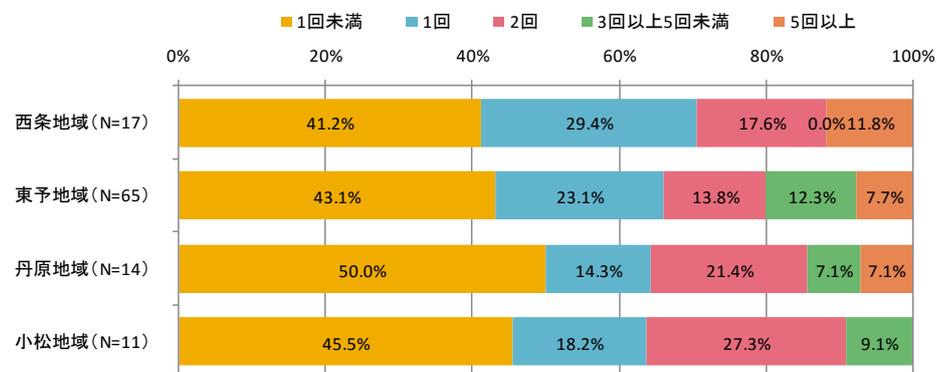


図 66 1か月のバスの利用頻度

### 3. 市街地の公共交通体系の検討

○バスの利用目的としては、全体的に「通院」「買物」が高い割合を示しているが、「通勤・通学」との回答も丹原地域を中心に比較的高くなっている。

○バスを利用しない理由としては「自家用車で移動するため」を挙げる割合が全体的に最も高く、次いで「自宅からバス停までが遠い」との回答割合も高くなっており、特に小松地域で高い割合を示している。

○西条地域で「乗りたい時間帯にバスが運行していない」を挙げる割合が高い。

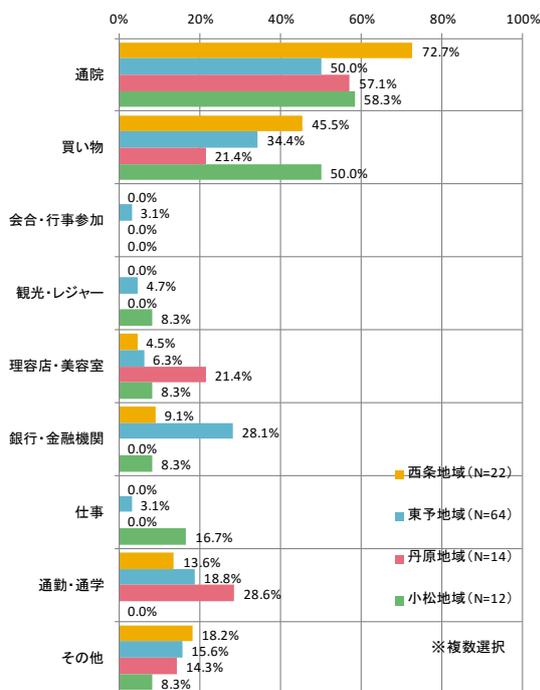


図 67 バスの利用目的

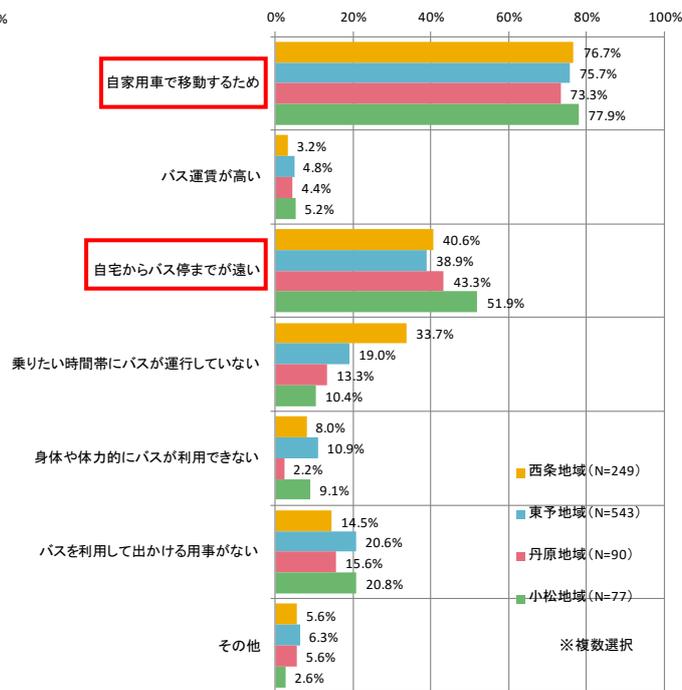


図 68 バスを利用しない理由

#### (4) バスの満足度

##### ① 運行本数

○運行本数に対する満足度は低く、特に西条地域で「不満」「やや不満」の合計が高くなっている。

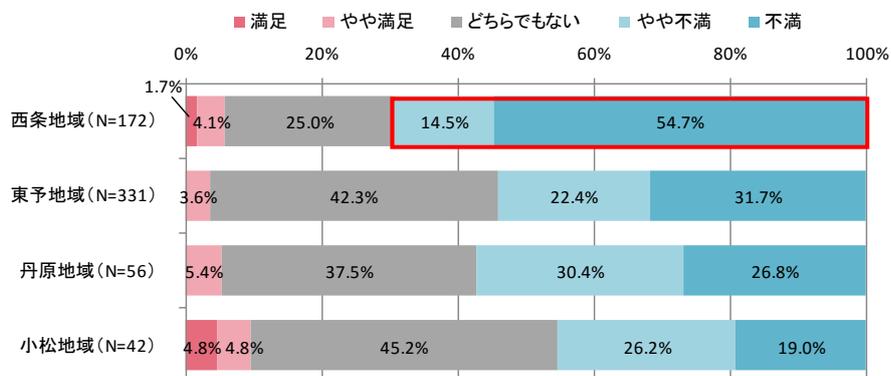


図 69 運行本数に対する満足度

②運行の時間帯

○運行時間帯の満足度も低く、特に西条地域で「不満」「やや不満」の合計が高くなっている。

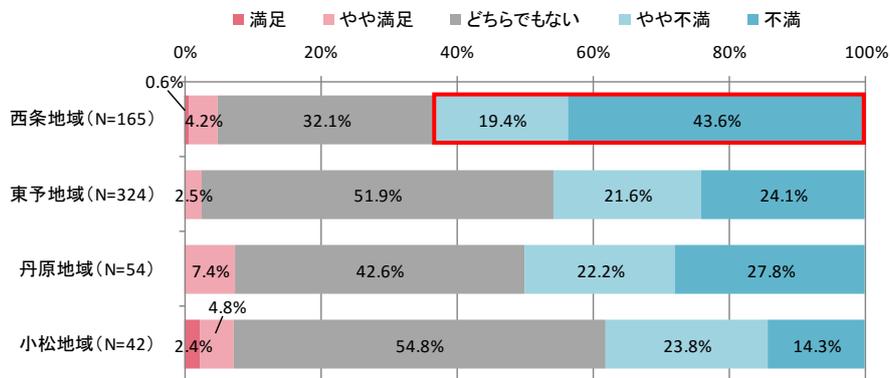


図 70 運行時間帯に対する満足度

③目的地までの乗車時間(所要時間)

○目的地までの乗車時間の満足度は、他の項目に比べると高い。

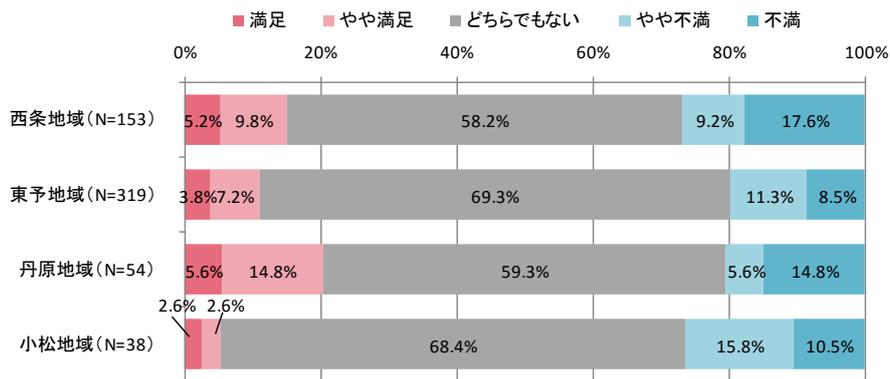


図 71 目的地までの乗車時間に対する満足度

④運行経路(行き先・目的地・経由地)

○運行経路の満足度は低く、特に西条地域、丹原地域で「不満」「やや不満」の合計が高い。

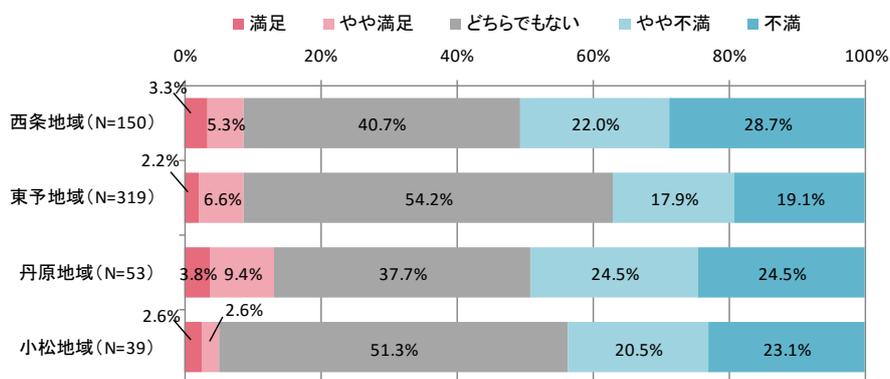


図 72 運行経路に対する満足度

⑤ 自宅からバス停までの距離

○自宅からバス停までの距離は特に満足度が低く、小松地域では「満足」「やや満足」を挙げる回答がなかった。

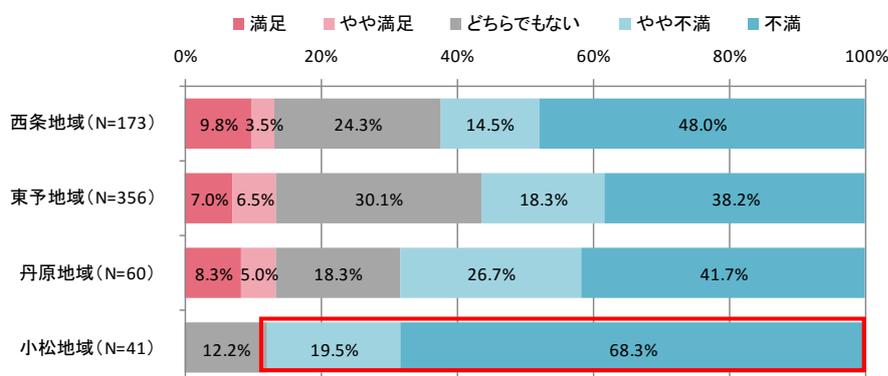


図 73 自宅からバス停までの距離に対する満足度

⑥ 運賃

○運賃に対する満足度もやや低く、特に小松地域で「不満」「やや不満」の合計が高い。

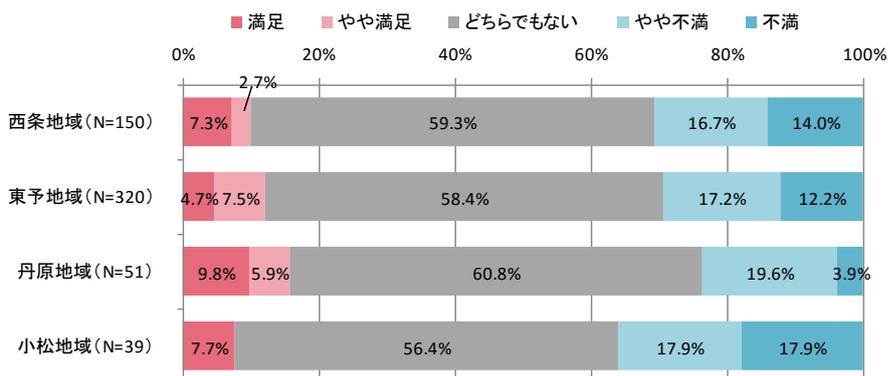


図 74 運賃に対する満足度

⑦ バスとバスとの乗り換え

○バスとバスの乗り換えの満足度も低く、西条地域、東予地域で「不満」「やや不満」の合計が高い。

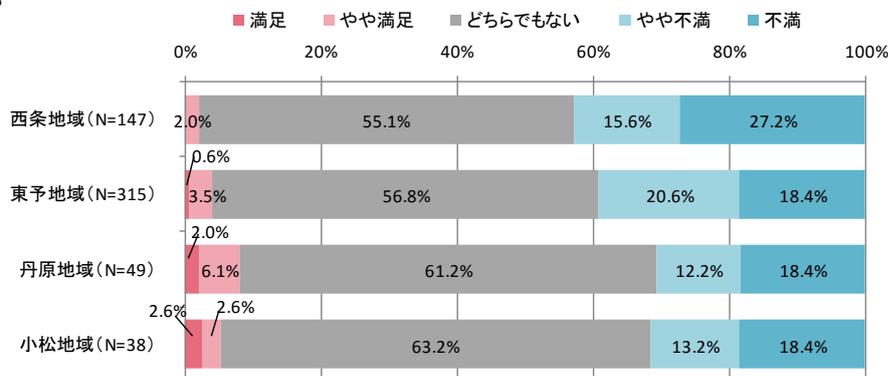


図 75 バスとバスの乗り換えに対する満足度

⑧バスと鉄道との乗り換え

○バスと鉄道との乗り換えに対する満足度も低く、西条地域で「不満」「やや不満」の合計が他に比べてやや高い。

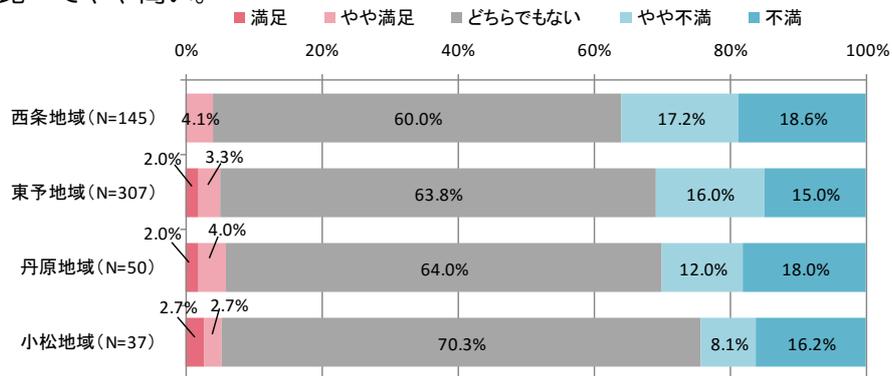


図 76 バスと鉄道との乗り換えに対する満足度

⑨バスの定時性(時刻通りの運行)

○バスの定時性については全体的に「満足」「やや満足」の割合が若干上回っている。

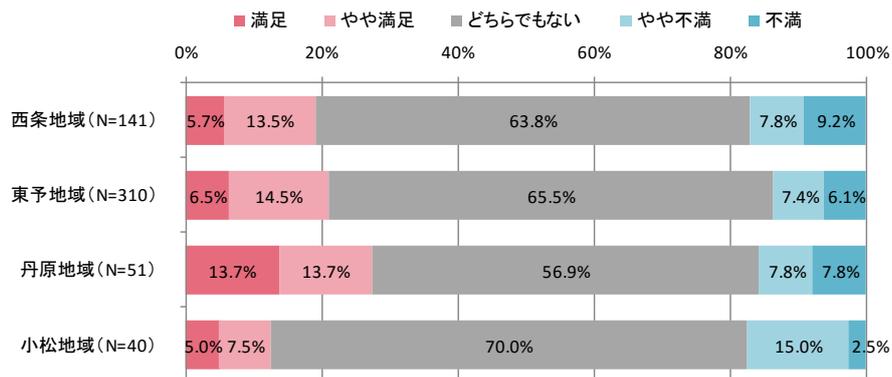


図 77 バスの定時性に対する満足度

⑩運転手の対応(運転、乗車案内、接客)

○運転手の対応については全体的に「満足」「やや満足」の割合が上回っている。

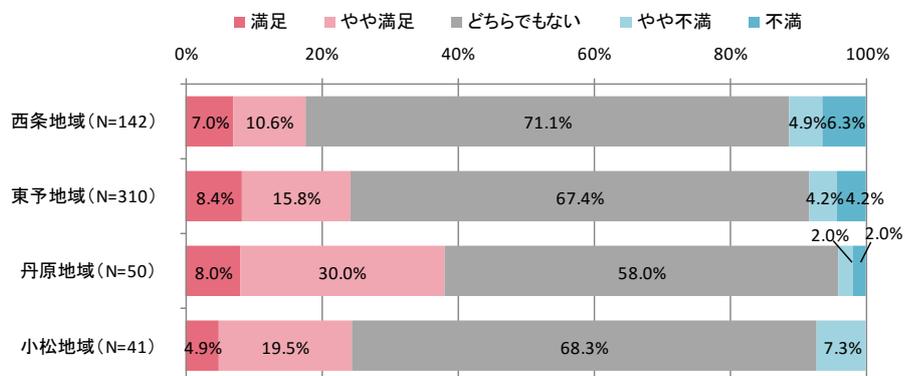


図 78 運転手の対応に対する満足度

⑪時刻表や運賃などの情報の入手のしやすさ

○時刻表や運賃などの情報の入手のしやすさについては、小松地域で「不満」「やや不満」の合計が他の地域に比べて高くなっている。

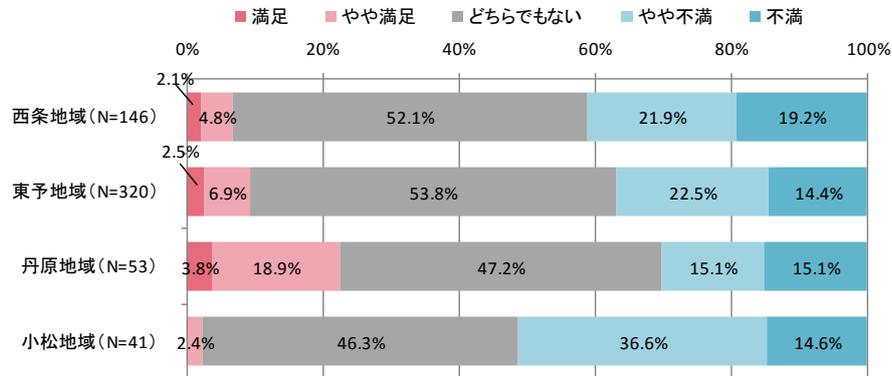


図 79 情報の入手のしやすさに対する満足度

⑫車両の段差などバリアフリー対応

○バリアフリー対応についての満足度も低く、特に小松地域で「不満」「やや不満」の合計が他の地域に比べて高い。

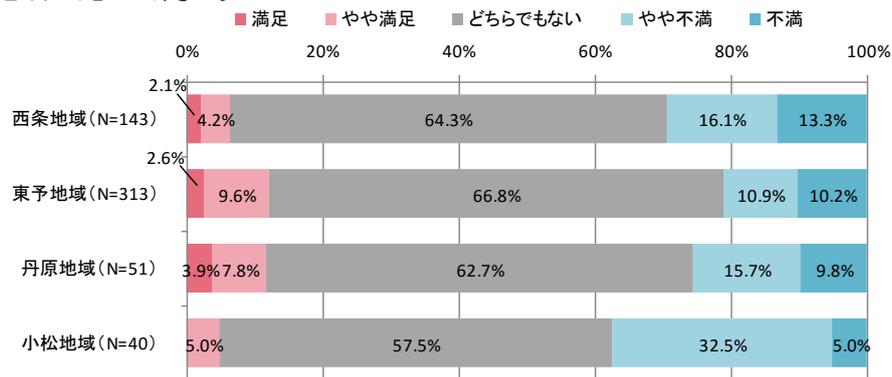


図 80 バリアフリー化に対する満足度

⑬バス停の待合環境(屋根や椅子などの設置状況)

○待合環境の満足度も全体的に低く、特に小松地域で「不満」「やや不満」の合計が高い。

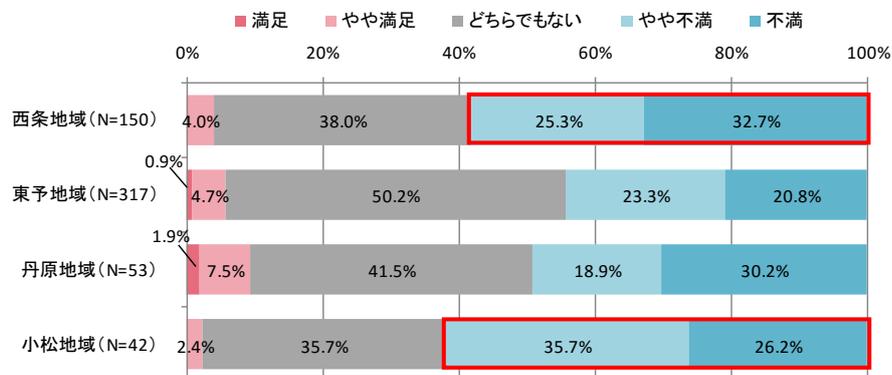


図 81 バス停の待合環境に対する満足度

⑭バス停周辺の駐輪場や駐車場(台数、場所など)

○バス停周辺の駐輪場や駐車場についても満足度は低い。

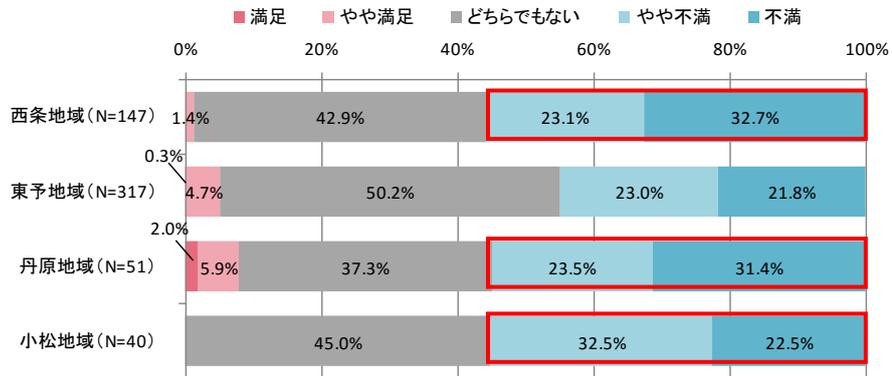


図 82 バス停周辺の駐輪場や駐車場に対する満足度

⑮路線バスの総合的な満足度

○全体的に満足度が低い項目が多いことから、路線バスの総合的な満足度も低くなっている。

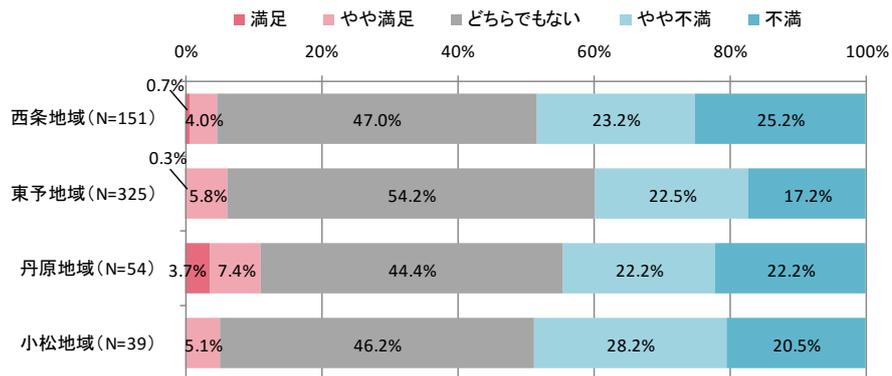


図 83 路線バスの総合的な満足度

(5) バスを利用してもよいバス停の距離、運行頻度について

①バス停までの距離

- バスを利用してもよいと思う自宅からバス停までの距離は、4地域間で大きな違いは見られず、全体的に「200m以内」を挙げる割合が最も高くなっている。
- 「自宅や目的地前まで送迎」を挙げる割合が2番目に高いのは西条地域と丹原地域であった。

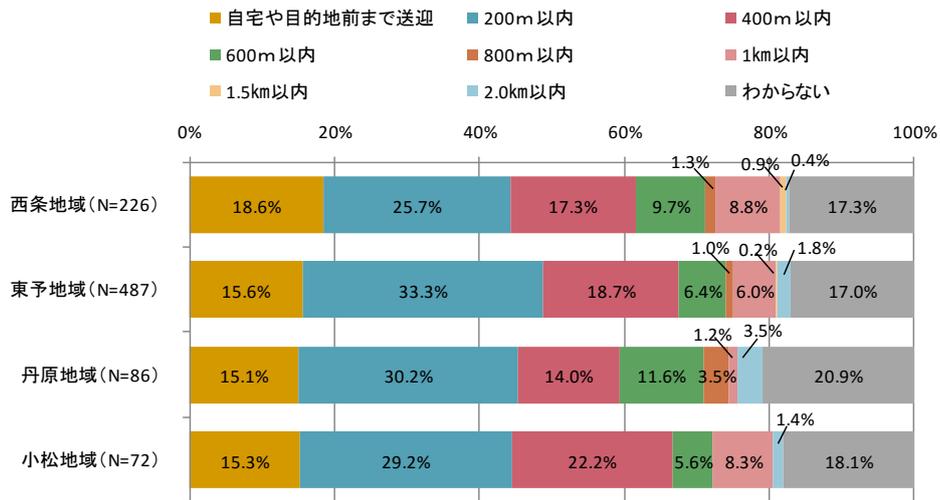


図 84 バスを利用してもよいと思うバス停までの距離

②運行頻度

- 最低限希望するバスの運行頻度としては、西条地域を除く3地域で「30分に1本」を挙げる割合が最も高かった。次いで「1時間に1本」が高く、西条地域では「2時間に1本」の割合も他の地域に比べて高くなっている。
- 小松地域では「1日2往復」との回答が他の地域に比べて高い。

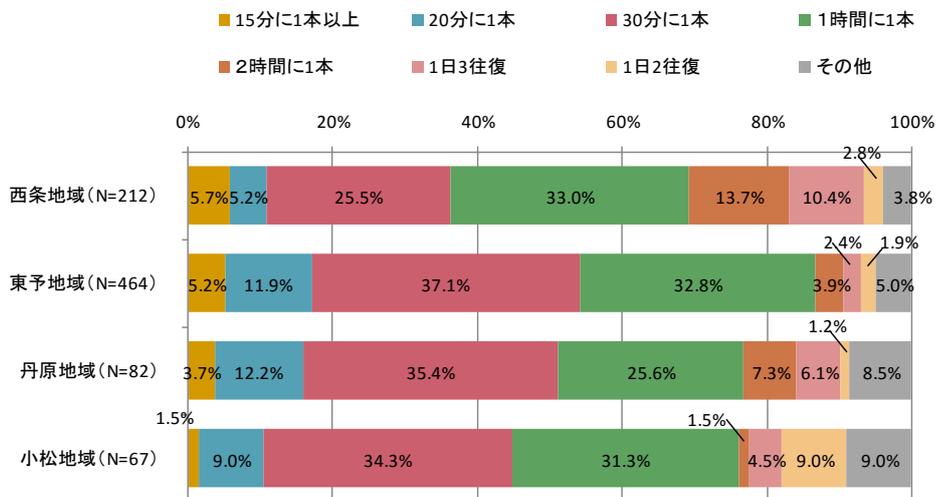


図 85 最低限必要な運行回数

(6) いきいきバス制度について

①周知度合い

- いきいきバス制度を知っていた割合は全体的に半数で、残り半数は「知らなかった」と回答している。4地区を比較すると小松地域でやや周知度合いが高くなっている。
- 「知っており現在利用している」と回答した割合は丹原地域、東予地域で3～5%程度あるにとどまっている。

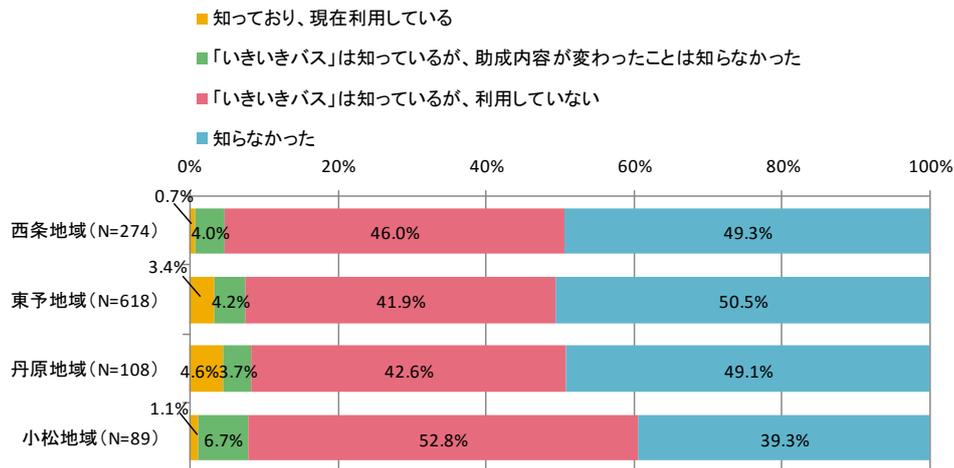


図 86 いきいきバス制度の周知度合い

②1/3 の運賃負担による利用回数の変化

- バスの運賃が 1/3 負担で利用できることで利用回数が増えるとする回答割合は低く、「今後バスを利用してみたい」とする回答と合わせても全体的に2割程度となっている。
- 「バスは利用しない」との回答が、どの地区も半数程度の割合を示している。

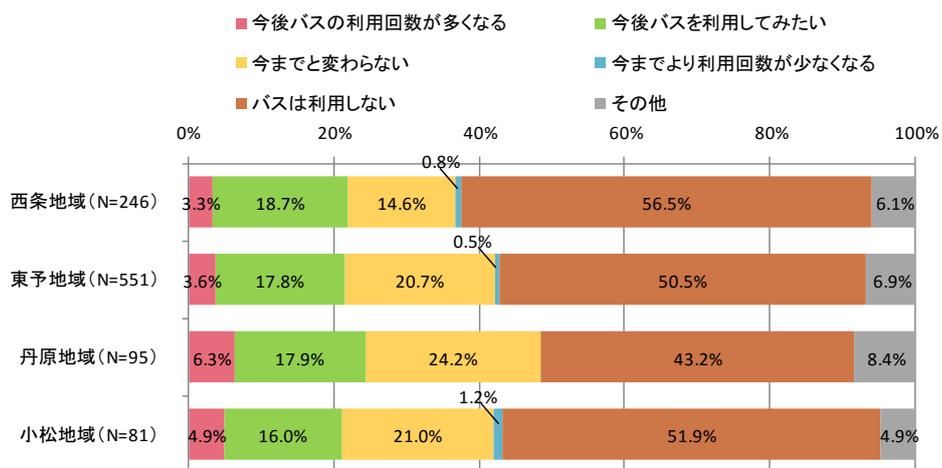


図 87 いきいきバス制度による外出回数への影響

③いきいきバス制度を知っているが利用しない理由

○いきいきバス制度を利用しない理由としては「75歳未満のため助成対象とならない」を挙げる割合がどの地域も最も高い。

○その他の内容としては「自家用車を利用する」「身体的にバスを利用できない」「バス停まで遠い」等の記述が目立つ。

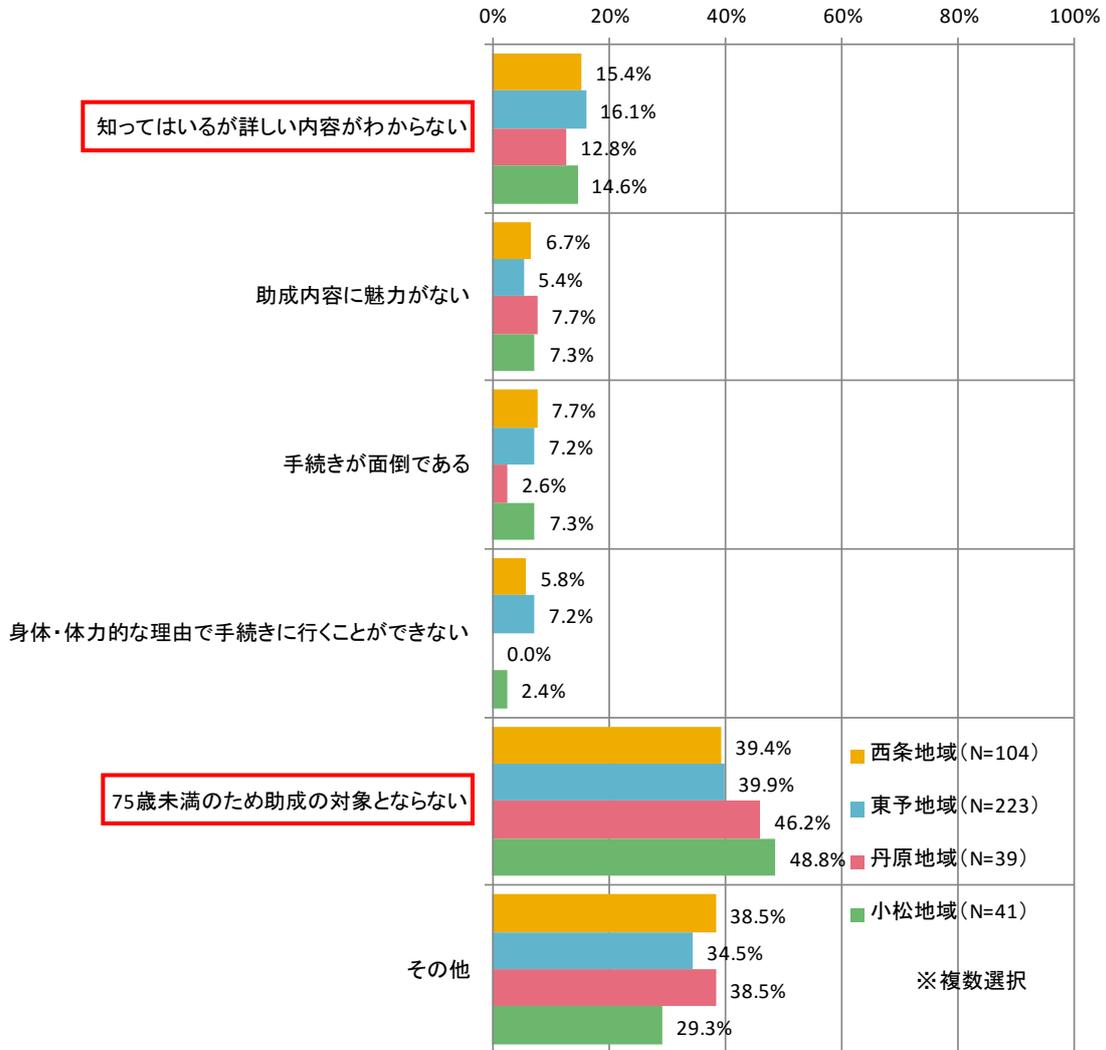


図 88 いきいきバス制度を利用しない理由

(7) タクシーの利用について

① タクシー利用の有無・頻度

○通院時にタクシーを利用する割合は2割前後で、丹原地域でやや低い。

○利用頻度としてはどの地区も1回以内が6割前後を占めている。

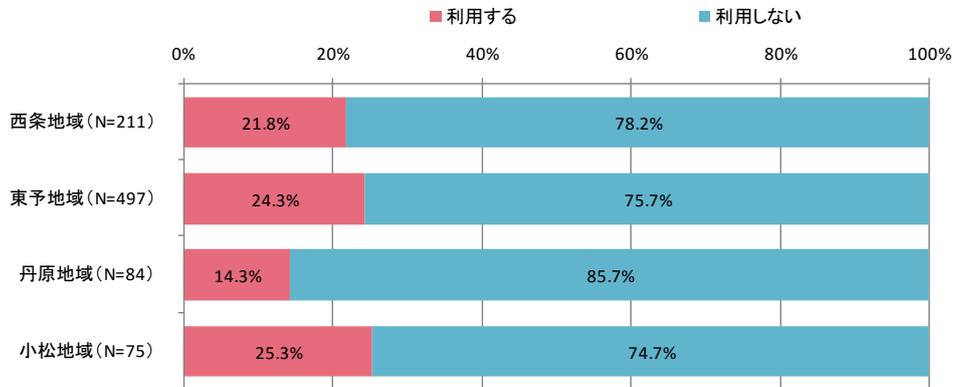


図 89 通院時のタクシー利用の有無

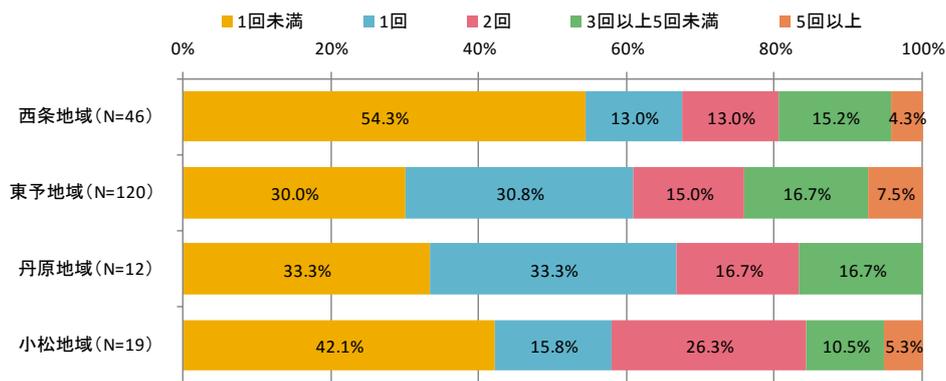


図 90 通院時のタクシーの利用頻度

○買物時のタクシー利用割合は通院時よりも低く、1割以内にとどまっている。丹原地域では利用するとの回答が0であった。

○利用頻度は西条地域でやや高くなっている。

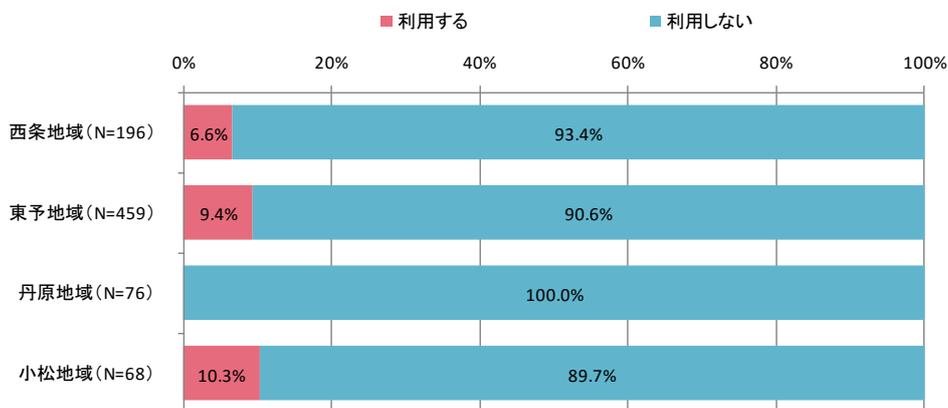


図 91 買物時のタクシー利用の有無

### 3. 市街地の公共交通体系の検討

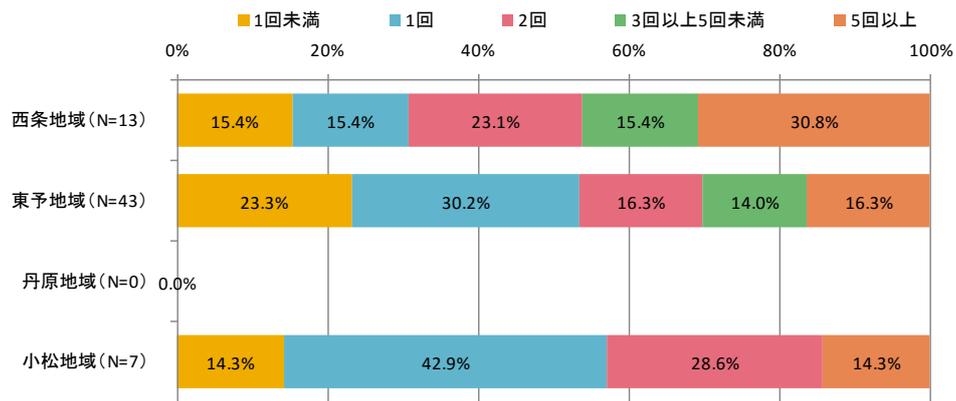


図 92 買物時の利用頻度

○その他のタクシー利用については「利用する」が東予地域、西条地域で高くなっているが、全体的に利用頻度は月1回未満が7～8割以上を占めている。

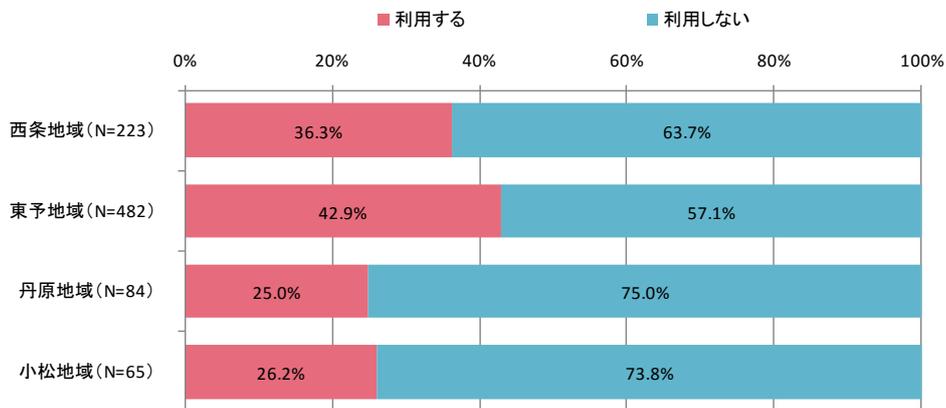


図 93 その他のタクシー利用の有無

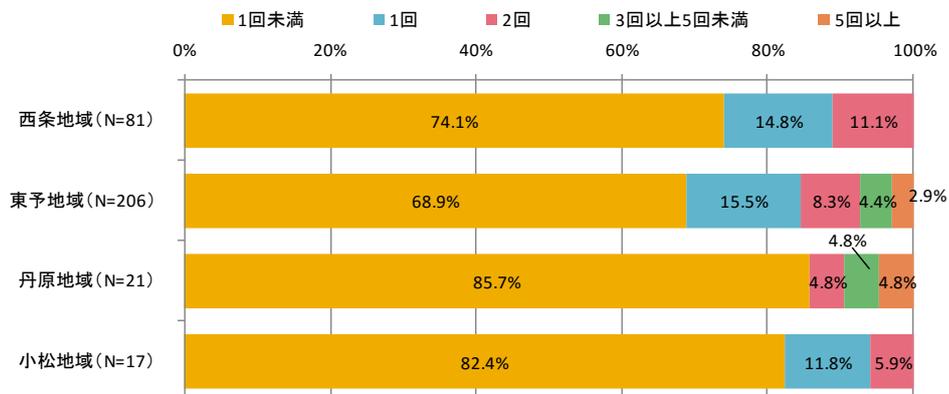


図 94 その他の利用頻度

②高齢者タクシー利用助成事業の周知度合い

- 高齢者タクシー利用助成事業の周知度合いも全体的に「知らない」が5～6割を占めており、周知不足の状況にある。
- 「利用している」との回答割合は小松地域で高く、丹原地域でやや低くなっている。
- 制度を知っているのに利用しない理由としては「条件が合わず助成の対象とならない」を挙げる割合がどの地域も最も高く、その他の項目としては「自家用車で移動するため」との回答が多い。

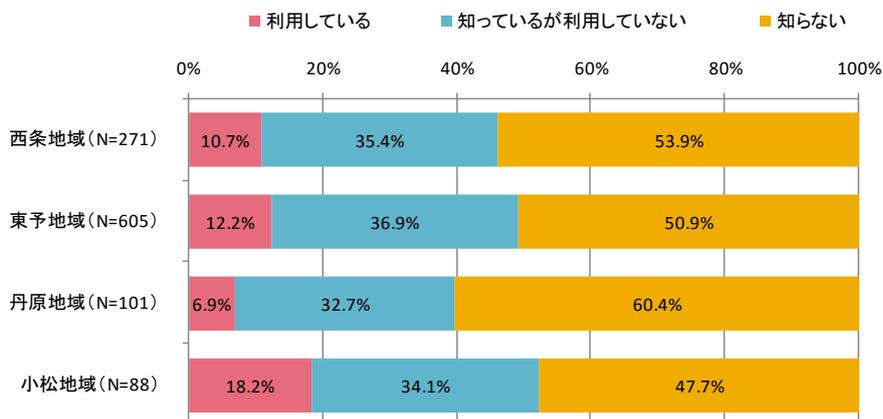


図 95 高齢者タクシー利用助成事業の周知度合い

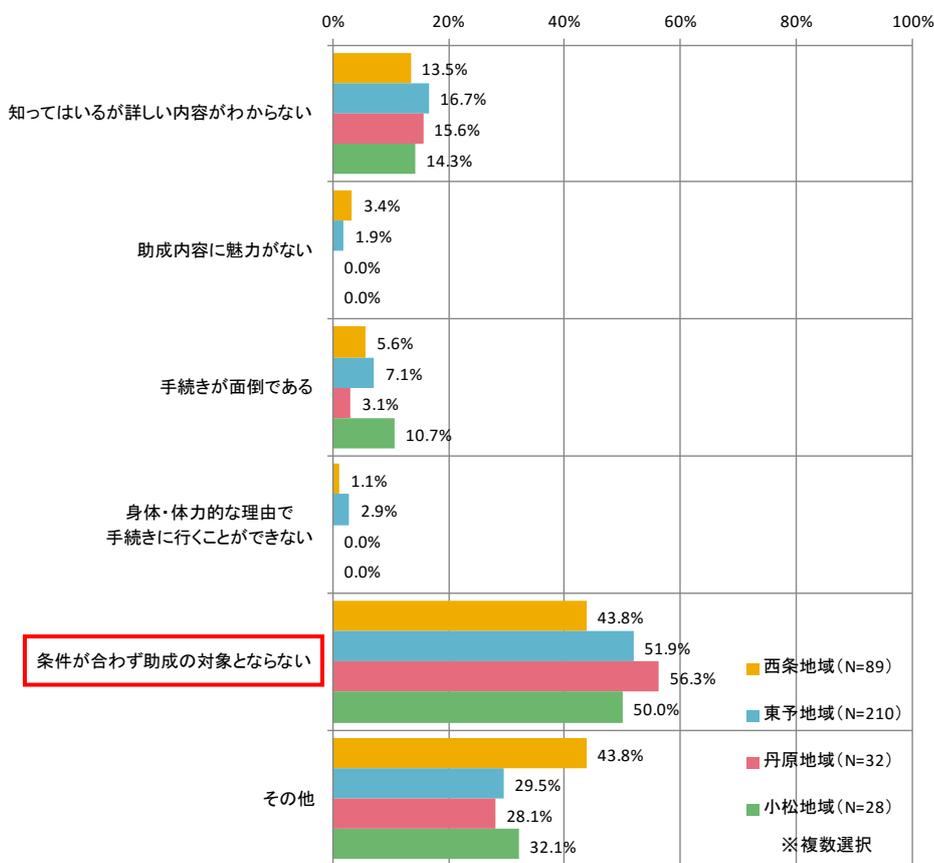


図 96 高齢者タクシー利用助成を利用しない理由

#### 3-1-3 今後の対応

##### (1) 路線バスの延伸等による公共交通空白地域の縮減

- 西条市の平野部には集落が点在しており、バスが利用しにくい地域がみられる。これら一つ一つの集落にはある程度の人口集積があるが、道路事情等によって集落近くまでバスが入らないため公共交通空白地域となっている。
- これらの地域への対応として、集落へのバス路線の延伸や立ち寄りが考えられるが、バス車両の乗り入れが物理的に可能かといった問題もあることから、車両の小型化を併せて今後検討していく必要がある。

##### (2) 各種制度の周知と利用促進

- アンケート調査結果から、この地域では「いきいきバス制度」や「高齢者タクシー利用助成」の周知度合いが、山間部に比べて低いことがわかる。
- 路線バスの延伸や乗り入れが困難な地域にあっては、タクシー等の利用も重要な移動手段となることから、これらの助成制度の周知を図り活用していただくことで、高齢者を中心とした住民の移動支援を行っていく。

## 3-2 工業団地への対応

### 3-2-1 企業ニーズ

○西条市には沿岸部に工業団地が広がっているが、現在これらの工業団地へアクセスするバス路線は運行されていない。通勤等でのバス需要を見極めるため、3つの工業団地内の主要企業を対象に公共交通に関するアンケート調査を実施した。



図 97 西条市沿岸の工業団地

#### (1) 調査概要

##### ①調査目的

○市内の事業所の通勤や業務移動の実態やバス需要の有無を把握し、今後のバス再編計画の基礎資料とする。

##### ②調査対象

○西条市内にある「ひうち立地企業」「インタストリアルパーク」「西条鉄工団地」の中から任意に抽出した事業所

##### ③調査時期

○平成 28 年 7 月 18 日～7 月 31 日

##### ④調査方法

○対象となる事業所へ調査票を郵送配布し、郵送回収した。

##### ⑤回収率

○回収率は以下のとおりである。

地区名	配布枚数	回収枚数	回収率
ひうち立地企業	48	31	64.6%
インタストリアルパーク	18	8	44.4%
西条鉄工団地	11	8	72.7%
合計	77	47	61.0%

(2) 訪問・出張時の移動手段について

① 本社又は他社から当該事業所への出張・訪問の際の交通手段

○ 出張や訪問の際の交通手段として自動車（自家用車・社用車）を挙げる割合が、どの工業団地でも高くなっている。その他は JR やタクシーの利用が高く、路線バスはわずかであった。

○ 出張等による最寄り JR 駅から事務所までの移動手段としては、どの工業団地もタクシーや路線バスの割合が高い。

○ 出張時や訪問時の路線バスの必要性については、どの工業団地でも「必要ない」との回答割合が最も高かった。その理由としてはタクシーや社用車を利用するといった回答が目立ったほか、バス停が遠くて移動に使えないとの回答もみられる。

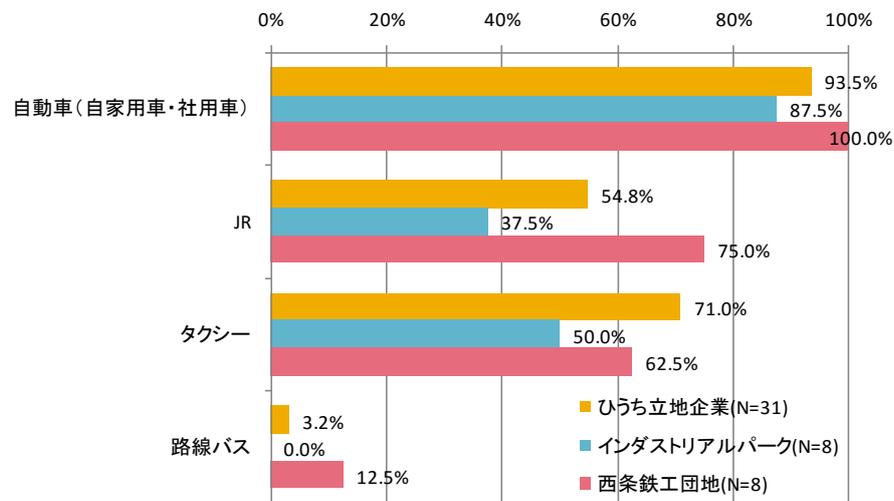


図 98 訪問・出張時の移動手段

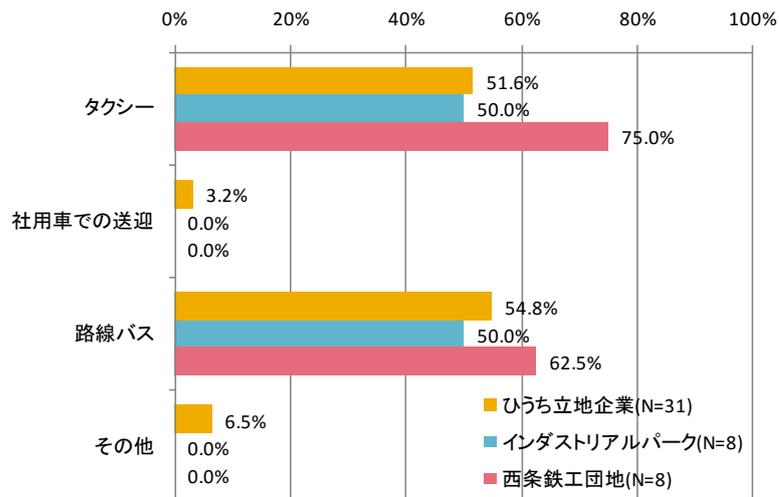


図 99 出張等による最寄り JR 駅～当該事業所間の移動交通手段

### 3. 市街地の公共交通体系の検討

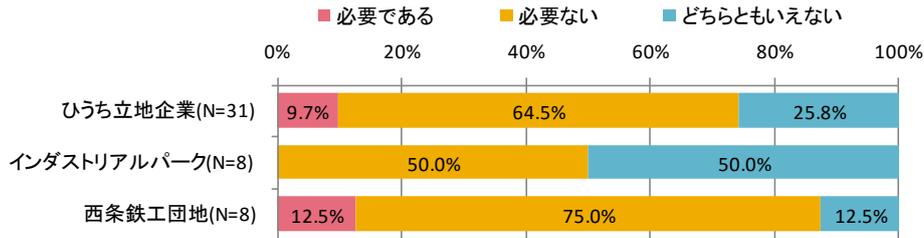


図 100 訪問・出張時の移動手段としての路線バスの必要性

表 1 訪問・出張時の移動手段として路線バスが必要ない理由

地区名	会社名	路線バスが必要でない理由
ひうち立地企業	木村化工機(株)四国事業所西条出張所(2カ所)	JR とタクシー利用で特に問題なし。バスは路線やバス停がわかりにくい。
	西条建設(株)	時間の制約が生じる為、利用する事がほとんどない。
	ピーコックフーズ(株)	自動車移動するため。
	株式会社高瀬運送	社用車、自家用車の使用のため。
	ワタキューセイモア(株)四国支店	社用車で送迎で間に合っているから。
	伊藤忠エネクスホームライフ西日本(株)西条営業所	社用車にて送迎するため。
	(株)青木プラスチック工業	社用車の方が速いから。
	今治造船株式会社西条工場	出張などで来社する場合、社用車を使用するか、もしくは JR を利用するケースがほとんどのため。
	コマツ建機販売株式会社四国カンパニー西条営業所	全員マイカー使用のため。
	東予プラスチック株式会社	タクシーチケットがあるため。
	株式会社中国フジバン四国事業所	近くにバス停がないため。荷物が多い場合がある。
	西条道路株式会社	近くにバス停が無いため。
	(株)西電	バス停から遠いため。
	日酸 TANAKA(株)四国支店	バスの停留所が遠く、運行本数が少ないため。
	眞鍋造機株式会社	弊社西条工場の付近にバス停がないため。
四国液酸株式会社	訪問・出張の頻度が少ないため。	
株式会社藤田製作所	最寄りのバス停から会社までの距離があるから。	
日本通運(株)伊予西条営業所	利用機会が無いため。	
インダストリアルパーク	日進プラント株式会社	社用車があるため。
	株式会社田窪工業所	適した路線が遠方にあり利用できないため。
	京都合成化学(株)	利便性が悪いため。
鉄工団地	三谷工業株式会社	今まで利用した事がない。
	八潮工業株式会社	社用車があるため。
	株式会社 大力	社用車を利用するため。
	富士鉄工株式会社	タクシーが便利だから。
	(株)クリタ	バス停が遠い。
	南海工業(株)	不便。

(3) 通勤時の移手段について

①通勤時の移手段における路線バスの必要性とその理由

○通勤で路線バスが必要とする割合はひうち立地企業で 6.5%あった以外は、「必要ない」「どちらともいえない」との回答にとどまった。その理由としては自家用車通勤が主流であることが挙げられているが、一方でバス停がない、バス停が遠い等の意見も散見される。

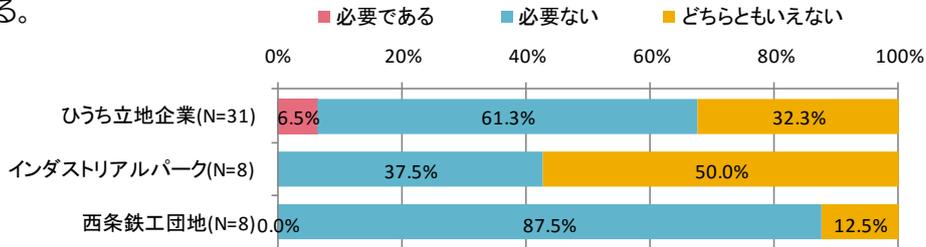


図 101 通勤移手段としての路線バスの必要性

表 2 通勤移手段として路線バスが必要ない理由

地区名	会社名	路線バスが必要な理由
ひうち立地企業	四国液酸株式会社	交通事故を考慮した場合、公共交通機関の利用が好ましいため。
	株式会社メタルワン銅管	ひうち内にバス停を増やしてほしい。
インダストリアルパーク	住友共同電力株式会社	新入社員に対し、入社してからの一定期間は車通勤を認めていないため。
地区名	会社名	路線バスが必要でない理由
ひうち立地企業	株式会社 MCT 西条	遠方の方の為に、近くに社宅を用意しているため。
	ピーコックフーズ(株)	各自で通勤しているため。
	今治造船株式会社西条工場	現状、通勤にバスを利用している社員はおらず、ほぼ全員が自家用車で通勤しているのが実状であるため。
	伊藤忠エネクスホームライフ西日本(株)西条営業所	交通の便が悪く、自家用車で通勤が多いため。
	西条建設(株)	自家用車通勤の者がほとんどである。
	株式会社中国フジパン四国事業所	自家用車で通勤が多いため。
	(株)西電	自家用車の方が時間を有効に使えるため。
	日本通運(株)伊予西条営業所	自家用車を使用した方が便利なので、路線バスを利用しようと思わない。
	日酸 TANAKA(株)四国支店	自家用の車・バイク等が便利のため。
	東予プラスト工業株式会社	市内在住が主なため。
	株式会社高瀬運送	全て自家用車で通勤しているため。
	四国段ボール(株)愛媛工場	全員、車・自転車通勤のため。
	(株)青木プラスチック工業	全員車を持っているため。
	木村化工機(株)四国事業所西条出張所	バス停が遠いので不便である。
西条道路株式会社	バス停が近くに無いから。	
株式会社藤田製作所	最寄りのバス停から会社までの距離があるから。	
インダストリアルパーク	日進プラント株式会社	自家用車があるので。
	京都合成化学(株)	終業時間と合わないから不便だから。
鉄工団地	八潮工業株式会社	各自、自家用車があるため。
	株式会社 大力	自家用車・自転車にて出勤する社員しかいないため。
	(株)クリタ	バスは時間に拘束されるため。
	富士鉄工株式会社	全員自家用車で通勤しているため。
	株式会社萩尾鉄工所	バス停が遠いため。
	三谷工業株式会社	自家用車で通勤しているため。

②公共交通を利用した通勤の状況

○現在、公共交通を利用して通勤している従業員がいると回答したのは、ひうち立地企業で12.9%（3社）あった。

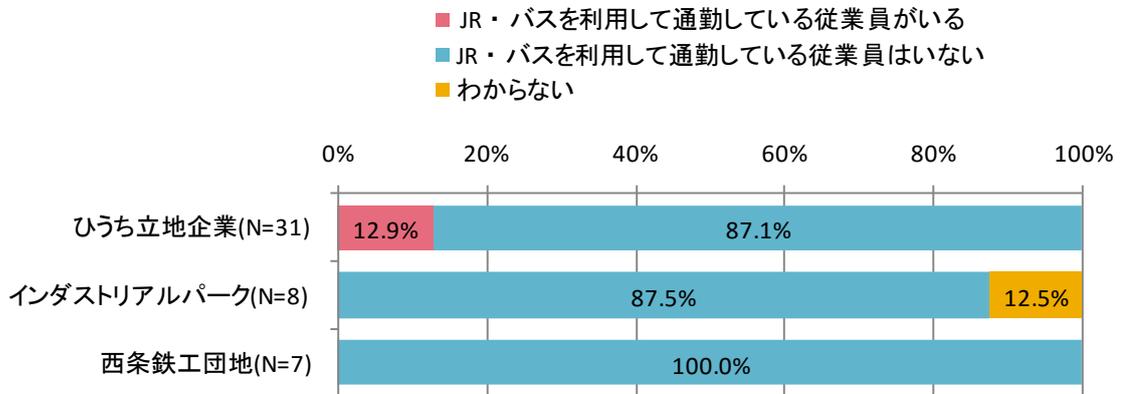


図 102 公共交通を利用した通勤の状況

表 3 公共交通を利用した通勤の状況

公共交通を利用して通勤している人数	
2人	株式会社中国フジパン四国事業所
10人	ピーコックフーズ(株)
2人	ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社西条工場

③公共交通の利用促進についての意向

○「公共交通の利用促進を行っている」と回答した企業はひうち立地企業で3.2%あり、「利用促進をしたい」「利用促進を検討したい」と合わせると4割近くが利用促進に関心を持っている。

○インダストリアルパークにおいても「利用促進を検討したい」との回答が4割近くあった。

○西条鉄工団地の企業は「特に考えていない」との回答が100%を占めている。

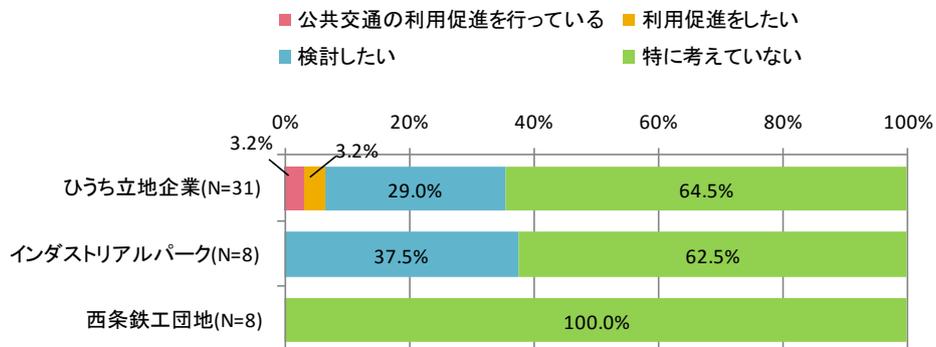


図 103 公共交通の利用促進についての意向

(4) エコ通勤の取り組み状況・意向

○エコ通勤の取り組み状況や意向については、ひうち立地企業で関心が高く、インダストリアルパークでも1/4の企業がすでに取り組んでいる。一方で「エコ通勤したくても会社の近くに公共交通がない」とする回答が多くみられることから、公共交通利用の潜在需要はある程度見込めると考えられる。

○対象企業の中にはISO14000を取得している企業もあり、取得をしていないが環境への取り組みは行っているとする記号も多い。

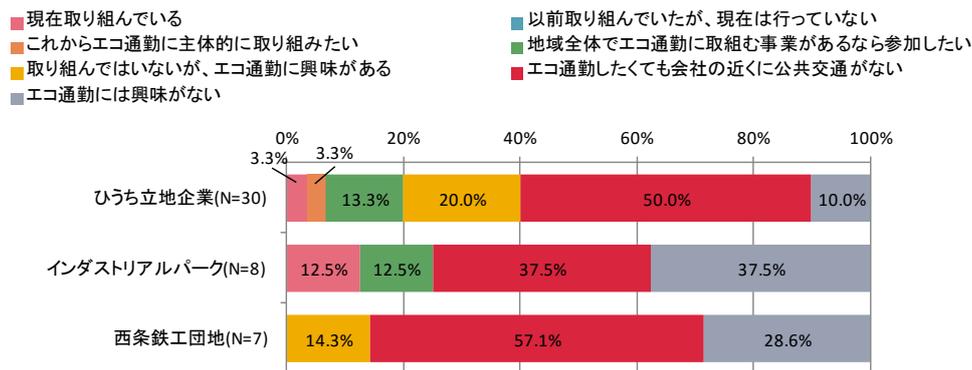


図 104 エコ通勤の取り組み状況

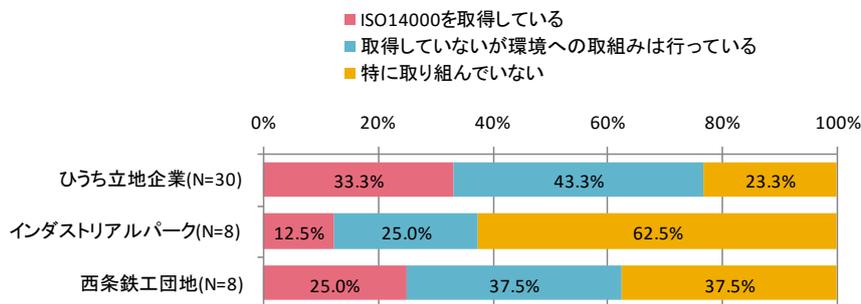


図 105 環境対策の取り組み状況

(5) 自由意見

地区名	会社名	自由意見の内容
ひうち立地企業	株式会社メタルワン鋼管	今治市、旧東予市からの通勤をしている社員が多く、公共交通機関を利用したくても時間や便がよくないので利用出来ない。
	伊藤忠エネクスホームライフ西日本(株)西条営業所	各エリアからの通勤であり、全ての公共交通機関での通勤は難しいと感じます。
	花王サニタリープロダクツ愛媛株式会社	近くに公共交通があれば利用を検討出来ます。今後ともよろしくお願い致します。
	株式会社コスにじゅういち西条事業所	バス路線ルートも公共機関、企業の密集地等を考慮に入れて再考しても良いのでは。
インダストリアルパーク	株式会社田窪工業所	会社の近くに公共交通機関がない以上、自家用車通勤等にならざるを得ない。
鉄工団地	八潮工業株式会社	工場隣接地に無料で駐車場を借りている。

#### 3-2-2 今後の対応

- 企業へのアンケート調査結果から、現時点では工業団地周辺への公共交通導入の必要性はあまり感じられない。
- その中であって、「ひうち立地企業」では公共交通の利用促進やエコ通勤への取り組みに興味を持つ企業があり、路線バスの乗り入れの可能性が残されている。したがって、今後は企業と連携した試験運行等の実施を検討し、需要の有無等に関する検証を行っていく。
- ひうち地区には西条市総合体育館等の体育施設や、高等教育機関との連携拠点である「西条市地域創生センター」があり、スポーツ大会や研修等での高校生や学生の移動手段の確保が必要になっていることから、施設付近への路線バスの乗り入れについて検討を行っていく。

## 4. 交通体系の評価・検証

### 4-1 市街地循環バスの評価・検証

#### 4-1-1 利用状況

##### (1) 加茂線

OOD 調査結果での利用区間別の利用者割合は以下のようになる。循環線内のみでの利用もみられることから、循環線化の効果はある程度あったと考えられる。

表4 利用区間別利用者数割合

方向	区間	利用者数	割合
上り	循環線外での乗降	9	56.3%
	循環線内での乗降	3	18.8%
	加茂線～循環線での乗降	4	25.0%
	合計	16	100.0%
下り	循環線外での乗降	4	57.1%
	循環線内での乗降	1	14.3%
	循環線～加茂線での乗降	2	28.6%
	合計	7	100.0%



図 106 バス停別乗降者数

図 107 バス停通過人数

## 4. 交通体系の評価・検証

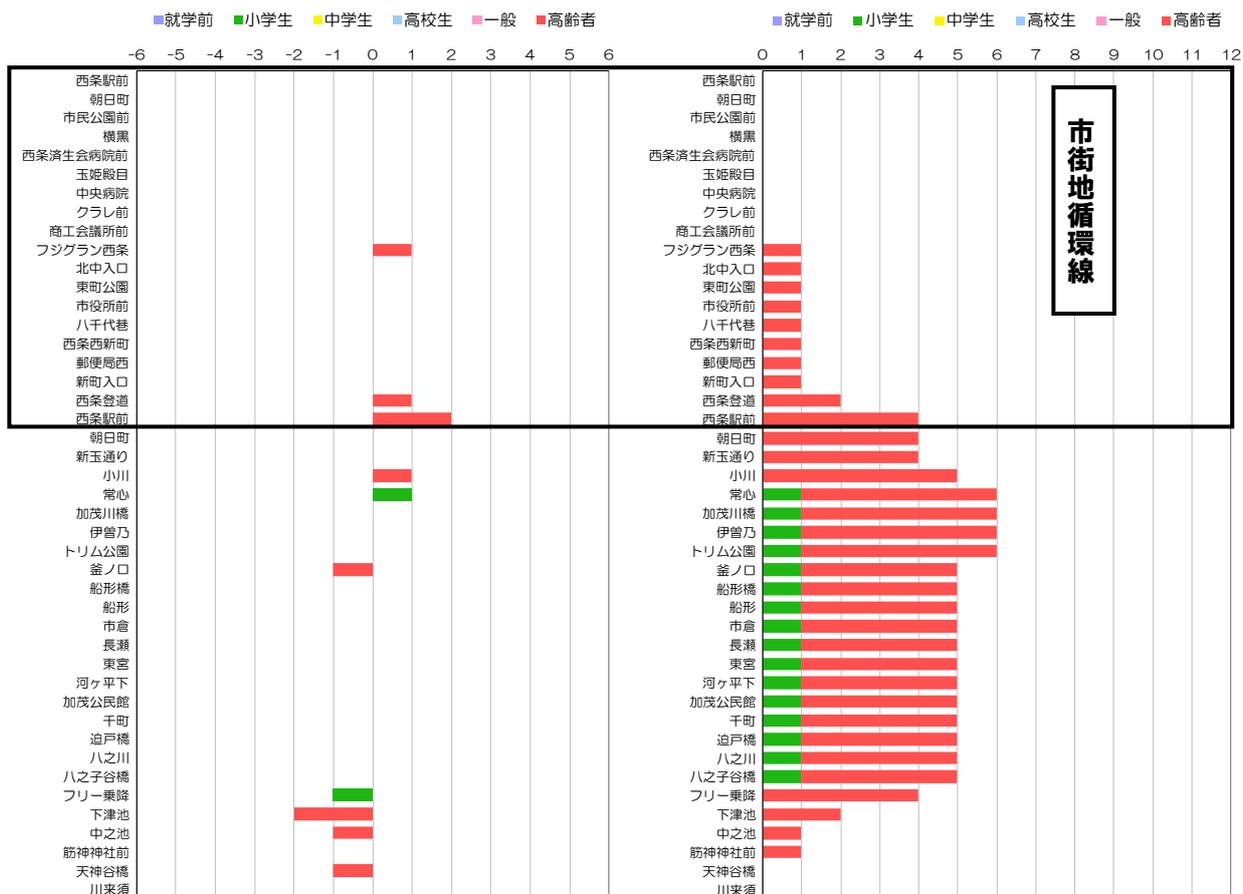


図 108 バス停別乗降者数

図 109 バス停通過人数

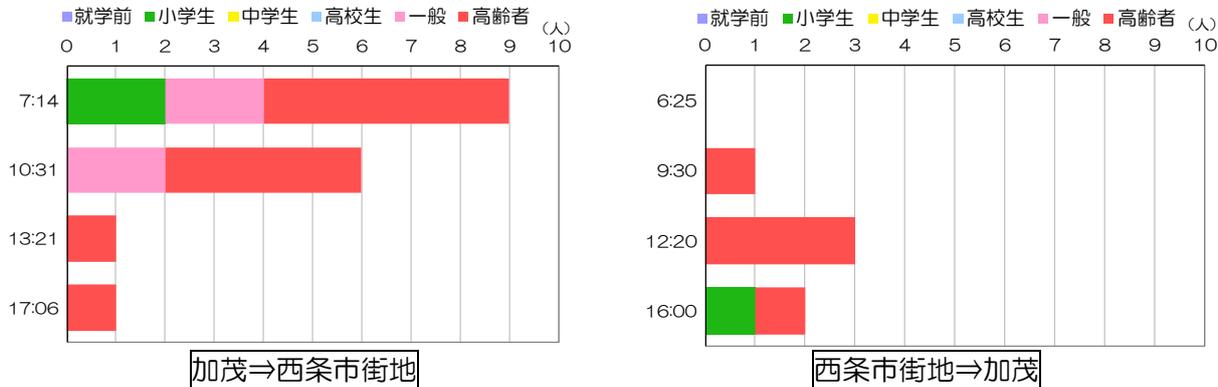


図 110 便別利用者数





(2) 西之川線

OOD 調査結果での利用区間別の利用者割合は以下ようになる。循環線内のみでの乗降もみられることから、循環線化による一定の効果はあったものと考えられる。

表6 利用区間別割合

方向	区間	利用者数	割合
上り	循環線外での乗降	17	65.4%
	循環線内での乗降	5	19.2%
	西之川線～循環線での乗降	4	15.4%
	合計	26	100.0%
下り	循環線外での乗降	5	38.5%
	循環線内での乗降	1	7.7%
	循環線～西之川線での乗降	7	53.8%
	合計	13	100.0%

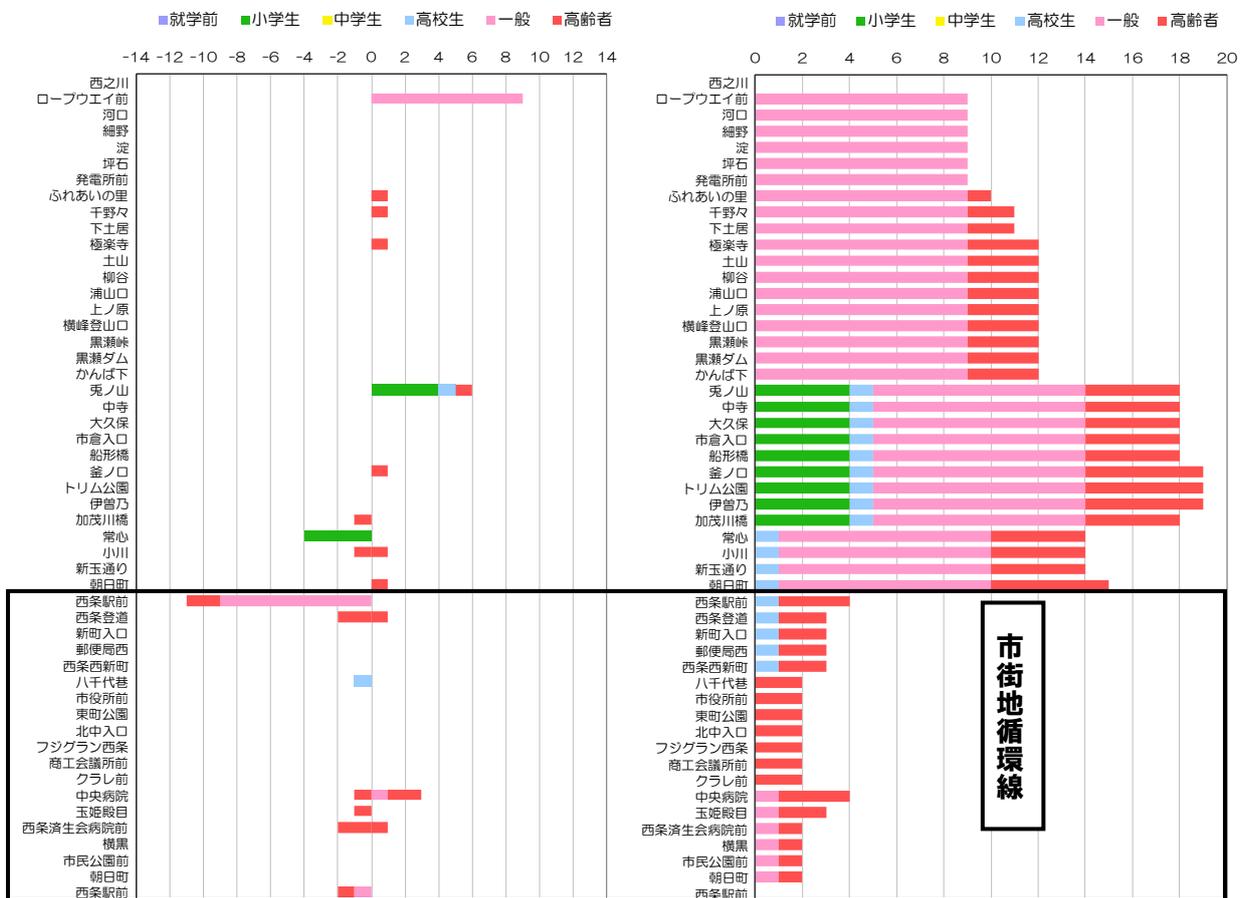


図 113 バス停別乗降者数

図 114 バス停通過人数

#### 4. 交通体系の評価・検証

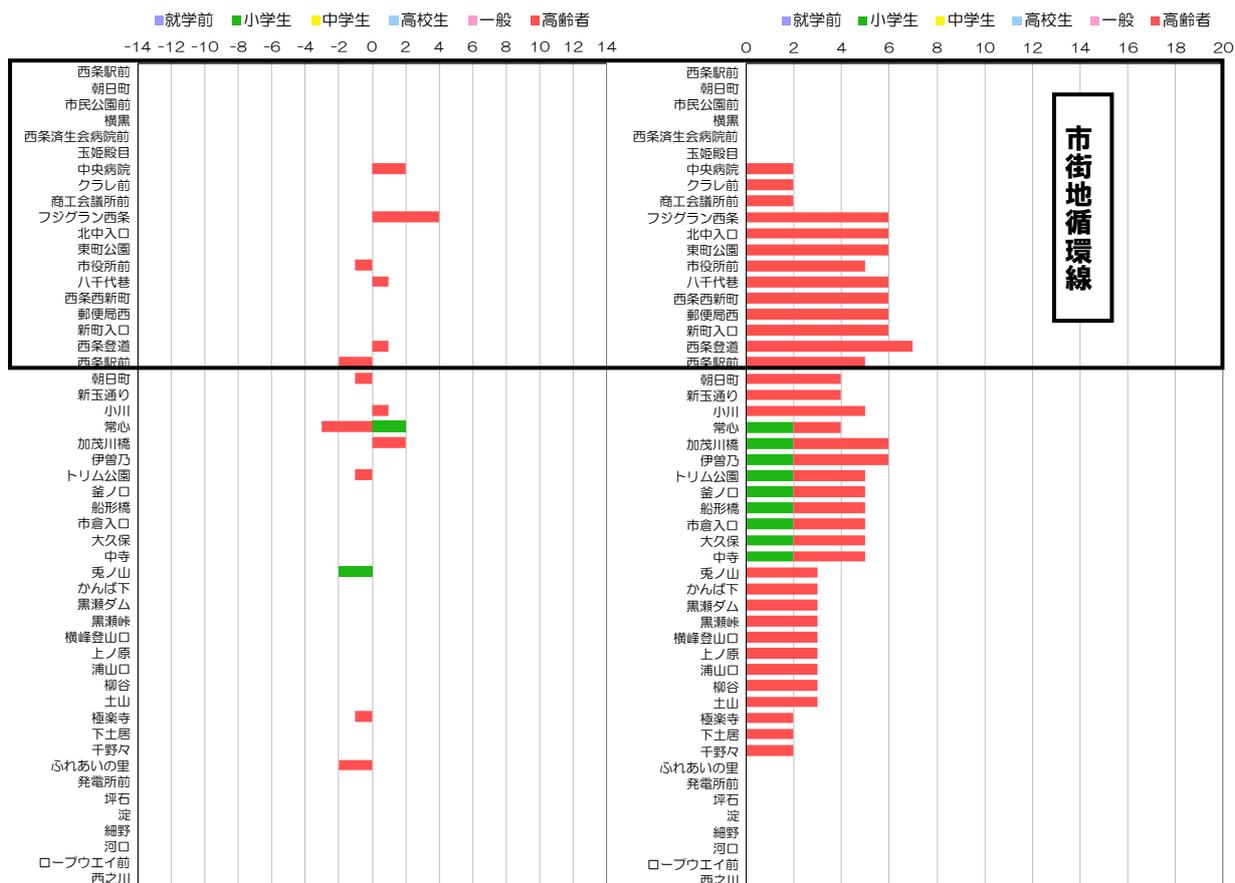


図 115 バス停別乗降者数

図 116 バス停通過人数

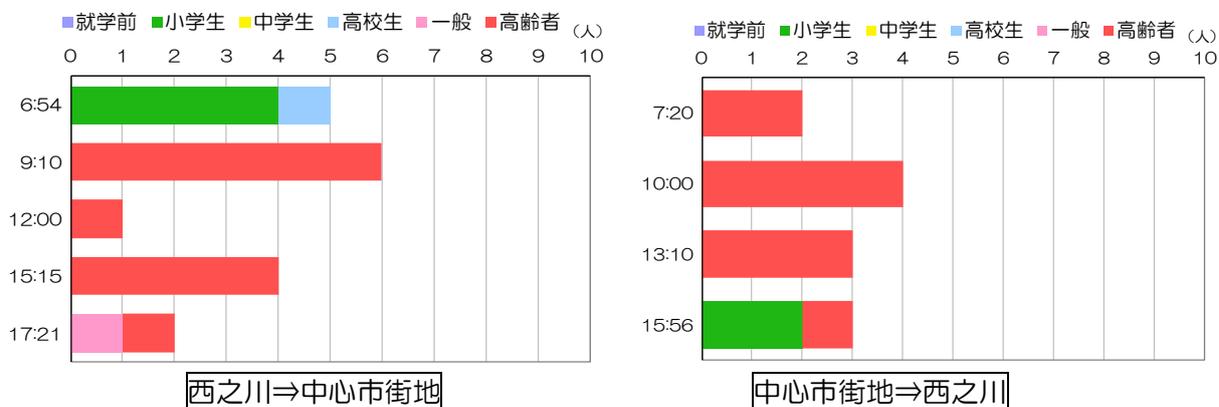


図 117 便別利用者数





## 4-1-2 利用者ニーズ

### (1) 調査概要

#### ①調査目的

○西条市内を運行している加茂線、西之川線をベースとした市街地循環バスの利用者数の把握、利用者の循環線の評価を把握し、改善点の検討を行う上での基礎資料とする。

#### ②調査対象

○せとうちバス加茂線、西之川線の全便。

#### ③調査時期

○平成 28 年 7 月 12 日（火）

#### ④調査方法

○調査対象の路線バスに調査員 1 名が乗車し、各バス停における OD を調査シートに記入。あわせて、バス利用者に対しアンケート用紙の配布・回収を行い、利用実態や意見などを調査。

### (2) 加茂線

#### ①利用者属性

○バス利用者は 70 代以上の女性が中心で、加茂線沿線とそれ以外の西条市内の住民とがほぼ同数利用している。いずれも自動車の運転免許を持たず、自由に使える車がない人が利用の中心となっている。

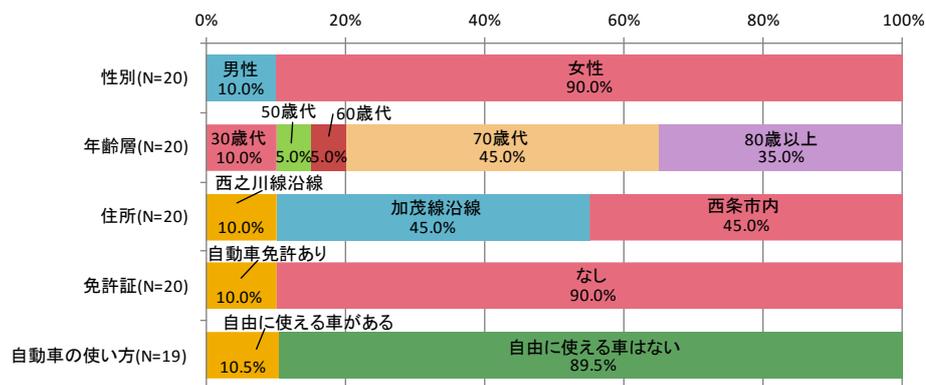


図 120 回答者の属性

②バス利用の状況

○回答者は主に買物、通院等の移動に日常的に路線バスを利用しており、利用者の6割近くが月5回以上利用すると回答している。

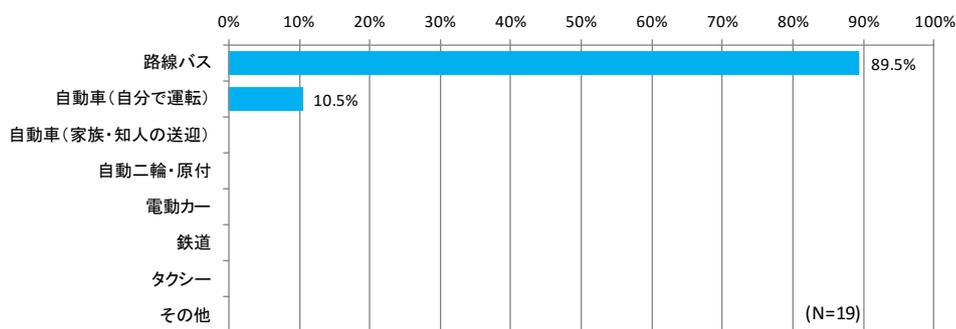


図 121 普段利用する交通手段

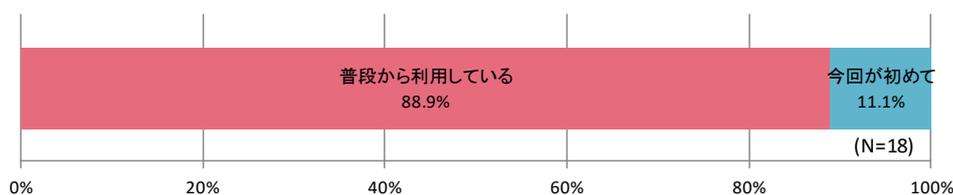


図 122 普段のバス利用の有無

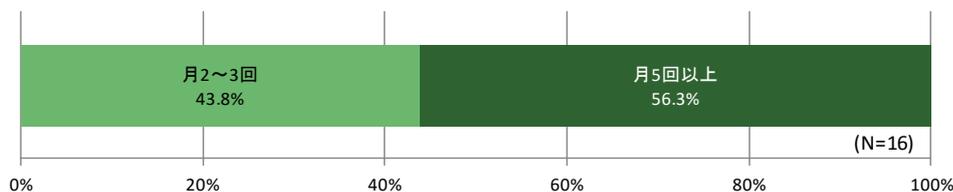


図 123 1か月の利用頻度

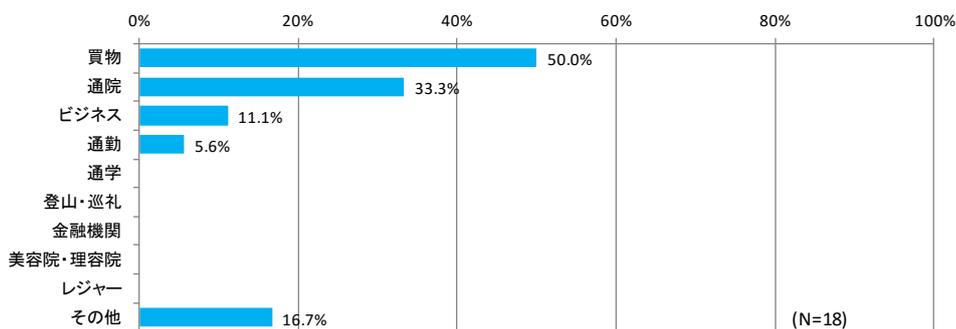


図 124 バスの利自家用車用目的

③路線バスの評価

○路線バスの評価については、「バス停の待合環境」「運行本数」で「やや不満」の割合が高くなっている。

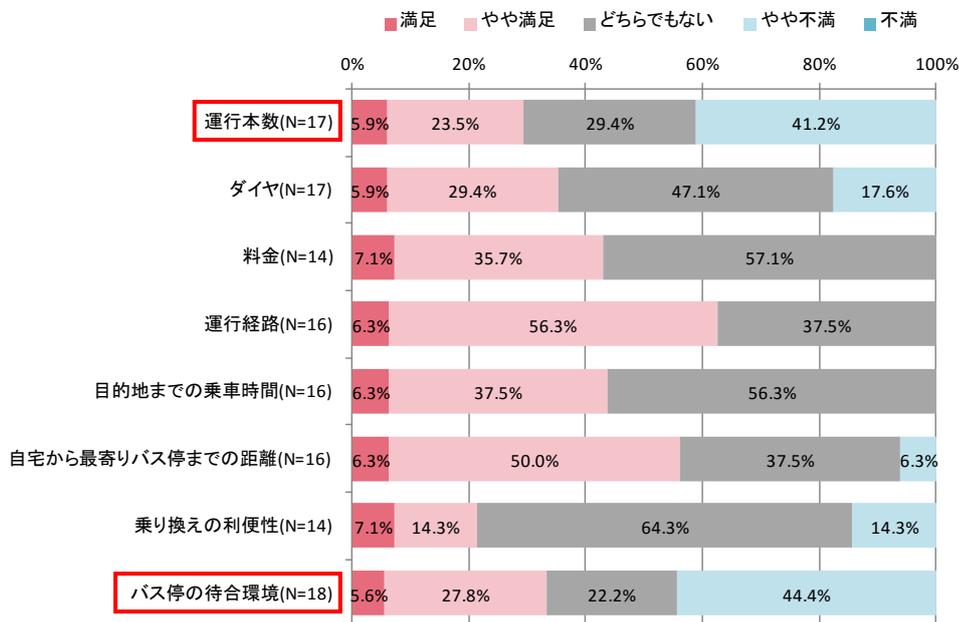


図 125 路線バスの満足度

④いきいきバス制度の利用状況

○運賃の支払い方法を見ると、いきいきバス制度を利用している人は6割を超えており、制度が浸透していることがわかる。

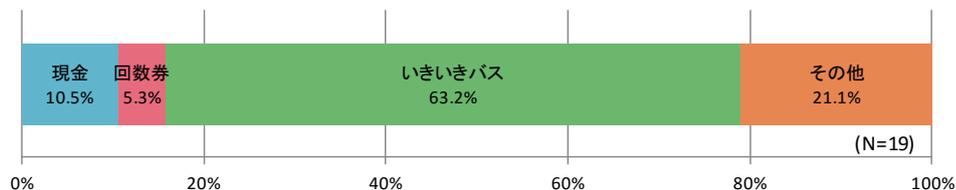


図 126 運賃の支払い方法

⑤市街地循環線の周知度合いと評価

○加茂線が西条駅以降循環線に変わったことについては 94%の利用者が知っているという回答している。この情報は市の広報誌、新聞折り込みチラシ等で知ったとしており、便利になったとの回答が7割を超えていることから、一定の評価を得ているものと考えらる。  
 ○市街地循環線になったことで不便になったと回答した利用にその理由を尋ねると、上りの2便の時間が今までより遅くなったことを挙げている。

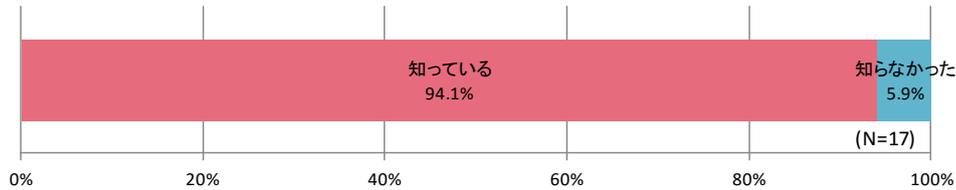


図 127 市街地循環線の周知度合い

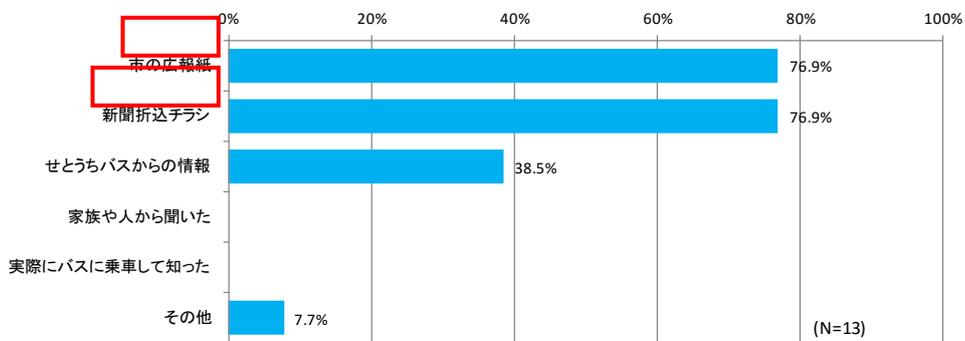


図 128 市街地循環線の周知媒体

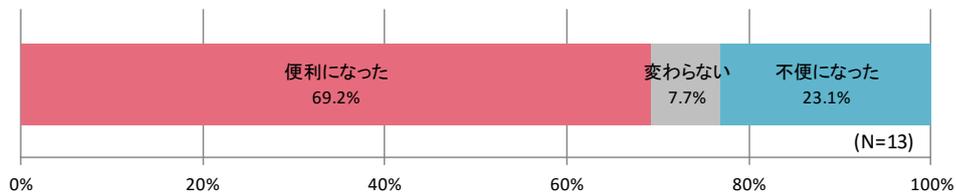


図 129 市街地循環線の評価

表 8 不便になったとする理由

不便になった理由	人数
朝 1 便目のバスは良いが、2 便目のバスが遅いので不便。	3

表 9 自由意見

年齢	性別	意見・要望
70代	女性	乗継がやや不便だったが、徐々に苦に感じなくなった。
		バス運行本数が多い方が良いが、利用者が少ないので無理は言えない。良くなった方だと皆が言っている。
		バスが動くだけでありがたい。バス停に屋根があると嬉しい。

(3) 西之川線

①利用者属性

○西之川線の利用者は2/3が女性で、男性の利用も1/3あった。

○年齢層は70代以上が6割を占めており、免許証を持たない人が中心で、「自由に使える車はない」とする人が半数以上あったが、「家族に送迎を頼めば使える」との回答も4割あり、加茂線沿線ほど路線バスに依存していない状況がうかがえる。

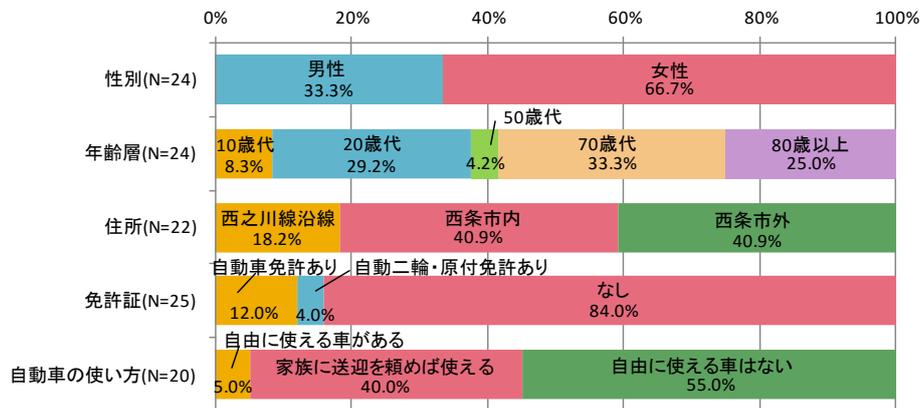


図 130 回答者の属性

②バス利用の状況

○普段の移動手段としては「路線バス」や「家族・知人の運転する自動車」を挙げる割合が高く、「鉄道」との回答も挙がっている。バスを普段から利用するとした人は7割を超えており、月5回以上利用するとした回答者は半数近くに上っている。

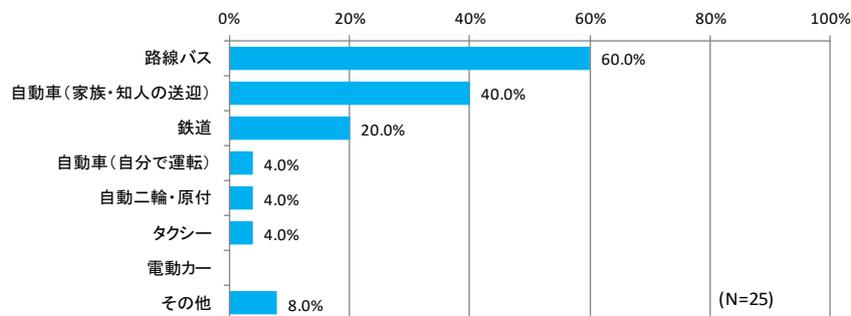


図 131 普段利用する交通手段

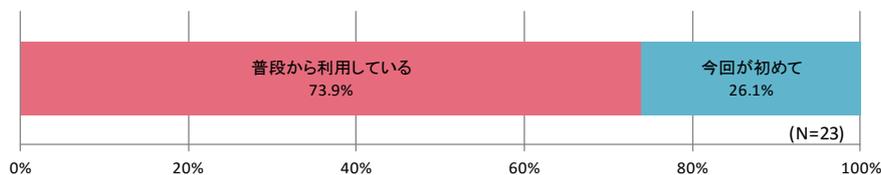


図 132 普段のバス利用の有無

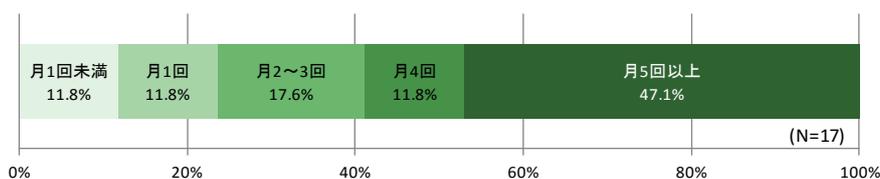


図 133 1か月の利用頻度

○西之川線は石鎚山を擁しているため、レジャーの利用もみられる。

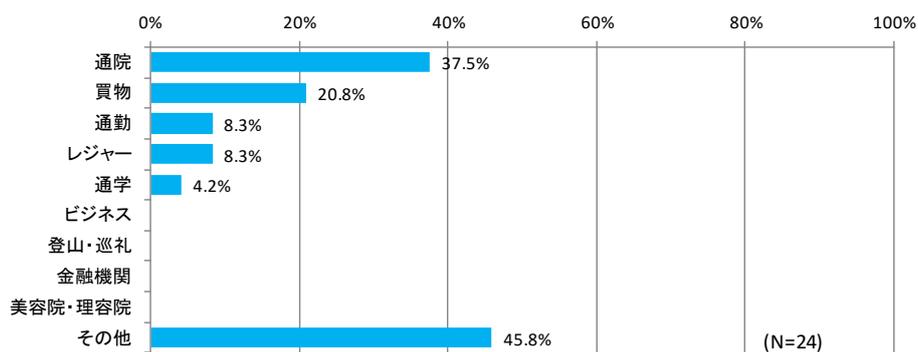


図 134 バスの利用目的

③路線バスの評価

○路線バスに対する評価については、「ダイヤ」「運行本数」「乗り換えの利便性」などで「不満」「やや不満」の合計割合が他の項目に比べて高くなっている。

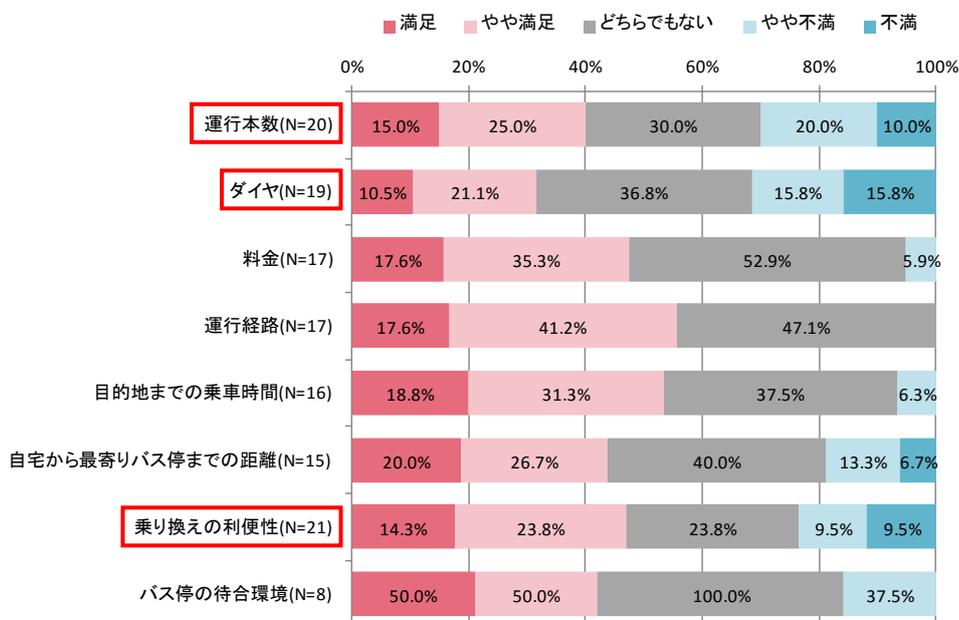


図 135 路線バスの満足度

④いきいきバス制度の利用状況

○運賃の支払い方法をみると、いきいきバス制度を利用しているのは2割弱で、加茂線の利用者に比べて低い割合となっている。

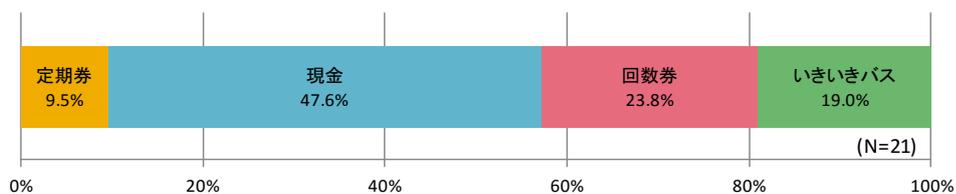


図 136 運賃の支払い方法

## ⑤市街地循環線の周知度合いと評価

○市街地循環線に変わったことを知っていた回答者は42.9%で、そのことを「せとうちバスからの情報」で知ったとする割合が高い。「新聞折り込みチラシ」と回答した人は0%であった。

○市街地循環線になって「便利になった」とする割合が6割を超えており、一定の評価を得ていると考えられる。

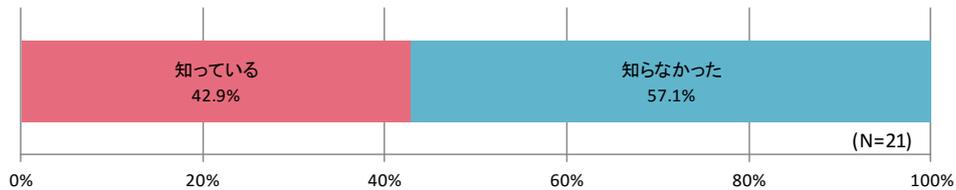


図 137 市街地循環線の周知度合い

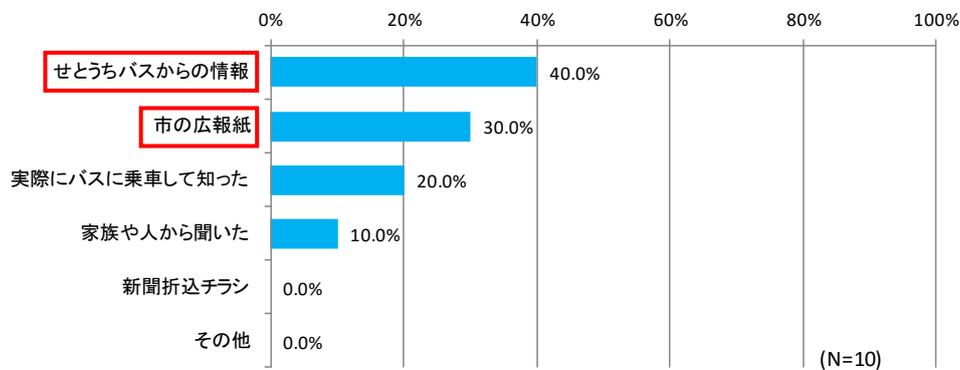


図 138 市街地循環線の周知媒体

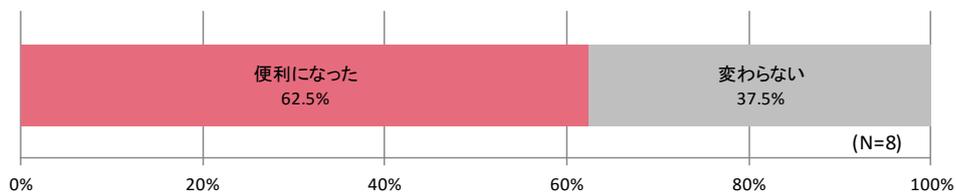


図 139 市街地循環線の評価

※自由意見なし

## 4-1-3 市街地循環線の評価

OOD 調査結果では実際に市街地内のみでの利用もあり、また利用者アンケート結果でも「便利になった」とする割合が6～7割あったことから、市街地循環線は概ね一定の評価を得ていると考えられる。

○市街地循環線の周知について、加茂線利用者と西之川線利用者の間に差が生じていることから、今後は周知、広報活動の徹底を図る必要がある。

○加茂線については、市街地循環線化に伴い2便のダイヤが繰り下がったことから利用者が不便に感じている面があり、今後ダイヤの繰り上げ等を検討する必要がある。

## 4-2 「よりそいタクシー」の評価・検証

## 4-2-1 よりそいタクシーの概要

## (1) 加茂地区

○加茂地区のよりそいタクシーの概要は以下のとおりである。

<b>月3回運行</b> <b>藤之石 千町</b>	藤之石集会所 → 済生会西条病院
	<b>行き 藤之石集会所 8:30 発</b>
	済生会西条病院 → 藤之石集会所
	<b>帰り 済生会西条病院 14:30 発</b>
<b>月1回運行</b> <b>荒川</b>	大平集会所 → 済生会西条病院
	<b>行き 大平集会所 8:30 発</b>
	済生会西条病院 → 大平集会所
	<b>帰り 済生会西条病院 14:30 発</b>
<b>運行日</b>	
毎週 <b>火曜日</b> (藤之石・千町：月3回 荒川：月1回) <small>※詳しい運行日は「運行カレンダー」をご覧ください。(12/29から1/3までは全便運休)</small>	
<b>利用料金(片道)</b>	
大人 <b>500円</b> 小人 <b>250円</b> <small>(中学生以上) (小学生以下)</small> <small>※未就学児は大人(保護者)1名につき1名無料</small>	

【乗降ポイント】※市街地ではこの乗降ポイントのみで乗降可能

- JR伊予西条駅
- 村上記念病院
- 西条郵便局
- 西条市役所
- フジグラン
- 西条中央病院
- 済生会西条病院

【運行委託・予約先】

- 新居浜地区旅客自動車協同組合
- 受付時間：行きの便は前日16時まで、帰りの便は当日13時30分まで

## (2) 楠窪地区

○楠窪地区のよりそいタクシーの概要は以下のとおりである。

楠窪地区 → 周ちゃん広場		
時刻表	行き 楠窪地区 9:30 発	
	周ちゃん広場 → 楠窪地区	
	帰り 丹原総合支所周辺 13:00 発	
	運行日	利用料金 片道)
月曜日(隔週運行)	大人 500 円 小人 250 円	
<small>※詳しい運行日ば「運行カレンダー」をご覧ください。12/29 から 1/3 までは全便運休</small>	<small>(中学生以上) (小学生以下) ※未就学児は大人(保護者)1名につき1名無料</small>	

【乗降ポイント】※市街地ではこの乗降ポイントのみで乗降可能

- 愛媛銀行
- 伊予銀行
- 丹原郵便局
- JA 周桑本所
- 愛媛信用金庫
- 丹原総合支所
- 周ちゃん広場

【運行委託・予約先】

- (有)周桑丹原タクシー
- 受付時間：行きの便は前日 17 時まで、帰りの便は当日 12 時まで

## (3) よりそいタクシーの利用実績（平成28年4月～10月）

## ①加茂地区

○加茂地区（藤之石・千町）の利用実績は下図のとおりである。

○加茂地区内の荒川では、供用開始から一度も利用されていない。

○藤之石・千町の月平均利用者数は14.0人（行き7.7人、帰り6.3人）で、日平均利用者数は3.8人（行き2.1人、帰り1.7人）であった。

○藤之石・千町では、運行予定日41日に対し35日稼働しており、稼働率は85.4%と高い数値であった。

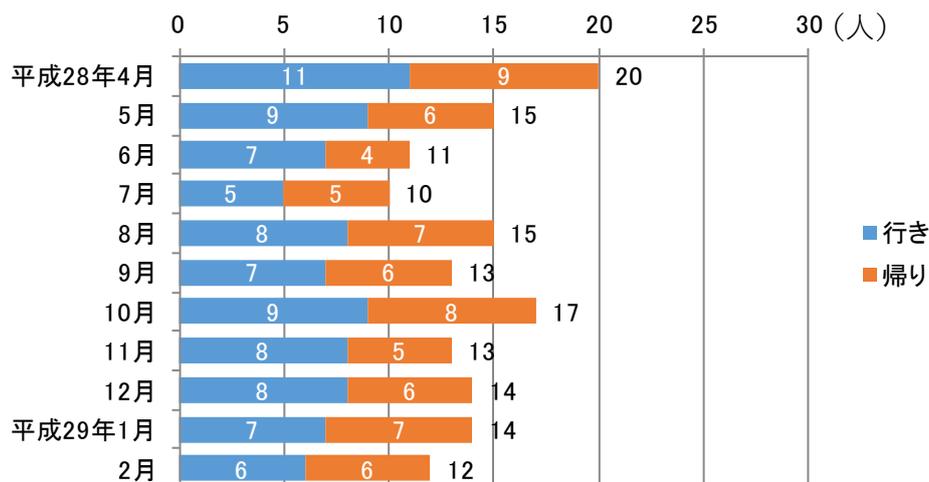


図 140 加茂地区（藤之石・千町）の月別利用状況

表 10 加茂地区（藤之石・千町）の月別利用実績（単位：人）

	行き	帰り	合計	運行予定日数	稼働日数
平成28年4月	11	9	20	3	3
5月	9	6	15	4	3
6月	7	4	11	3	3
7月	5	5	10	3	3
8月	8	7	15	4	4
9月	7	6	13	3	3
10月	9	8	17	3	3
11月	8	5	13	5	4
12月	8	6	14	4	3
平成29年1月	7	7	14	5	3
2月	6	6	12	4	3
合計	85	69	154	41	35

日平均利用者数	2.1	1.7	3.8
月平均利用者数	7.7	6.3	14.0
稼働率	85.4%		

## ②楠窪地区

○楠窪地区については、供用開始から一度も利用されていない。

## 4-2-2 住民ニーズ

## (1) 加茂地区

## ①登録者属性

○加茂地域で「よりそいタクシー」の利用登録をしている人は女性が6割を超え、年代的には70代以上が中心となっている。

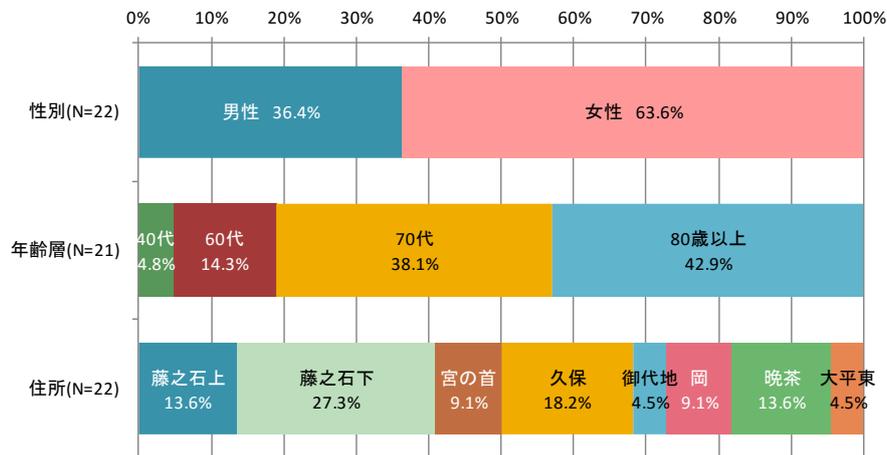


図 141 登録者の属性

## ②よりそいタクシーの利用状況

○登録者のうち「よりそいタクシー」を利用したと回答した人は3割(7人)であった。

○利用した人の頻度は「5回以内」が7割であったが、「16~20回」と回答した人も1人あった。

○利用目的としては「買物」「理容店・美容室」「通院」が挙がっている。

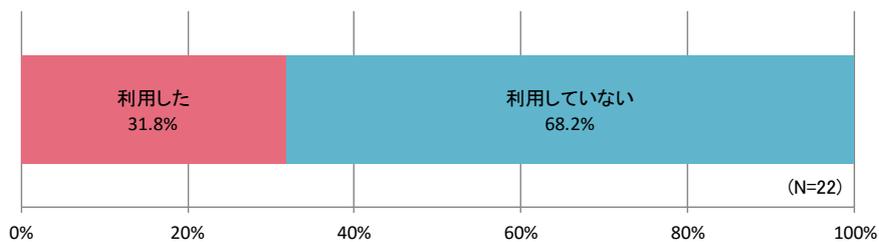


図 142 利用の有無



図 143 利用頻度

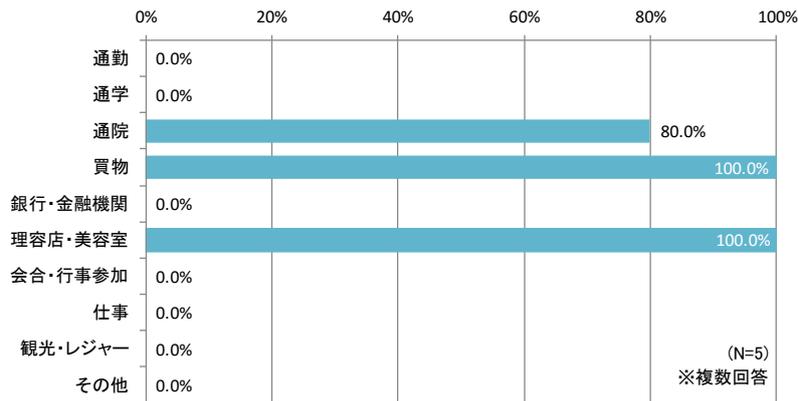


図 144 利用目的

③よりそいタクシーの評価

- 「よりそいタクシー」の満足度は概ね高いが、「帰宅便の出発場所」「市街地の乗降場所のわかりやすさ」等で「不満」「やや不満」の合計割合が高い。
- 利用者からは、「よりそいタクシー」の導入で「移動が便利になり助かった」との意見が寄せられている。

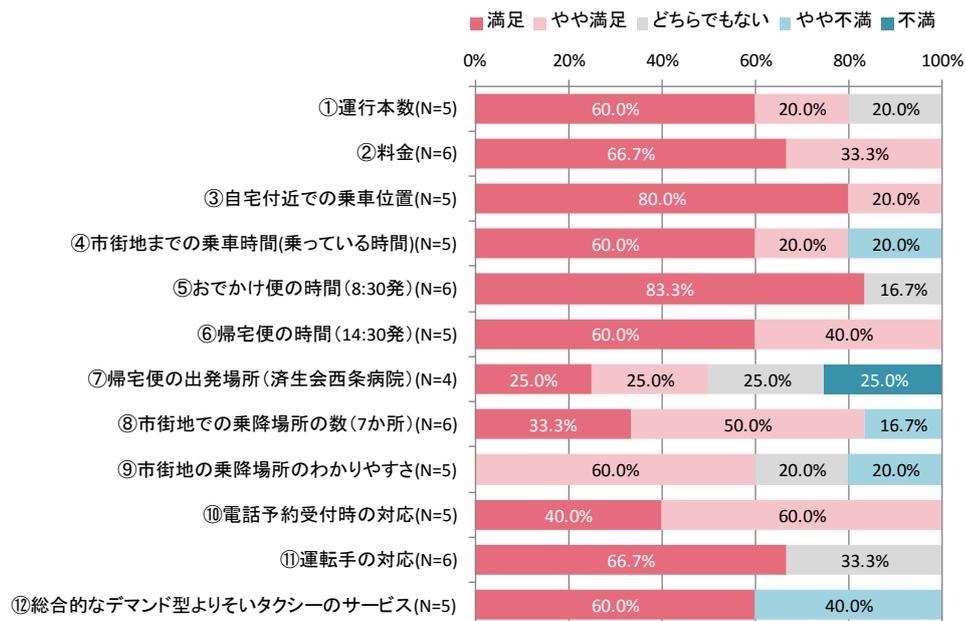


図 145 よりそいタクシーの満足度

表 11 よりそいタクシーが導入されて良かった点

性別	年齢	内容
女性	70代	よりそいタクシーが出来て大変良い。
女性	70代	バスの乗降や、バス停までが遠くて大変だったが、よりそいタクシーだと助かる。
女性	80歳以上	今までは主人の車で移動していたのですが、主人も年を取り、時々タクシーを利用する様にしていますので助かります。
女性	80歳以上	大変助かっています。料金も安くて行けるし、ありがとうございます。
女性	80歳以上	自分の行っている病院が乗降場所から遠いのですが、小型タクシーでしたので、病院まで行ってくれたので、大変助かりました。歩くのが大変なのです。

④事前予約について

○「よりそいタクシー」を事前予約することについては、利用者全員が「面倒だとは思わない」「なれば問題ない」と回答している。

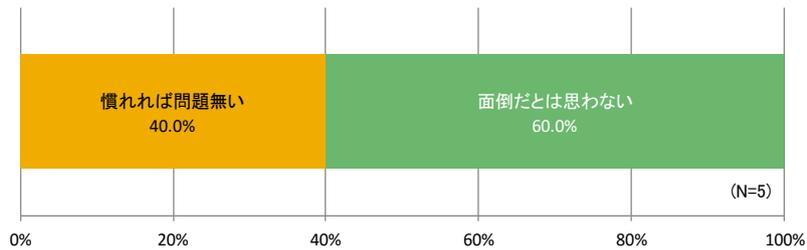


図 146 事前予約について

⑤希望する運行時間帯

○市街地に行くのに利用したい時間帯としては「午前8時台」「午前9時台」が他に比較すると割合が高い。現状の運行が藤之石集会所 8:30 発となっていることから、ニーズには対応していると考えられる。

○帰宅時に利用したい時間帯としては 午後 1 時台～午後 3 時台が多く、現状の済生会西条病院 14:30 発はほぼニーズに対応していると考えられる。

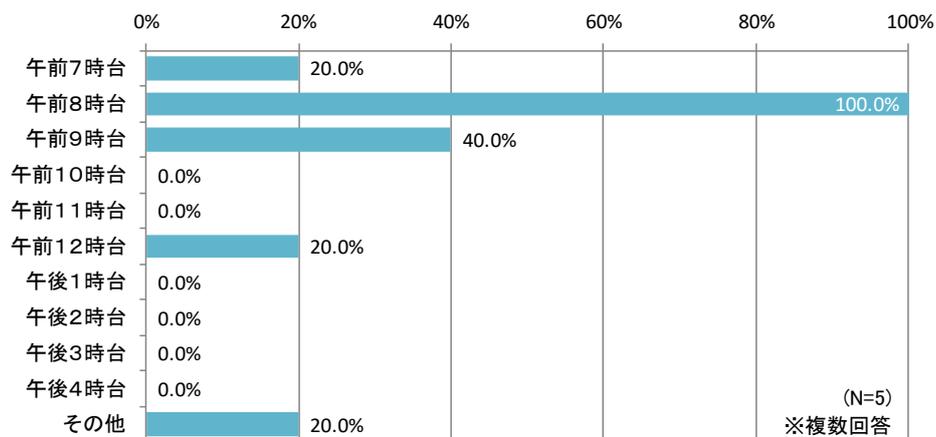


図 147 希望する運行時間帯（行き）

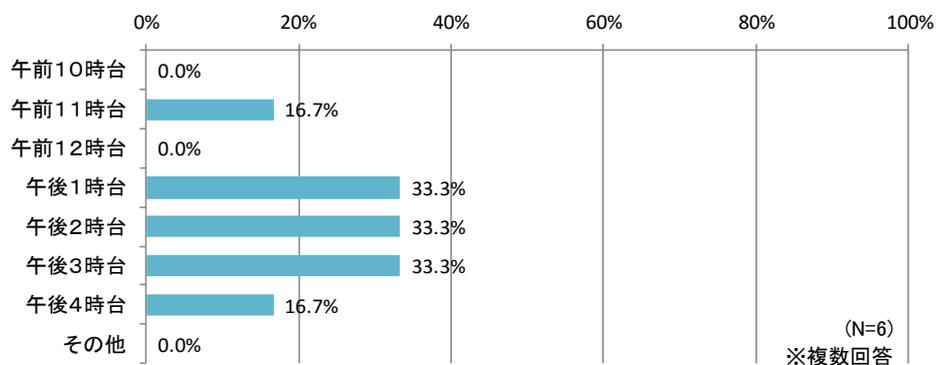


図 148 希望する運行時間帯（帰り）

⑥乗降ポイントの追加

○追加してほしい乗降ポイントとしては「ときめき水都市」等が挙げられている。

表 12 追加を希望する乗降ポイント

希望する場所	回答数
ときめき水都市	3
西条市農協	1
文化会館前	1
道路上であれば、どこでも乗降できるようにしてほしい。	1

⑦よりそいタクシー導入の効果

○「よりそいタクシー」の導入により「外出機会が増えた」とする人は80%（4人）あり、外出支援の効果が認められる。

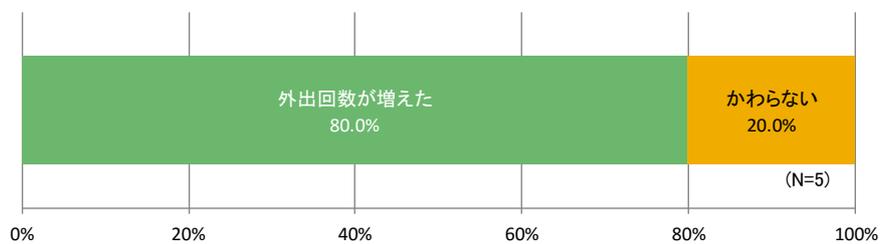


図 149 よりそいタクシー導入による外出機会の変化

⑧「よりそいタクシー」を利用しなかった理由

○登録者で「よりそいタクシー」を利用しなかった理由としては「自動車がある」が最も高く、「利用したいがその機会がない」「運行曜日が合わない」等が挙げられている。

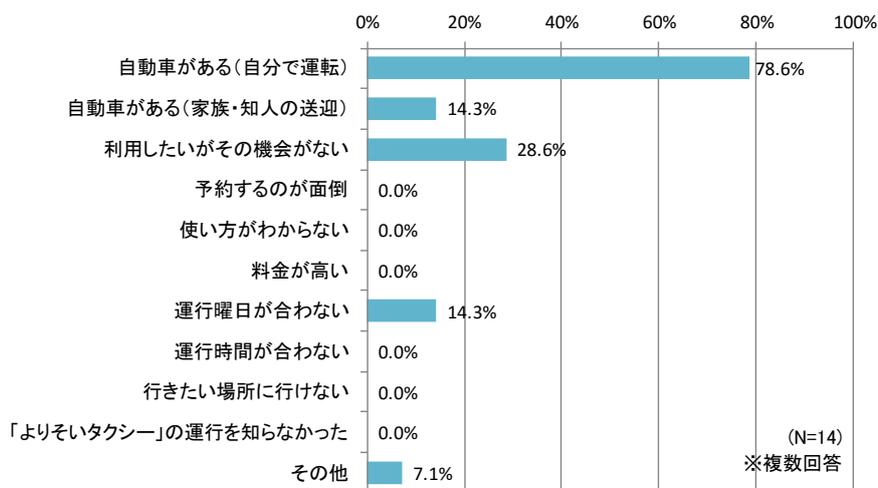


図 150 よりそいタクシーを利用しなかった理由

(2) 楠窪地区

①登録者の属性

○登録者は女性がやや多く、全員が60代以上の年齢構成となっている。

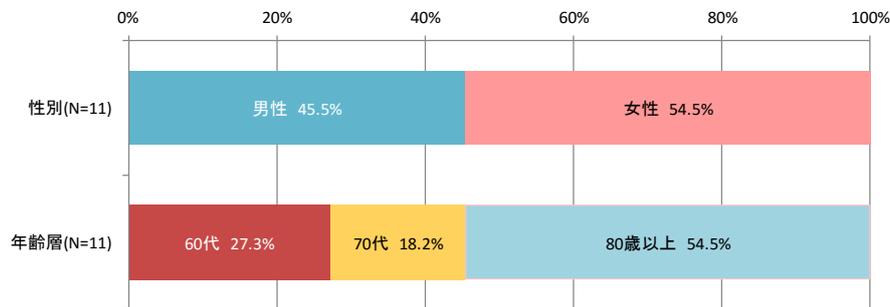


図 151 登録者の属性

②普段の外出状況

○登録者の普段の外出目的として、「通院」「買物」「理容店・美容室」などが挙げられている。

○普段外出する際の移動手段としては、「友人・知人の送迎による自家用車」を挙げる割合が高く、それ以外では「自分で運転する車」「タクシー」等が挙げられている。

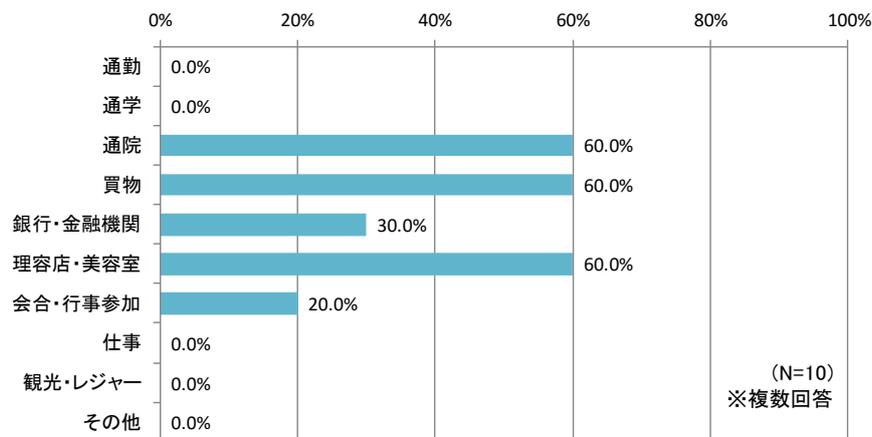


図 152 普段の外出目的

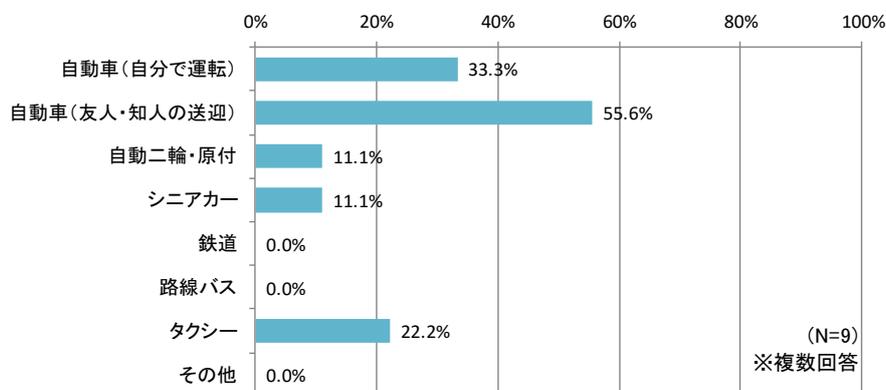


図 153 普段の外出時の交通手段

③タクシーの利用区間

○前の質問で「タクシー」と回答した人は2人で、その利用区間は以下の通りである。

表 13 タクシーを利用する区間と運賃

区間	運賃 (円)
自宅～丹原町内	3,500
自宅～加藤美容院	7,000

④よりそいタクシーを利用しない理由

○「自動車がある(自分で運転)」との回答割合が最も高く、そのほかに「自動車がある(家族・知人の送迎)」「利用したいがその機会がない」「運行曜日が合わない」「行きたい場所に行けない」等が挙げられている。

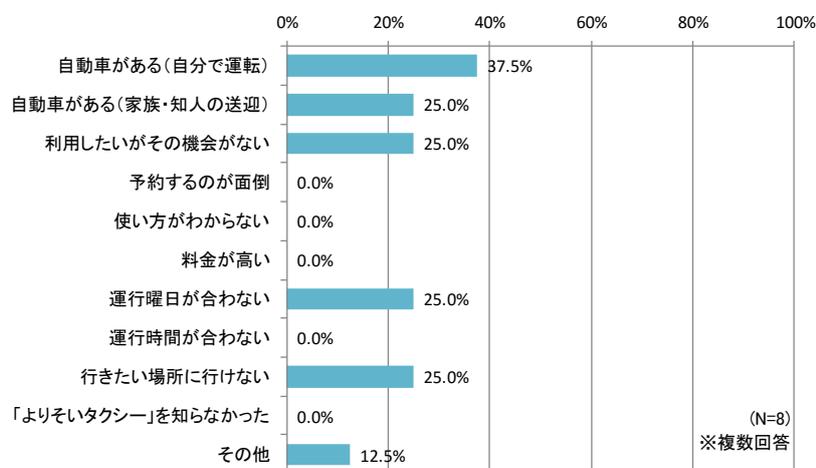


図 154 よりそいタクシーを利用しない理由

⑤よりそいタクシーの改善点

○「見直すべきである」との回答割合が高い項目としては「運行時間帯」「運行本数」「運行日」が挙げられる。

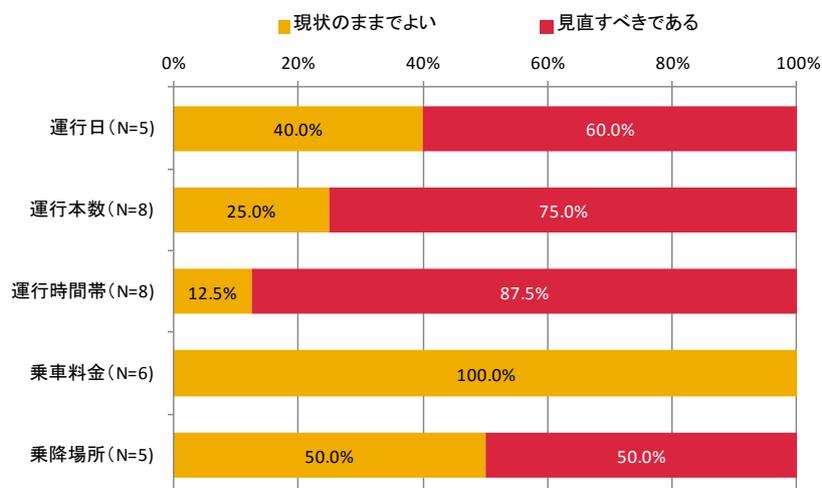


図 155 よりそいタクシーの見直し項目

表 14 改善の内容

項目	具体的な改善の内容
運 行 日	○火曜日（1人）
運 行 本 数	○3便
運 行 時 間 帯	○現在の運行に 15:00 の便を追加
乗 降 場 所	○市内どこでも
	○周桑病院
	○病院

## ⑥よりそいタクシー改善後の利用意向

○「よりそいタクシー」のサービスが改善された場合、利用するかどうかを尋ねたところ、回答者の7割（7人）が利用すると回答している。

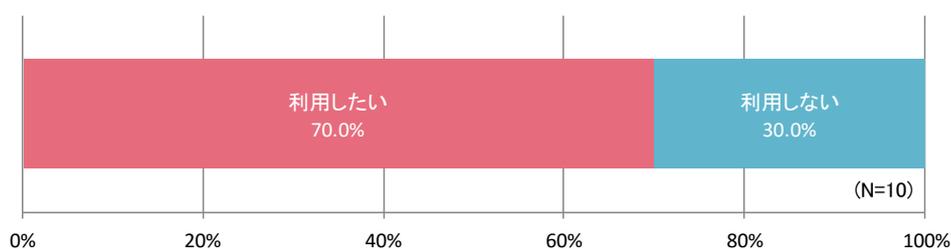


図 156 よりそいタクシー改善後の利用意向

## ⑦よりそいタクシーが改善されても利用しない理由

○改善後も利用しない理由としては、以下のとおりである。

表 15 改善後も利用しない理由

性別	年代	理 由
女性	80 歳以上	1 人ではどこへも行けない
女性	80 歳以上	歩行困難のため
男性	60 代	自家用車があるため

## ⑧よりそいタクシーについての意見・要望

○よりそいタクシーへの意見・要望として、必要なときに自由に使えるとよいとの声が寄せられている。

表 16 よりそいタクシーへの意見・要望

性別	年代	理 由
女性	80 歳以上	必要な時に乗れると良いと思います。
男性	60 代	高齢者が多いため、病院に行きたい時利用できるようにしてほしい。

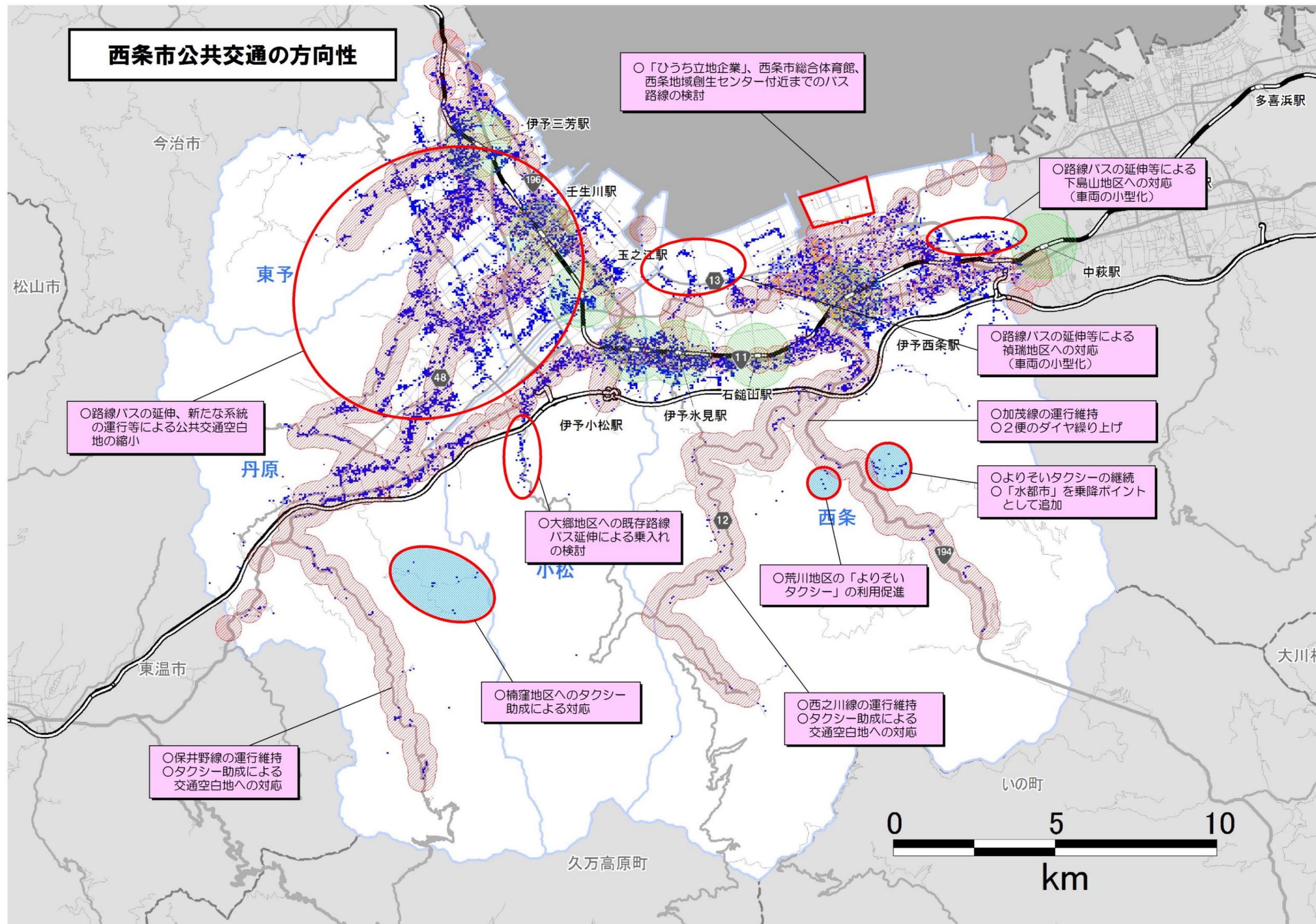
### 4-2-3 今後の対応

#### (1) 加茂地区

- 藤之石・千町での「よりそいタクシー」は利用者に喜ばれており、現在の運行を引き続き継続していくことが望ましい。
- 利用者から要望のあった、「水都市」等の乗降ポイントの追加を検討する。
- 荒川での「よりそいタクシー」は、利用対象者が少なく運行頻度も低いため利用がないが、引き続き利用促進を図りながら路線自体は維持していく。

#### (2) 楠窪地区

- 楠窪地区については隔週で月曜日1日のみ運行を行っているが、現在まで利用がない状況である。運行頻度等のサービス水準が低いことから、「運行曜日が合わない」「行きたい場所に行けない」等、ニーズと運行のミスマッチもみられる。
- アンケートの要望の中には「タクシーのように自由に乗降できるように」との声があるが、「よりそいタクシー」は路線バスとタクシーの間間的な機能を持ち、低額で移動できる分、ある程度の制約を受ける。
- これらのことを勘案し、楠窪地区では「よりそいタクシー」を廃止してより自由度が高い通常のタクシーによる移動支援で対応することとし、タクシー助成の拡充を図る。



## 5. 公共交通の利用促進に向けた取組

### 5-1 バスの乗り方教室

#### 5-1-1 バスの乗り方教室概要

(1) 開催日時

○平成 29 年 3 月 13 日（月） 10：00～11：00

(2) 会場

○JA 周桑中川支所駐車場

(3) 参加者

○中川地区老人クラブ 15 名

(4) 講師

○瀬戸内運輸株式会社

(5) 内容

○バスの乗り方説明

- ・バス停の時刻表の見方と車両方向幕等からの行先確認について
- ・バスの乗降口について
- ・整理券と運賃表示器について
- ・降車ボタンについて
- ・運賃の支払いと両替の仕方について

○バスの試乗

- ・実際にバス車両に乗車し、JA 中川支所～湯谷口間を走行
- ・JA 中川支所駐車場にて車いすでの乗車体験

○支援制度の説明

- ・いきいきバス制度
- ・エコとくキッズデー
- ・免許返納者割引制度

(6) 配布資料

○バスの乗り方教室チラシ

○いきいきバスチラシ

○おでかけマップ

○時刻表



図 157 バスの乗り方教室の様子

## 5-1-2 配布物

### (1) バスの乗り方教室チラシ

○バスの乗り方教室の開催にあたり、バスの乗り方や支援制度を紹介するチラシ（A4 両面カラー）を作成し、参加者に配布した。

# バスの乗り方

バスの乗り方は簡単です。バスが動いている時は危険ですので  
バス停にバスが止まってから席を立ちましょう！

**1** バス停で行き先と時刻を確認し  
バスが来たら前面上部を見て  
行き先が合っているか確認します

【バスの前面上部】  
市役所 経由 西条駅  
ココ!  
主な経由地を表しています

**6** 運賃を整理券とともに運賃箱に入れます（おつりは出ませんので両替して  
ちょうどのお金を入れてください）

運賃はこちらから入れます  
硬貨の両替はこちらから硬貨を入れてください  
紙幣(千円札)の両替はこちらから紙幣を入れてください  
両替されたお金はここから出ます

**2** 中央のドアから乗車します

中央のドアから乗車いただけます  
前のドアは降車専用です

運転手にご用の方はインターホンでお話ください

**5** 運賃表示器の番号と整理券番号が同じ欄を見て  
運賃をお支払いください

【運賃表示器】

運賃は	0	1	2	3	4	5
西条駅	270	250	250	210	130	
	10	11	12	13	14	15
	20	21	22	23	24	25
	30	31	32	33	34	35
	40	41	42	43	44	45
まで						

白い数字は整理券番号です

**3** 整理券を1枚取ります

【整理券発行器】  
整理券  
【整理券】  
3  
【整理券番号】

**4** 降りるバス停のアナウンスが  
流れたら お近くにある降車  
ボタンを押します

【降車ボタン】 こちらを押してください  
とまります  
フリー乗降の場合は降車ボタンを押さないで、運転手に直接お知らせください。

図 158 バスの乗り方教室チラシ（表面）

お得に！  
お気軽に！  
**バス(タクシー)を  
利用できる制度があります！**

西条市の取組み

**1 いきいきバス制度**

●西条市が発行する額面3,000円分の『いきいきバス乗車券』を1,000円で購入することができます。

**利用方法** .....

- 1 利用者証を提示して乗車券を購入
- 2 利用者証と乗車券の両方を持ってバスに乗る
- 3 降りるときは利用者証を運転手に見せ、整理券と既定の運賃分の乗車券を料金箱に入れる

どちらも西条市にお住まいの75歳以上の方が対象

**2 高齢者タクシー利用助成事業**

- タクシーの運賃を助成する事業です。(対象基準あり)
- 西条市が発行する『高齢者タクシー利用助成券』で乗車1回につき基本料金相当を助成します。
- 助成券は1人につき年間12枚です。  
(申請月により枚数が変わります。また、対象者が2人以上いる世帯は2人目以降半分になります。)

詳しくは西条市高齢介護課長寿・いきがい対策係 **TEL 0897-52-1292**

せとうちバスの取組み

**1** | 家族でバスでお出かけ♪  
**エコとく キッズデー**

●大人(中学生以上)1名の方がお子様(小学生以下)をお連れで乗車する場合、お子様2名分の運賃が無料となります。

お子様 2名分 無料の 期間	年間を通して 土・日・祝日	年末年始 (12/25～1/7)
	夏休み期間 (7/21～8/31)	春休み期間 (3/25～4/7)

**2** **免許返納者割引制度** 運転免許自主返納者対象

●運転免許を自主返納した方が市内バス路線に運賃半額で乗ることができる制度です。(H29.4.1～)

**利用方法** .....

- 1 運転経歴証明書を持ってバスに乗る
- 2 降りるときは証明書を運転手に見せ、整理券と既定の運賃の半額を料金箱に入れる(端数切り上げ)

詳しくは『せとうちバス』にお問合わせ下さい **TEL 0898-72-2211**

図 159 バスの乗り方教室チラシ(裏面)

## (2) いきいきバスチラシ

○いきいきバス制度の説明にあたり、市が作成した「いきいきバス」説明用のチラシを参加者に配布した。

## 「いきいきバス」が利用できます

「いきいきバス」は市内に住所を有する75歳以上の高齢者の方が、市内を走る路線バス（市内で乗って、市内で降りる場合に限り）を利用する際、市の補助を受けて安価で利用できる制度のことです。

この事業は、75歳以上の方々の通院や買い物等の外出を支援することで、いつまでも住み慣れた地域で生き生きと暮らしていただくとするものです。

みなさ、通院、買い物だけではなく、市内の名所観光、少し離れたお友だちの家への訪問など、様々な機会ぜひご利用ください。

◎利用できる方

- ・市内に住所を有する満75歳以上の方
- ※いきいきバス制度がご利用いただけるのは、お誕生日以降となりますのでご注意ください。

◎いきいきバス制度を利用するときに必要なもの

- ・市が発行する利用者証  
同封の利用者証をご使用ください。（写真を貼付する必要はありません）
- ・市が発行する乗車券（金券）（以下「乗車券」）  
額面3,000円分の乗車券を1,000円で購入していただけます。  
乗車券は、市役所、総合支所、公民館（中央公民館は除きます）、出張所で販売しています。
- ※ご購入の際は、必ず「利用者証」をご持参ください。利用者証を確認できない場合は販売できませんので、くれぐれもご注意ください。（代理の方でもご購入いただけますが、その際も必ず「利用者証」をご持参ください）
- ※乗車券には、有効期限や購入冊数の制限はありませんので、お一人何冊でも購入いただけますが、1回の申請で購入できるのは、3冊までとさせていただきます。乗車券が残り少なくなりましたら、お散歩がてら、お近くの販売場所まで出向いていただければありがたいと思います。

◎いきいきバス制度（市が発行した乗車券）が利用できるバス路線。

- ・市内を運行している全てのバス路線でご利用できます。（高速バスは除きます）
- ※ただし、市内で乗って、市内で降りる場合に限りです。  
（以下の例を参考にしてください）
- 例1 小松総合支所前→西条駅前 ○  
（市内で乗って市内で降りていますので、いきいきバス制度を利用できます）
- 例2 西条駅前→新居浜市役所前 ×  
（市内で乗って市外で降りていますので、いきいきバス制度は利用できません）
- 例3 松山市駅前→小松総合支所前 ×  
（市外で乗って市内で降りていますので、いきいきバス制度は利用できません）

◎いきいきバス制度の利用方法

- 1 市が発行する乗車券を、市役所、公民館などの窓口で購入する。  
※ご購入の際は、お釣りの必要がないよう、ご協力お願いします。



【裏面へ続きます】

図 160 いきいきバスチラシ（表面）

- 2 利用者証と乗車券の両方を持ってバスに乗る。  
(バスに乗るときは、整理券をお取りください。)
- 3 バスを降りるとき
  - ① 運転手に利用者証を見せてください。
  - ② 規定の運賃分を切り離れた乗車券と整理券を、料金箱に入れてください。
  - ③ ご不明な点がございましたら、お気軽に運転手までお尋ねください。

【乗車券】

表紙 1 表紙 2 金券部分 (こちらを切り離してください)

		10円券	50円券	100円券	・10円券 25枚 (水色) 250円分  ・50円券 15枚 (黄緑色) 750円分  ・100円券 20枚 (ピンク) 2,000円分
		10円券	50円券	100円券	
		10円券	50円券	100円券	
		10円券	50円券	100円券	
		10円券	50円券	100円券	

**乗車券で「お釣り」をもらうことはできません。(お手持ちの乗車券が運賃に足りない場合は、現金と一緒に支払ってください。)**

【ご協力をお願いします】

**運賃を支払う際は、座席にてあらかじめ運賃分の金券を切り離して準備していただくなど、安全でスムーズな下車を心掛けていただき、バスの適正な運行にご協力いただきますようお願いいたします。**

◎その他の注意事項

- **公民館は少人数で地域の様々な行事に対応していただいています。お買い求めの際に交付に時間がかかる(お待ちいただく)場合や、公民館に職員が不在の場合があるかもしれませんが、あらかじめご理解、ご了承をお願いします。**
- **いままでご利用いただける路線バスに黄色いステッカーを貼っていましたが、全ての路線に乗れるため、7月1日以降はステッカーを貼っているバスはありません。**
- **制度が利用できなくなったとき(転出・死亡等)は、利用者証の返還をお願いします。**
- **利用者証の再発行は、お手数ですが、市役所及び各支所をお願いします。**
- **乗車券を紛失した場合の再発行及び、購入金額の払い戻しは行いません。ご購入の際は、あらかじめご了解いただいたうえでお買い求めください。**
- **他人への権利譲渡、転売等の不正な利用を行った場合は、助成金額の返還や利用停止などの処分を取らせていただく場合があります。ご注意ください。**

◎問い合わせ先

本庁本館高齢介護課	長寿・いきがい対策係	(TEL: 0897-52-1292)
東予総合支所市民福祉課	福祉係	(TEL: 0898-64-2700)
丹原総合支所市民福祉課	市民福祉係	(TEL: 0898-68-7300)
小松総合支所市民福祉課	市民福祉係	(TEL: 0898-72-2111)

図 161 いきいきバスチラシ (裏面)

## 5-2 おでかけマップの作成

### 5-2-1 おでかけマップ概要

#### (1) 目的

○現状のバスダイヤで乗り継いで移動できる範囲を具体的に示し、通院や買物の移動可能性を提案する。

#### (2) 仕様

○サイズ：A3 両面カラー×2 種類

○配布枚数

・西条地域：17,940 枚

・東予・周桑地域：19,240 枚

#### (3) 配布方法

○新聞折込

5-2-2 西条市中心市街地編



図 162 お出かけマップ西条市中心市街地編(表面)

# 西条市中心市街地のバス停と主要周辺施設

西条地域からバスを使って中心市街地への通院、買物が可能です。お出かけには、便利なバスをご利用ください。※掲載してあるのはほんの一例です。

平成28年10月1日改正のダイヤで作成しています。

西条市

おでかけマップ

西条市地域公共交通活性化協議会  
事務局：西条市総合政策課地域政策係内

禎瑞地区からのお出かけプラン					
目的	方向	路線名	バス停名	発着	時刻
通院 買物	行き	禎瑞オレンジハイツ線 (市街地循環線)	禎瑞入口	発	7:23
			西条駅前	着	7:36
			西条駅前	発	7:45
済生会西条病院/診察(2時間30分)					
帰り	西条～住友病院前線	西条駅前	西条駅前	発	10:35
			西条駅前	着	10:46
			禎瑞オレンジハイツ線	禎瑞入口	着
行き	禎瑞オレンジハイツ線	禎瑞入口	禎瑞入口	発	8:25
			水見	着	8:33
			今治～新居浜	水見	発
フジグラン西条/買物(1時間)					
帰り	今治～新居浜	西条駅前	西条駅前	発	10:35
			西条駅前	着	10:39
			禎瑞オレンジハイツ線	禎瑞入口	着

水見地区からのお出かけプラン						
目的	方向	路線名	バス停名	発着	時刻	
通院 買物	行き	今治～新居浜	水見	発	9:04	
			西条済生会病院前	着	9:25	
			今治～新居浜	西条済生会病院前	発	11:32
済生会西条病院/診察(2時間)						
帰り	今治～新居浜	フジグラン西条	フジグラン西条	着	11:35	
			今治～新居浜	フジグラン西条	発	12:35
			今治～新居浜	水見	着	12:53
行き	今治～新居浜	フジグラン西条	水見	発	10:09	
			フジグラン西条	着	10:27	
			フジグラン西条/買物・食事等(2時間)			
帰り	加茂線 (市街地循環線)	フジグラン西条	フジグラン西条	発	12:37	
			八千代巷	着	12:41	
			ときめき水都市/買物(50分)			
行き	西之川線 (市街地循環線)	八千代巷	八千代巷	発	13:31	
			西条駅前	着	13:37	
			今治～新居浜	西条駅前	発	13:39
今治～新居浜						
帰り	今治～新居浜	水見	水見	着	13:53	

飯岡(野口)地区からのお出かけプラン						
目的	方向	路線名	バス停名	発着	時刻	
通院 買物	行き	西条～中萩～住友病院前線	野口	発	8:34	
			西条済生会病院前	着	8:53	
			今治～新居浜	西条済生会病院前	発	10:32
済生会西条病院/診察(1時間30分)						
帰り	今治～新居浜	フジグラン西条	フジグラン西条	着	10:35	
			今治～新居浜	フジグラン西条	発	11:35
			今治～新居浜	西条駅前	着	11:39
行き	西条～中萩～住友病院前線	野口	野口	発	11:46	
			野口	着	11:54	
			今治～新居浜	野口	発	10:01
ときめき水都市/買物(1時間)						
帰り	加茂線 (市街地循環線)	フジグラン西条	八千代巷	発	11:08	
			フジグラン西条	着	11:12	
			今治～新居浜	フジグラン西条	発	12:35
今治～新居浜						
行き	西条～中萩～住友病院前線	野口	野口	発	12:39	
			野口	着	12:46	
			西条～中萩～住友病院前線	野口	発	12:54



このお出かけ  
プランを  
紹介するよ

中心市街地  
周辺地域編

おばあちゃん  
おばあちゃん

玉津(船屋)地区からのお出かけプラン						
目的	方向	路線名	バス停名	発着	時刻	
通院 買物	行き	周桑(営)～新居浜	船屋	発	8:40	
			西条済生会病院前	着	8:43	
			今治～新居浜	西条済生会病院前	発	10:32
済生会西条病院/診察(2時間)						
帰り	今治～新居浜	フジグラン西条	フジグラン西条	着	10:35	
			今治～新居浜	フジグラン西条	発	11:27
			今治～新居浜	船屋	着	11:33

**ワンポイントアドバイス!**  
西条市では高齢者の生きがいづくりのため、75歳以上の方を対象に路線バスの利用運賃を助成する「いきいきバス」制度や、タクシーの利用助成制度(対象基準あり)があります。うまく制度を利用することで通常の交通費が抑制され、お出かけも便利になりますよ。

玉津(船屋)地区からのお出かけプラン							
目的	方向	路線名	バス停名	発着	時刻		
通院 買物	行き	今治～新居浜	船屋	発	9:29		
			西条駅前	着	9:39		
			西之川線 (市街地循環線)	西条駅前	発	10:00	
帰り	今治～新居浜	八千代巷	八千代巷	着	10:21		
			ときめき水都市/買物(30分)	加茂線 (市街地循環線)	八千代巷	発	11:08
			今治～新居浜	フジグラン西条	着	11:12	
フジグラン西条/買物(1時間10分)							
行き	今治～新居浜	フジグラン西条	フジグラン西条	発	12:27		
			船屋	着	12:33		

オレンジハイツからのお出かけプラン						
目的	方向	路線名	バス停名	発着	時刻	
通院 買物	行き	禎瑞オレンジハイツ線	オレンジハイツ	発	7:55	
			西条駅前	着	8:12	
			今治～新居浜	西条駅前	発	8:18
済生会西条病院/診察(1時間30分)						
帰り	西之川線 (市街地循環線)	西条駅前	西条駅前	発	10:10	
			西条済生会病院前	着	10:27	
			禎瑞オレンジハイツ線	西条駅前	発	10:31
行き	禎瑞オレンジハイツ線	オレンジハイツ	オレンジハイツ	発	10:48	
			禎瑞オレンジハイツ線	オレンジハイツ	発	10:50
			八千代巷	着	11:13	
ときめき水都市等/食事・買物(約2時間半)						
帰り	加茂線 (市街地循環線)	八千代巷	八千代巷	発	13:58	
			フジグラン西条	着	14:02	
			フジグラン西条/買物・休憩(2時間)			
行き	西之川線 (市街地循環線)	フジグラン西条	フジグラン西条	発	16:13	
			西条駅前	着	16:23	
			禎瑞オレンジハイツ線	西条駅前	発	16:31
今治～新居浜						
帰り	禎瑞オレンジハイツ線	オレンジハイツ	オレンジハイツ	発	16:31	
			西条駅前	着	16:48	

図 163 お出かけマップ西条市中心市街地編(裏面)

5-2-3 東予・周桑編

平成28年10月1日改正のダイヤで作成しています。

# 西条市 バスでお出かけマップ～東予・周桑編～

各地域から路線バスを使って通院に買物にでかけてみませんか? ※掲載してあるのはほんの一例です。西条市地域公共交通活性化協議会 事務局・西条市総合政策課地域政策係内

**このお出かけプランを紹介するよ**

107歳のおばあちゃん

保井野線・湯谷口線  
壬生川線・関屋線  
今治～新居浜線  
新居浜～松山線(特急)  
沿線編

**ワンポイントアドバイス!**

西条市では高齢者の生きがいづくりのため、75歳以上の方を対象に路線バスの利用運賃を助成する『いきいきバス』制度や、タクシーの利用助成制度(対象基準あり)があります。うまく制度を利用することで通常の交通費が抑制され、お出かけも便利になりますよ。

**桜樹(保井野)地区からのお出かけプラン**

目的	方向	路線名	バス停名	発着	時刻
通院	行き	保井野線	保井野集会所	発	9:15
			周桑病院前	着	10:20
周桑病院/診察(約1時間20分)					
帰リ	保井野線	周桑病院前	発	11:42	
		丹原小学校前	着	11:54	
ヤマサンセンター丹原店/買物(1時間30分)					
帰リ	保井野線	丹原小学校前	発	13:34	
		保井野集会所	着	14:27	

**中川(志川)地区からのお出かけプラン**

目的	方向	路線名	バス停名	発着	時刻
通院	行き	湯谷口線	志川	発	8:43
			都谷	着	8:55
西条市民病院/診察(約1時間15分)					
帰リ	湯谷口線	都谷	発	10:11	
		志川	着	10:23	
買物	行き	湯谷口線	志川	発	13:38
			大師入口	着	13:52
ヤマサンセンター小松店/買物(約1時間15分)					
帰リ	湯谷口線	大師入口	発	15:09	
		志川	着	15:23	
買物	行き	湯谷口線	志川	発	8:21
			湯谷口	着	8:24
湯谷口バス停/待合時間(約20分)					
買物	行き	壬生川線	湯谷口	発	8:45
			丹原上町	着	9:03
とうしょく丹原店/買物(約1時間)					
帰リ	壬生川線	丹原上町	発	10:05	
		湯谷口	着	10:23	
湯谷口バス停/待合時間(約10分)					
買物	行き	湯谷口線	湯谷口	発	10:35
			志川	着	10:38

**小松(大頭)地区からのお出かけプラン**

目的	方向	路線名	バス停名	発着	時刻
通院	行き	湯谷口線	大頭	発	7:47
			小松総合支所前	着	7:55
小松総合支所前/待合時間(5分)					
買物	行き	今治～新居浜	小松総合支所前	発	8:00
			済生会西条病院前	着	8:25
済生会西条病院/診察(約2時間)					
帰リ	今治～新居浜	済生会西条病院前	発	10:32	
		フジグラン西条	着	10:35	
フジグラン西条/買物(1時間)					
帰リ	今治～新居浜	フジグラン西条	発	11:35	
		小松総合支所前	着	11:57	
小松総合支所前/待合時間(約15分)					
買物	行き	新居浜～松山線(特急)	小松総合支所前	発	12:13
			大頭	着	12:18

**1 出発**

「保井野集会所」バス停を9時15分発の「保井野線」に乗って周桑病院へ。

**2**

10時20分、「周桑病院前」バス停で下車し、周桑病院で診察(1時間20分)

**3**

「周桑病院前」バス停を11時42分発の「保井野線」に乗ってヤマサンセンター丹原店へ。

**4**

11時54分、「丹原小学校前」バス停で下車し、ヤマサンセンター丹原店で買物(1時間30分)

**5**

13時34分、「丹原小学校前」バス停発「保井野線」に乗り家路へ。

**6 帰宅**

14時27分、「保井野集会所」バス停で下車し、帰宅

図 164 お出かけマップ東予・周桑編(表面)

平成28年10月1日改正のダイヤで作成しています。

# 西条市 バスでおでかけマップ～東予・周桑編～

各地域から路線バスを使って通院に買物にでかけてみませんか? ※掲載してあるのはほんの一例です。西条市地域公共交通活性化協議会 事務局・西条市総合政策課地域政策係内



目的	方向	路線名	バス停名	発着	時刻		
通院	行き	三芳線	国安公民館	発	9:56		
			周桑病院前	着	10:25		
周桑病院/診察 (約1時間20分)							
買物	帰り	三芳線	周桑病院前	発	11:52		
			貝田	着	11:59		
		フジ東予店/食事・買物 (1時間30分)					
		保井野線	貝田	発	13:29		
周ちゃん広場	着		13:33				
周ちゃん広場/買物 (1時間10分)							
三芳線	行き	三芳線	周ちゃん広場	発	14:43		
			国安公民館	着	15:01		

**ワンポイントアドバイス!**  
西条市では高齢者の生きがいづくりのため、75歳以上の方を対象に路線バスの利用運賃を助成する「いきいきバス」制度や、タクシーの利用助成制度(対象基準あり)があります。うまく制度を利用することで通常の交通費が抑制され、お出かけも便利になりますよ。

目的	方向	路線名	バス停名	発着	時刻
温泉	行き	関屋線	田滝	発	11:28
			周ちゃん広場	着	11:44
周ちゃん広場/待合時間 (約20分)					
買物	行き	三芳線	周ちゃん広場	発	12:03
			本谷温泉	着	12:47
本谷温泉 (約2時間50分)					
帰り	三芳線	三芳線	本谷温泉	発	15:34
			周ちゃん広場	着	16:18
周ちゃん広場/買物 (35分)					
関屋線	行き	関屋線	周ちゃん広場	発	16:53
			田滝	着	17:09

目的	方向	路線名	バス停名	発着	時刻
通院	行き	三芳線	三芳駅前	発	9:51
			周桑病院前	着	10:25
周桑病院/診察 (約1時間20分)					
買物	帰り	三芳線	周桑病院前	発	11:52
			三芳駅前	着	12:26
三芳線	行き	三芳線	三芳駅前	発	9:51
			貝田	着	10:18
フジ東予店/買物 (約1時間40分)					
三芳線	帰り	三芳線	貝田	発	11:59
			三芳駅前	着	12:26

目的	方向	路線名	バス停名	発着	時刻
通院	行き	関屋線	関屋	発	8:38
			周桑病院前	着	9:10
周桑病院/診察 (約1時間20分)					
関屋線	帰り	関屋線	周桑病院前	発	10:32
			関屋	着	11:04
買物	行き	関屋線	関屋	発	8:38
			丹原小学校前	着	8:58
ヤマサンセンター丹原店/買物 (約1時間40分)					
関屋線	帰り	関屋線	丹原小学校前	発	10:44
			関屋	着	11:04

図 165 おでかけマップ東予・周桑編(裏面)

## 6. 協議会開催支援

## 6-1 西条地域公共交通活性化協議会の開催

- 「第3回西条地域公共交通活性化協議会」が以下のように開催された。この協議会に出席し、協議資料の作成・説明を行ったほか、議事録を作成した。

## 第3回 西条市地域公共交通活性化協議会

日時：平成29年1月20日（金）14：00～

場所：西条市役所本館 5F 502会議室1、2

出席者

役員	委 員			出欠
	機 関 ・ 団 体	役職名	氏 名	
会 長	西 条 市	副 市 長	武 田 仁 志	○
		企 画 情 報 部 長	藤 岡 正	○
	瀬 戸 内 運 輸 株 式 会 社	常 務 取 締 役	河 湊 茂	○
	せとうち周桑バス株式会社	取 締 役 社 長	越 智 文 隆	○
	一般社団法人愛媛県バス協会	専 務 理 事	関 谷 俊 夫	× 代理：西川
	愛媛県ハイヤー・タクシー協会	会 長	渡 部 光 男	○
	四国旅客鉄道株式会社	愛 媛 企 画 部 長	窪 仁 志	× 代理：羽野
	国土交通省四国地方整備局 松山河川国道事務所	副 所 長	庄 野 達 也	○
	西 条 警 察 署	交 通 課 長	吉 岡 敏 高	○
	西 条 西 警 察 署	交 通 課 長	青 井 和 志	○
副 会 長	西 条 市 連 合 自 治 会	会 長	田 口 勝 三	×
	西条市老人クラブ連合会	会 長	服 部 宗 市	○
	西 条 市 連 合 婦 人 会	会 長	徳 永 米 子	○
	西条市社会福祉協議会	会 長	丹 勝 敬	○
監 事	西 条 商 工 会 議 所	会 頭	星 加 隆 夫	○
監 事	周 桑 商 工 会	会 長	渡 部 英 志	○
	西 条 市 医 師 会	事 務 長	稲 井 義 隆	○
	瀬 戸 内 運 輸 労 働 組 合	執 行 委 員 長	砂 田 篤 志	○
	国土交通省四国運輸局	首席運輸企画専門官	山 下 文 明	○
	愛 媛 運 輸 支 局	首席運輸企画専門官	谷 本 昌 啓	× 代理：宮田
	西 条 市 観 光 協 会	副 会 長	伊 藤 和 豊	×

愛媛大学大学院理工学研究科	准 教 授	倉 内 慎 也	×
香川高等専門学校建設環境工学科	准 教 授	宮 崎 耕 輔	×
松山大学法学部法学科	准 教 授	甲 斐 朋 香	×

愛媛県東予地方局総務企画部	地 域 政 策 課 長	山 本 泰 士	○
愛媛県東予地方局建設部	建 設 企 画 課 長	白 石 昌 史	○

事 務 局	西 条 市	総 合 政 策 課 長	光 藤 禎	○
		総 合 政 策 課 係 長	飯 尾 友 晶	○
	株式会社バイタルリード	計 画 第 一 課 長	石 飛 厚 生	○
		営 業 課 長	岩 崎 恵 子	○

